

令和 5 年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
〔18 歳以上の区民の方が対象〕
〔未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象〕

【概要版】

令和 6 年 2 月
大 田 区

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	報告書の見方について	2
II	18歳以上の区民の方が対象 ～ 暮らし・保健・環境の分野など ～	3
1	各種認知度について	3
2	生涯学習について	9
3	スポーツ・運動について	16
4	文化・芸術について	19
5	地域活動について	22
6	バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	23
7	喫煙について	27
8	健康づくりについて	29
9	医療について	30
10	食品ロス・フードドライブについて	31
11	地球環境について	35
III	18歳以上の区民の方が対象 ～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～	37
1	安全・安心について	37
2	商店街について	44
3	キャッシュレスについて	48
4	羽田空港跡地について	52
5	バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	54
6	まちづくりについて	56
7	公共交通機関について	60
8	耐震改修について	63
9	空港臨海部について	65
10	鉄道駅周辺のまちづくりについて	66
11	羽田空港跡地について	69
12	図書館について	74
13	公園について	79
IV	未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象 ～ 家庭生活・自転車の利用についてなど ～	83
1	災害時の避難等について	83
2	家庭生活について	88
3	公園について	96
4	自転車の利用について	97

I 調査の概要

1 調査の目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査の設計

調 査 地 域	大田区全域
調 査 対 象	[18 歳以上の区民の方が対象] 大田区内に居住する満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む） [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] 大田区内に居住する満 12 歳以上の男女個人（外国人を含む） 大田区内に居住する満 12 歳以下の方の保護者の方（外国人を含む）
標 本 数	[18 歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：2,000 人 [18 歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：2,000 人 [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～家庭生活・自転車の利用についてなど～：2,000 人
抽 出 方 法	層化無作為抽出法
調 査 方 法	配布は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調 査 期 間	令和 5 年 11 月 17 日～令和 5 年 12 月 8 日
有効回収数	[18 歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：644 件 （郵送 443 件＋電子申請 201 件） [18 歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：601 件 （郵送 404 件＋電子申請 197 件） [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～家庭生活・自転車の利用についてなど～：674 件 （郵送 351 件＋電子申請 323 件）
有効回収率	[18 歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：32.2% [18 歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：30.1% [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～家庭生活・自転車の利用についてなど～：33.7%

3 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 図表及び文章中では、選択肢を一部省略している場合がある。

Ⅱ 18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～

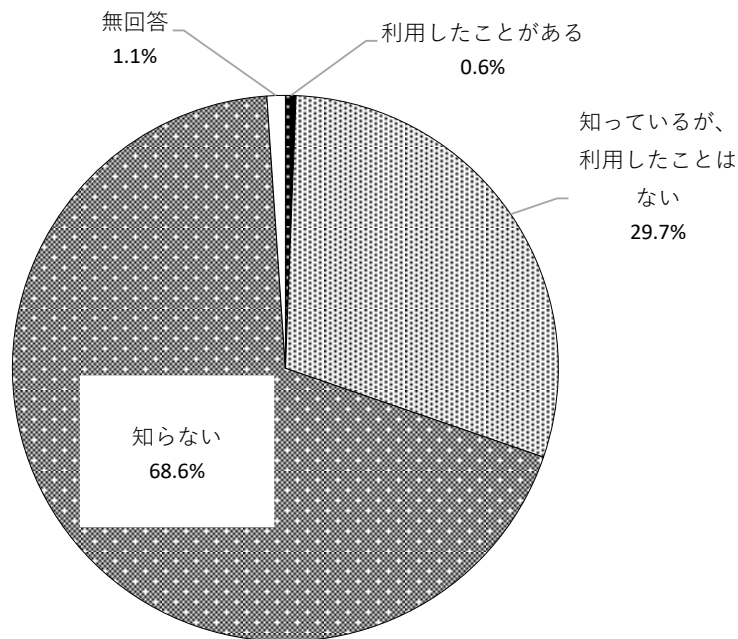
1 各種認知度について

(1) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

問1 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）に関する相談を受け付けていることを知っていますか。
(1つのみ)

“大田区DV相談ダイヤル”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が30.3%である一方で、「知らない」が68.6%と、「知らない」が38.3ポイント上回っている。

全体 n=644

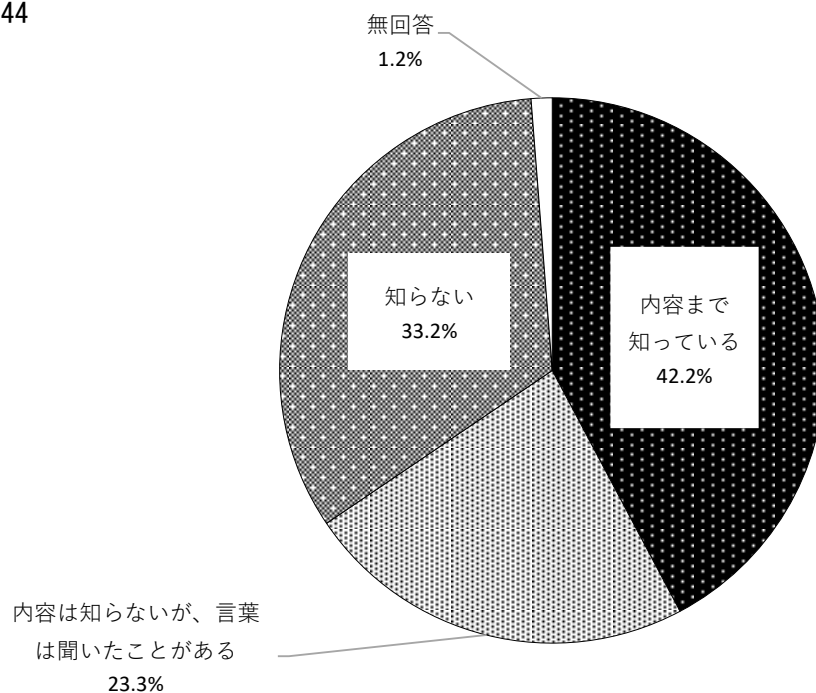


(2)「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

問2 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、この言葉を知っていましたか。(1つのみ)

“ワーク・ライフ・バランス”の認知度については、「内容まで知っている」が42.2%で最も高く、次いで「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」が23.3%、「知らない」が33.2%となっている。

全体 n=644

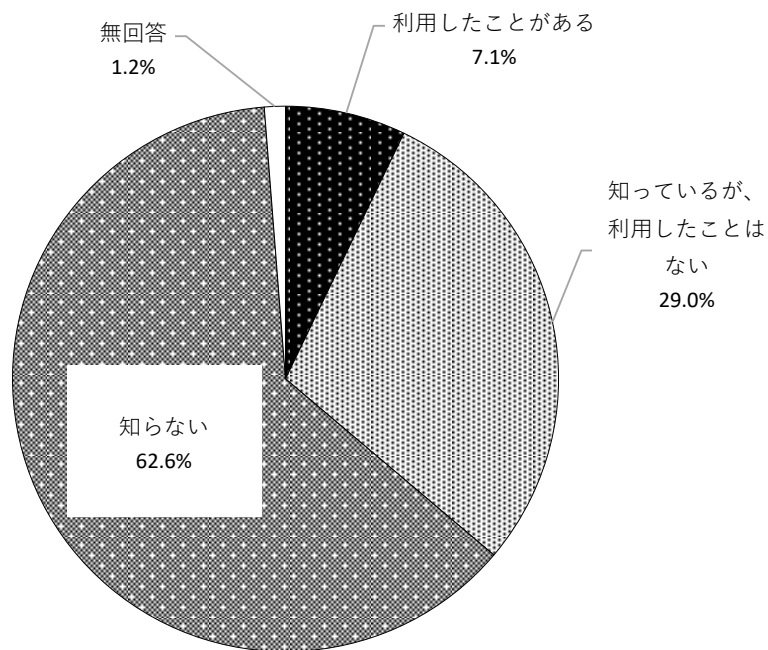


(3)「エセナおおた」の認知度

問3 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取組として様々な講座や展示などの事業を実施しています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を知っていますか。(1つのみ)

“エセナおおた”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が36.1%である一方で、「知らない」が62.6%と、「知らない」が26.5ポイント上回っている。

全体 n=644

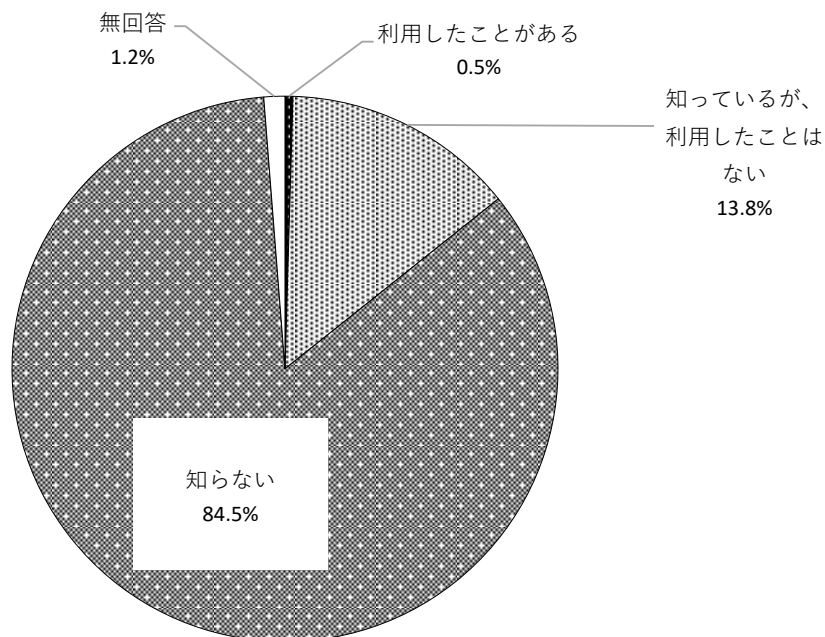


（４）「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度

問４ 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の方々の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。（１つのみ）

“女性のためのたんぽぽ相談”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が14.3%である一方で、「知らない」が84.5%と、「知らない」が70.2ポイント上回っている。

全体 n=644



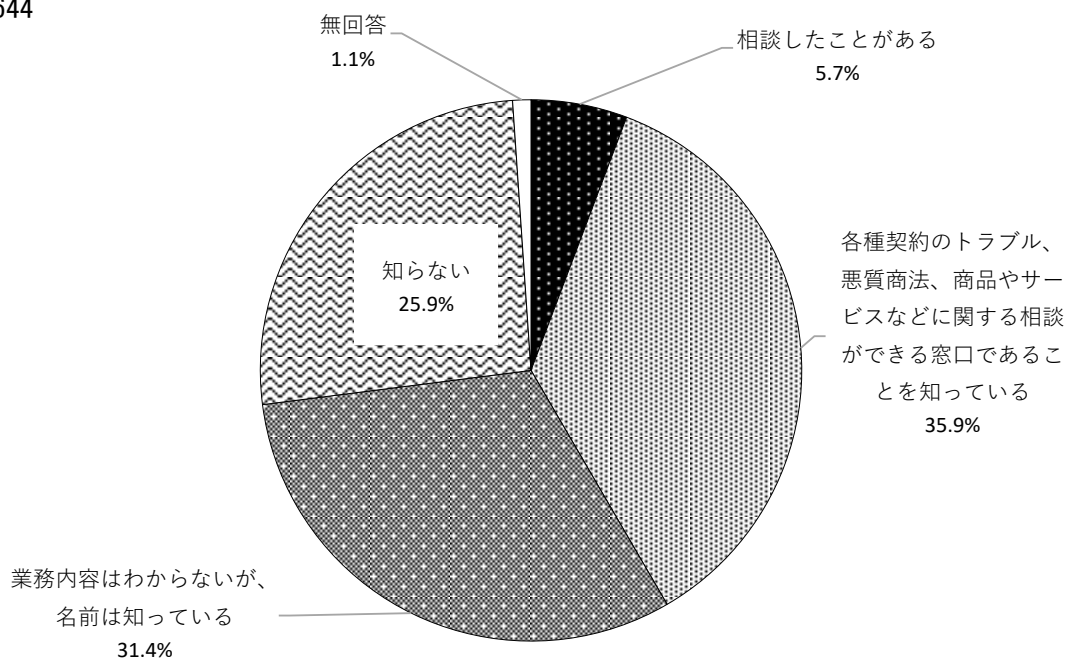
（５）「大田区立消費者生活センター」の認知度

問５ 「大田区立消費者生活センター」を知っていますか。（１つのみ）

“大田区立消費者生活センター”の認知度については、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が35.9%で最も高く、「業務内容はわからないが、名前は知っている」が31.4%、「知らない」が25.9%となっている。

なお、「相談したことがある」は5.7%となっている。

全体 n=644



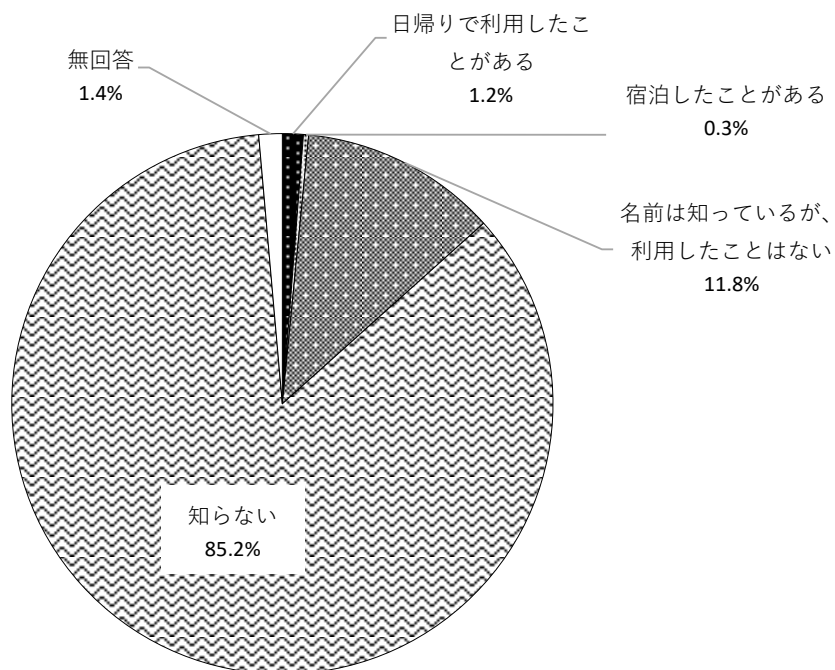
（6）「ゆいっつ（大田区青少年交流センター）」の認知度

問6 大田区青少年交流センター「ゆいっつ」を知っていますか。（1つのみ）

“ゆいっつ（大田区青少年交流センター）”の認知度については、「知らない」が85.2%で最も高く、次いで、「名前は知っているが、利用したことはない」が11.8%となっている。

なお、「日帰りで利用したことがある」は1.2%、「宿泊したことがある」は0.3%となっている。

全体 n=644



2 生涯学習について

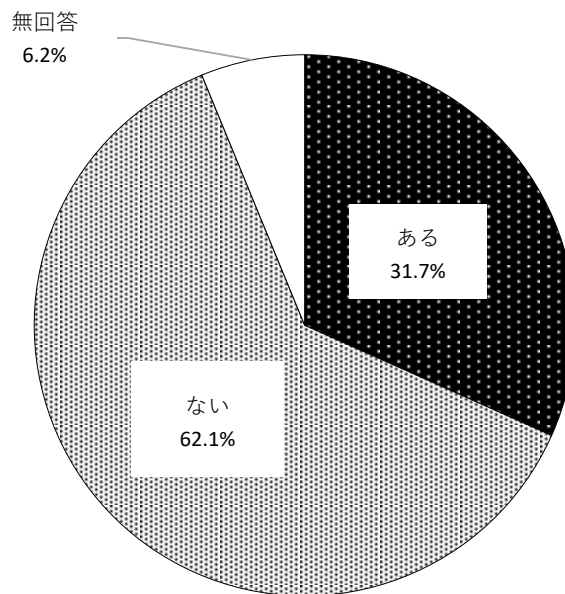
(1) 最近1年間の生涯学習の有無

問7 最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

※生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、子ども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

最近1年間の生涯学習の有無については、「ある」が31.7%、「ない」が62.1%と、「ない」が30.4ポイント上回っている。

全体 n=644

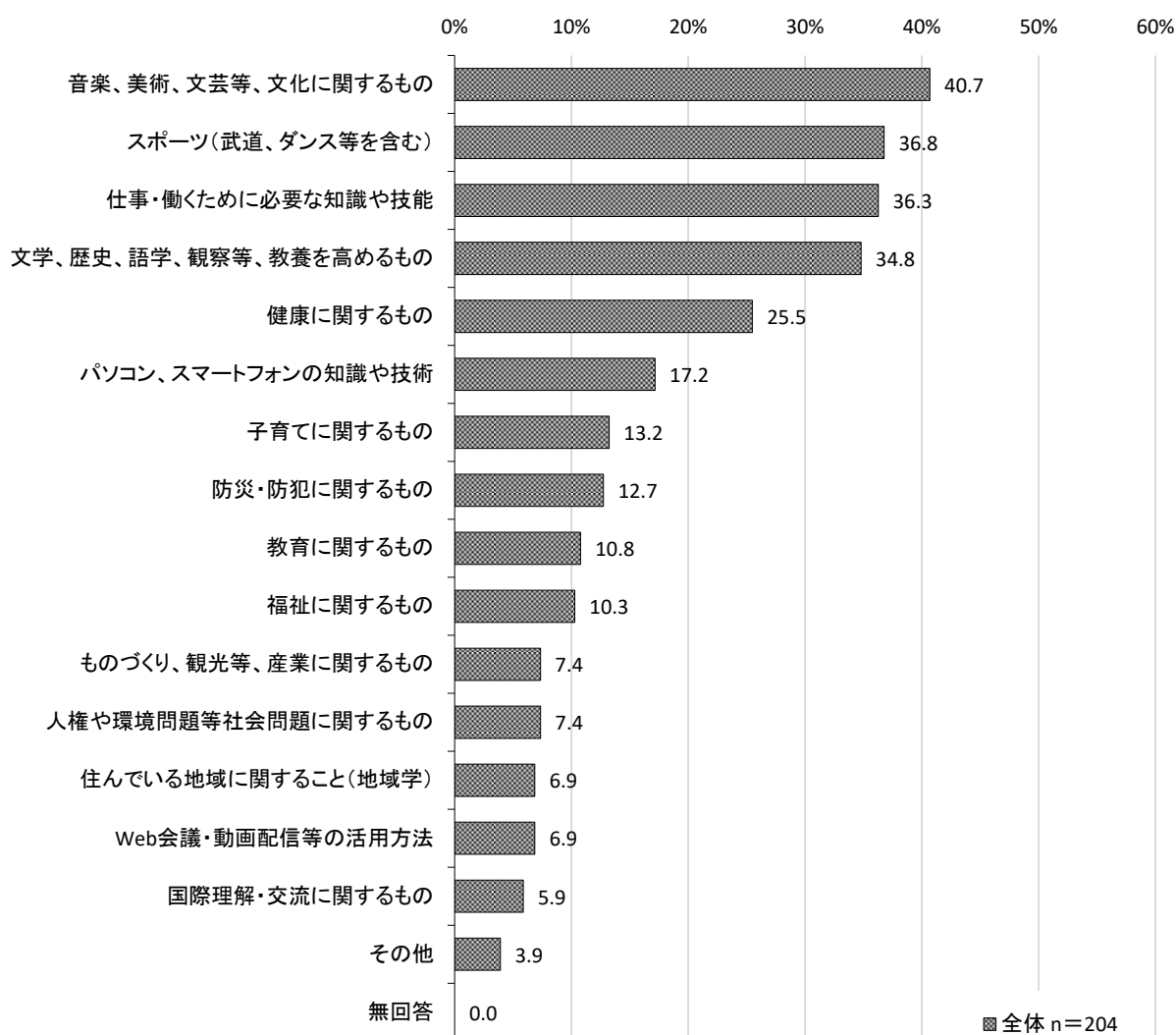


（２）最近１年間で行った生涯学習

【問７で「１ ある」と回答した方に伺います。】

問７－１ 最近１年間にどのような生涯学習を行いましたか。（複数回答可）

最近１年間で行った生涯学習については、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が40.7%で最も高く、次いで「スポーツ（武道、ダンス等を含む）」が36.8%、「仕事・働くために必要な知識や技能」が36.3%となっている。

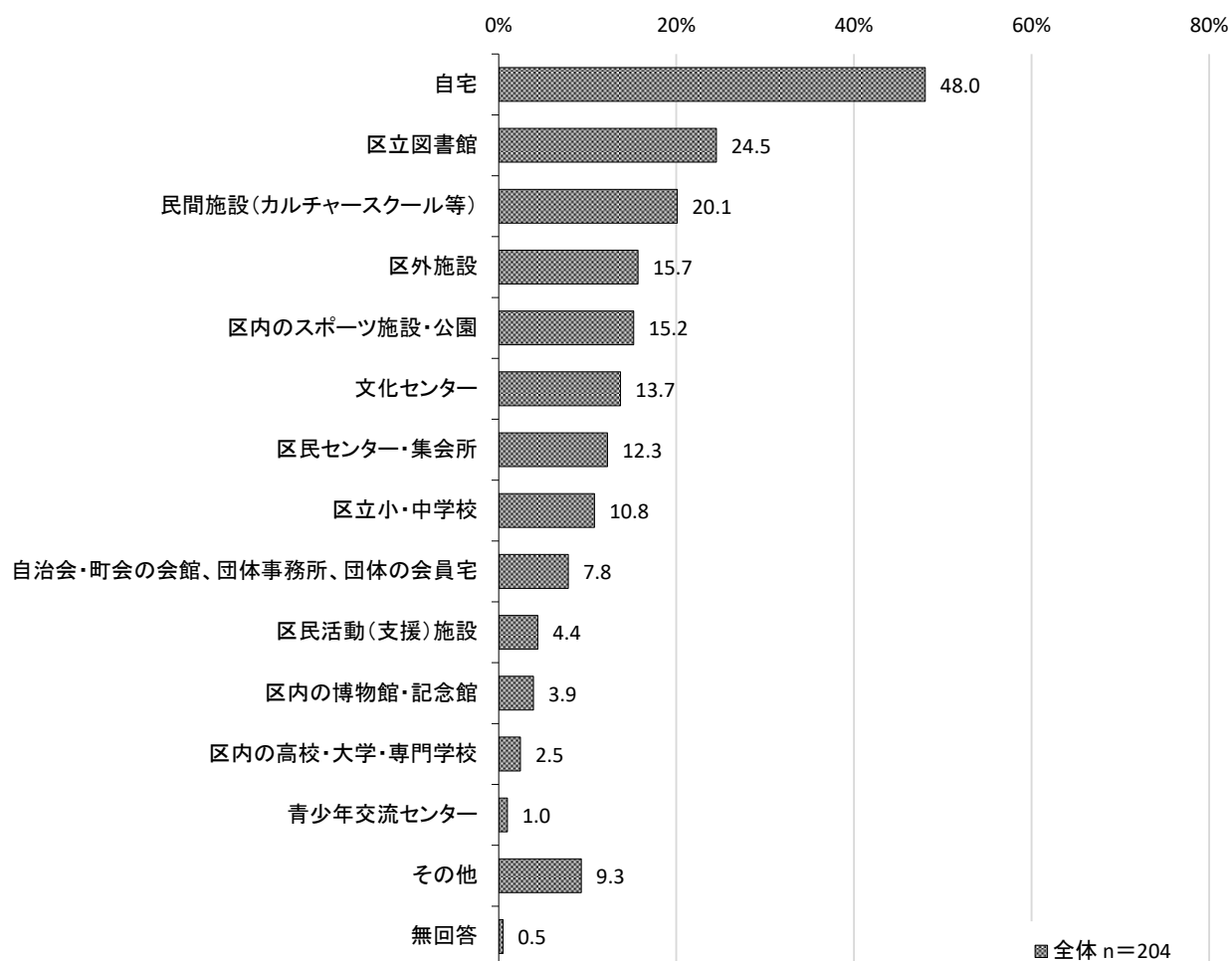


（３）生涯学習の活動場所

【問 7 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 7-2 生涯学習を行っている場所はどこですか。（複数回答可）

生涯学習の活動場所については、「自宅」が 48.0%で最も高く、次いで「区立図書館」が 24.5%、「民間施設（カルチャースクール等）」が 20.1%となっている。



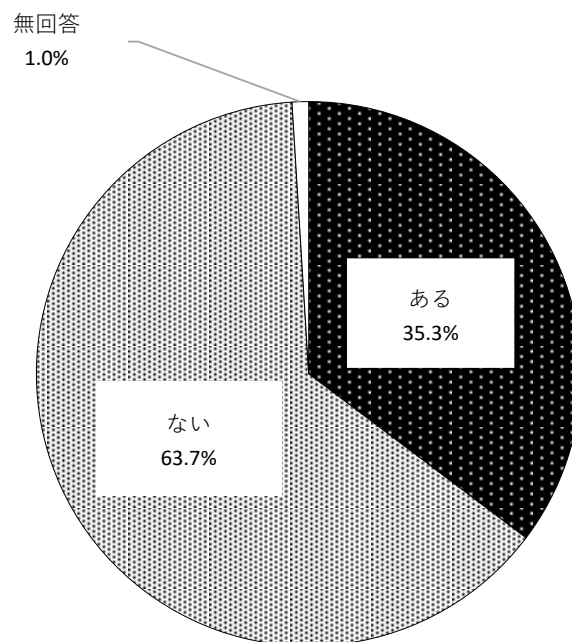
（４）オンラインによる生涯学習の有無

【問 7 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 7-3 オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。（1つのみ）

オンラインによる生涯学習の有無については、「ある」が 35.3%、「ない」が 63.7%と、「ない」が 28.4 ポイント上回っている。

全体 n=204



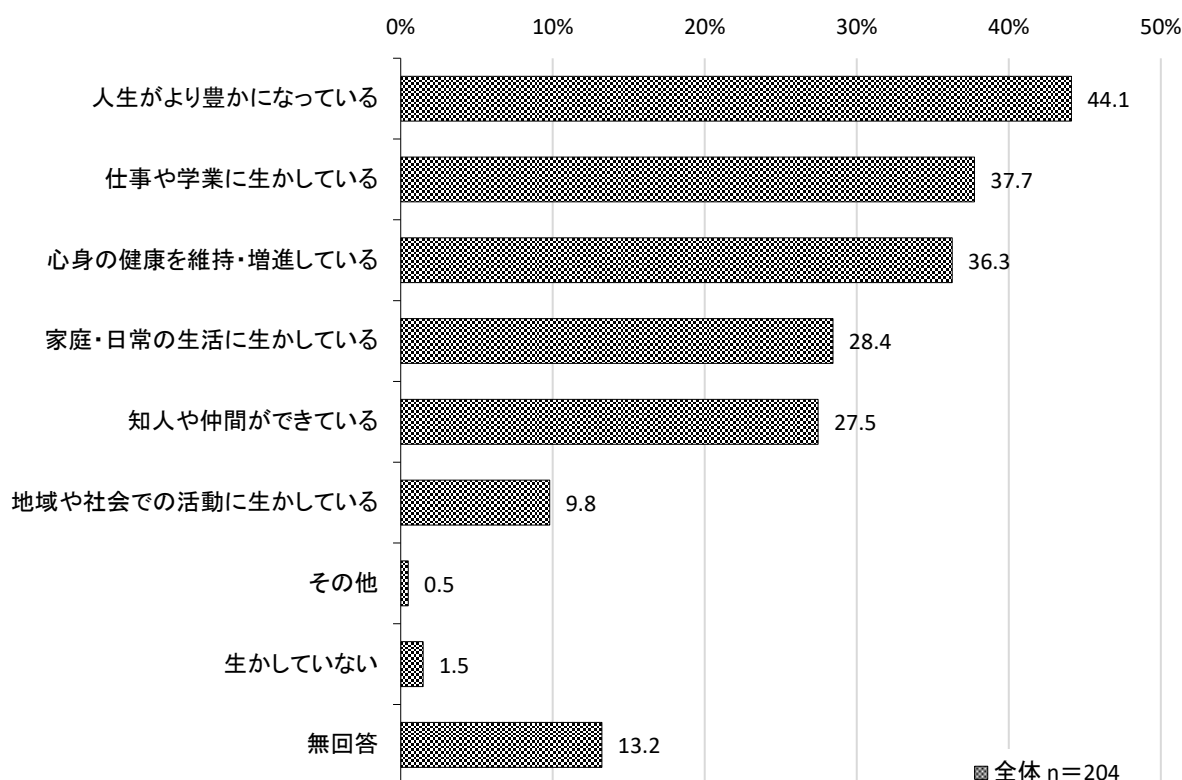
（５）生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること

【問 7 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 7-4 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。 (複数回答可)

生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていることについては、「人生がより豊かになっている」が 44.1%で最も高く、次いで「仕事や学業に生かしている」が 37.7%、「心身の健康を維持・増進している」が 36.3%となっている。

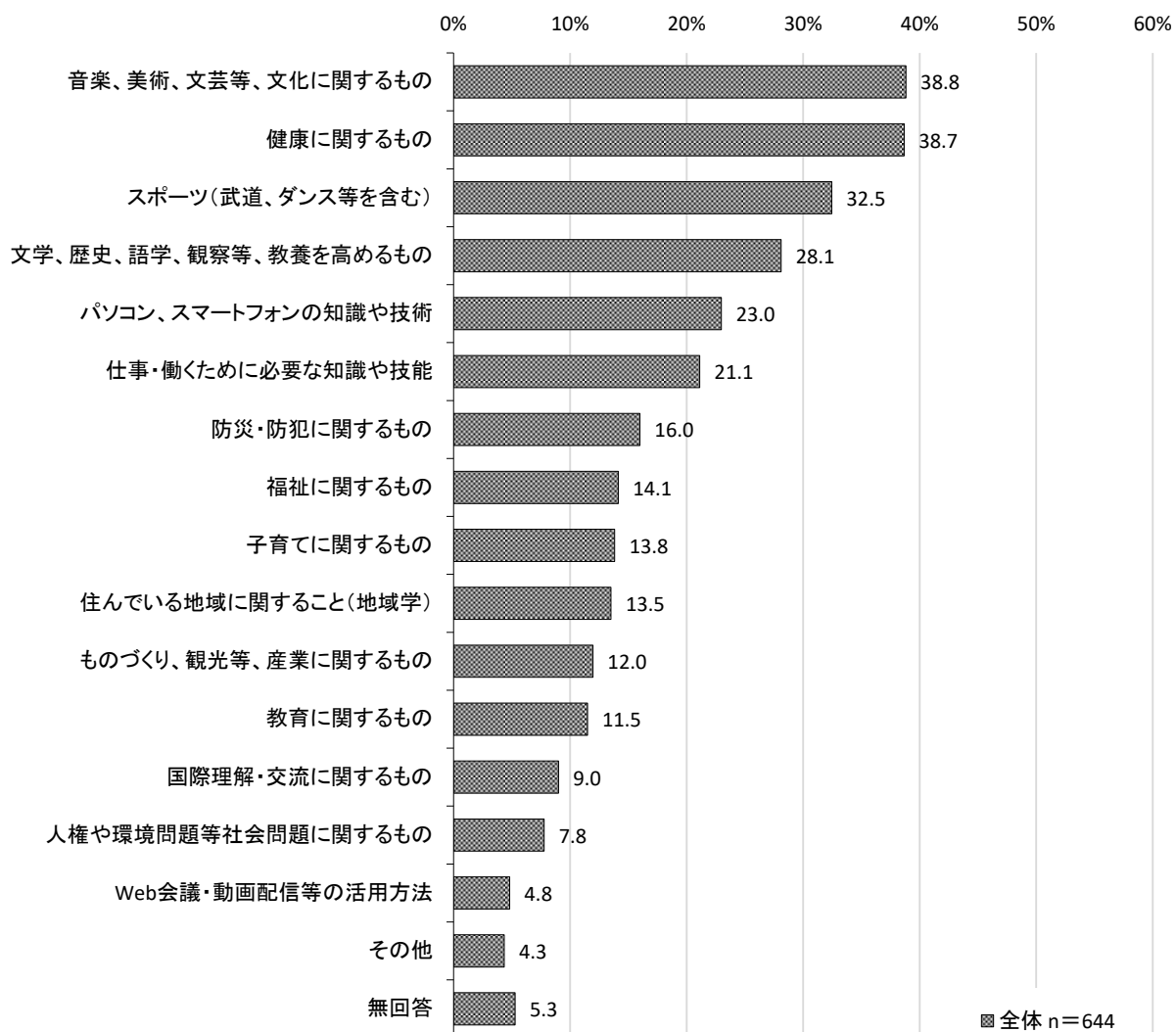
なお、「生かしていない」は 1.5%となっている。



（6）今後行いたい生涯学習

問8 今後行いたい生涯学習の内容をお答えください。（複数回答可）

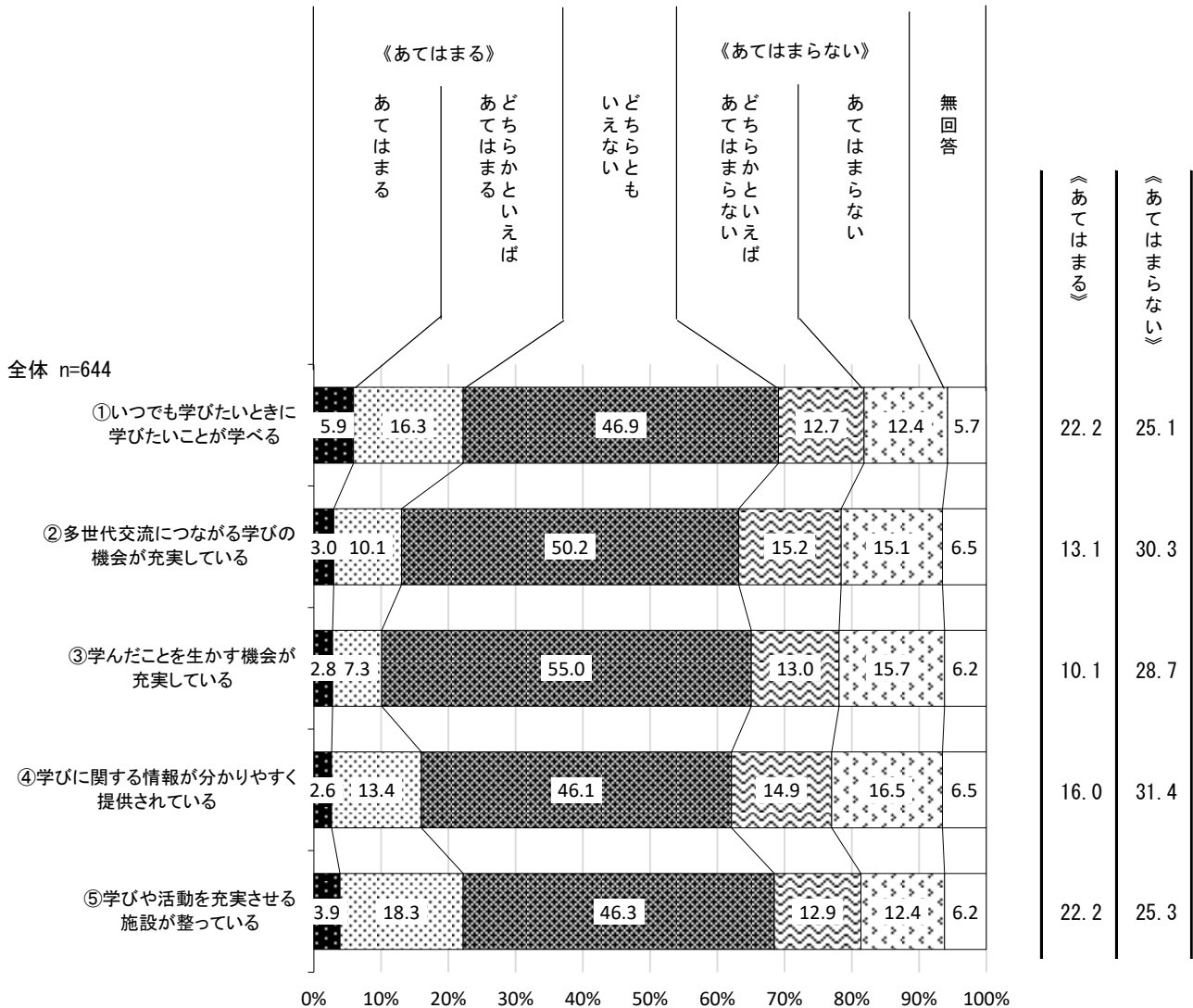
今後行いたい生涯学習については、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が38.8%で最も高く、次いで「健康に関するもの」が38.7%、「スポーツ（武道、ダンス等を含む）」が32.5%となっている。



(7) 生涯学習の満足度

問9 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

現在の大田区の生涯学習については、「①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる」、「⑤学びや活動を充実させる施設が整っている」が22.2%で最も高く、次いで「④学びに関する情報が分かりやすく提供されている」が16.0%、「②多世代交流につながる学びの機会が充実している」が13.1%となっている。

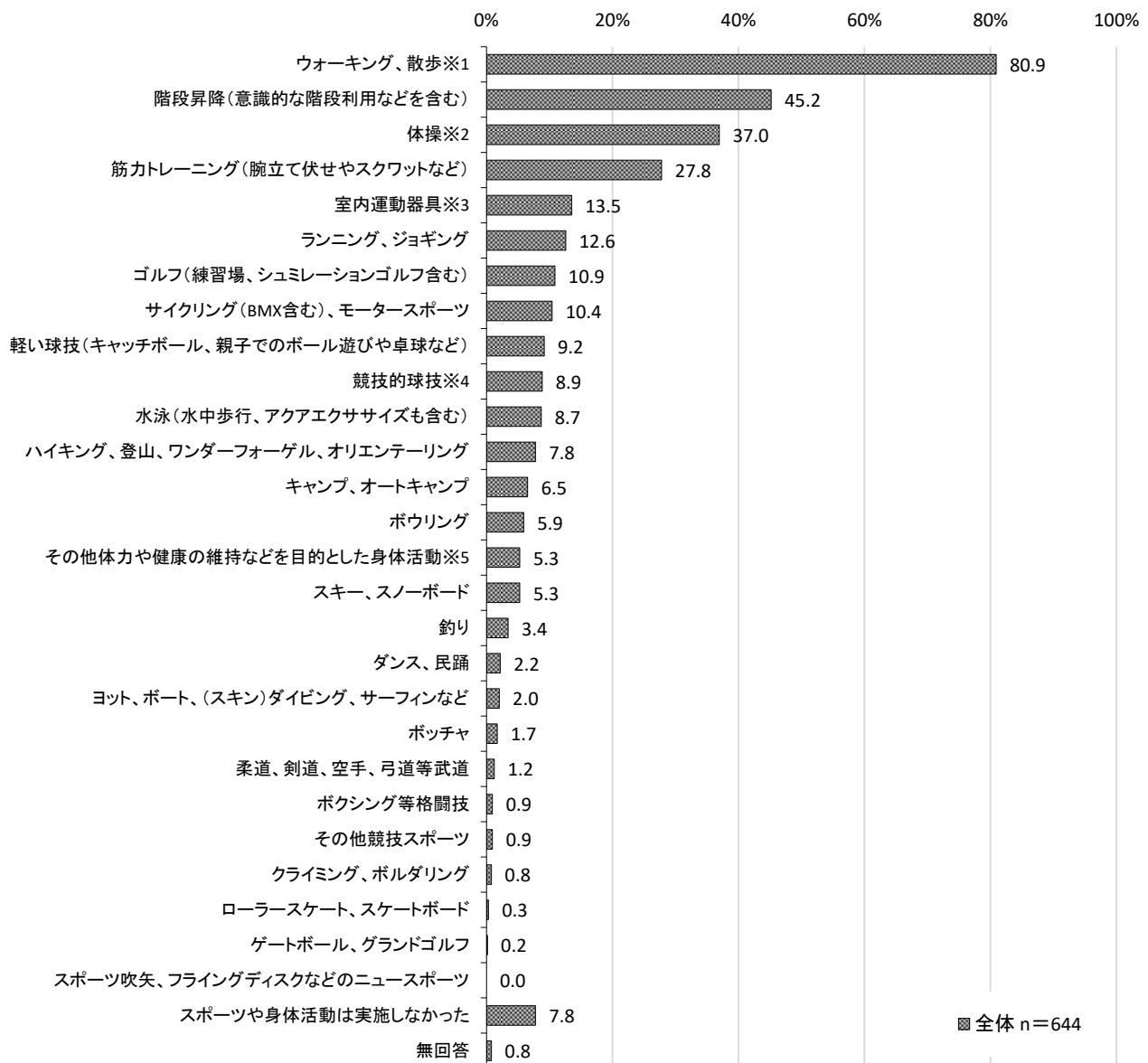


3 スポーツ・運動について

(1) この1年間に実施したスポーツ・運動

問 10 この1年間に実施したスポーツや運動をすべて選択してください。(複数選択可)

この1年間に実施したスポーツ・運動については、「ウォーキング、散歩」が80.9%で最も高く、次いで「階段昇降(意識的な階段利用などを含む)」が45.2%、「体操」が37.0%となっている。
なお、「スポーツや身体活動は実施しなかった」は7.8%となっている。



※1 ウォーキング、散歩(散歩、ペットの散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む)

※2 体操(ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、エクササイズ、ヨガ、バレエ、ピラティス、縄跳び、エアロビクスなどを含む)

※3 室内運動器具(ウエイト、ランニングマシン、バランスボールを使った運動)

※4 競技的球技(野球、サッカー、卓球、テニス、バレーボール、バドミントンなど)

※5 その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動

(2) この1年間のスポーツ・運動の活動頻度

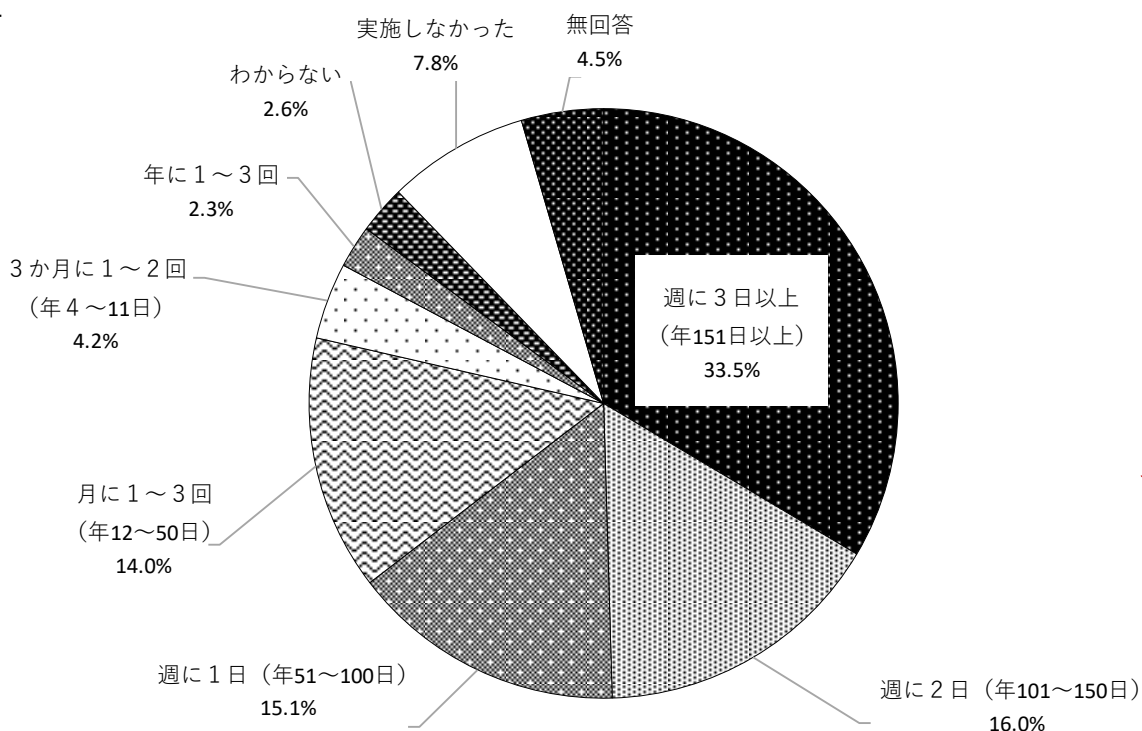
【問10で「28 スポーツや身体活動は実施しなかった」「以外」を回答した方に伺います。】

問10-1 そのスポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか。(1つのみ)

※年間合計日数でも可

この1年間のスポーツ・運動の活動頻度については、「週に3日以上(年151日以上)」が33.5%で最も高く、次いで「週に2日(年101～150日)」が16.0%、「週に1日(年51～100日)」が15.1%となっている。

全体 n=644



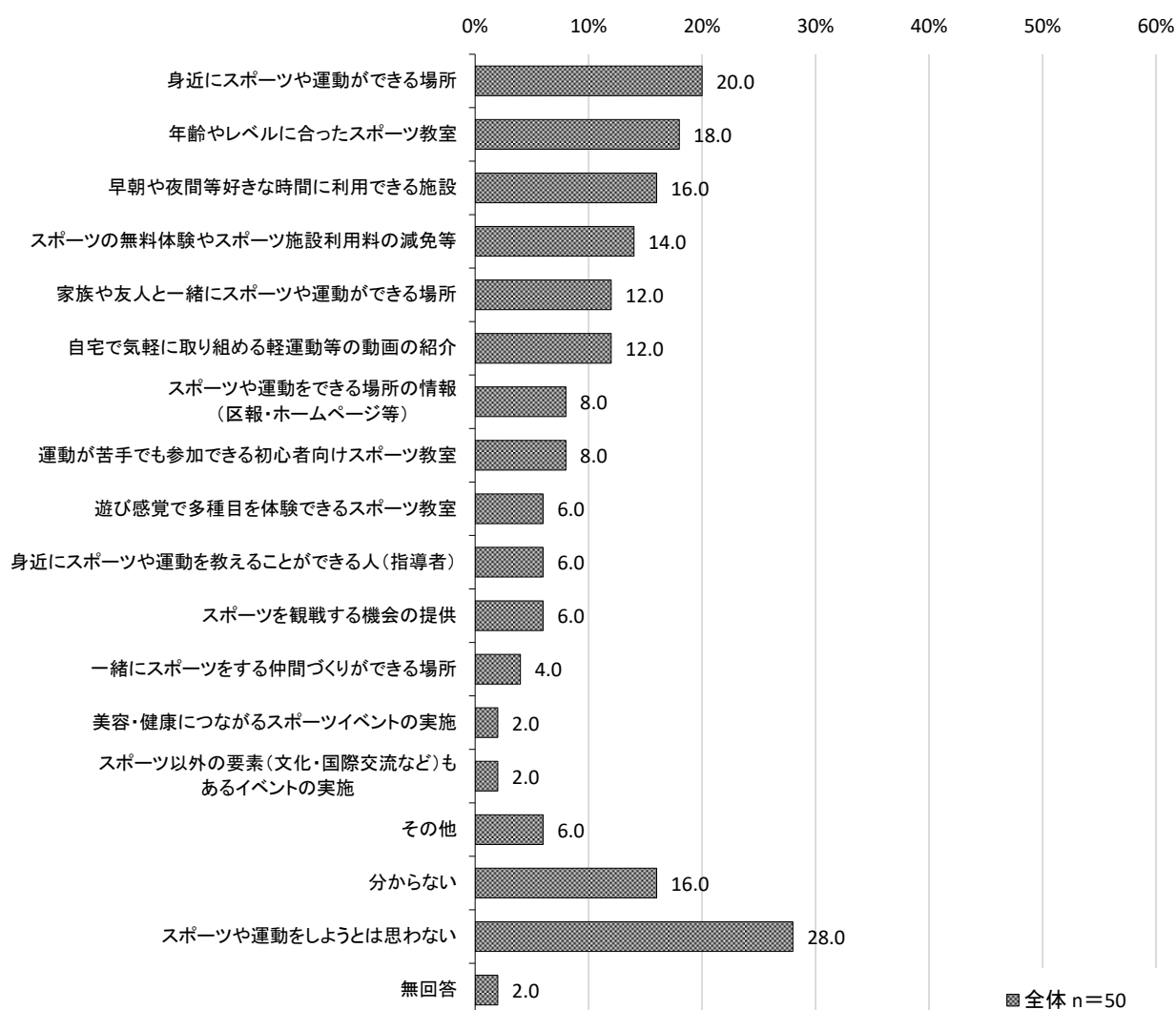
（３）運動を始める（再開する）ために必要なこと

【問 10 で「28 スポーツや身体活動は実施しなかった」と回答した方に伺います

問 10－2 スポーツや運動を始める（再開する）ためには何が必要だと思いますか。（複数選択可）

スポーツや運動を始める（再開する）ために必要なことについては、「身近にスポーツや運動ができる場所」が20.0%で最も高く、次いで「年齢やレベルに合ったスポーツ教室」が18.0%、「早朝や夜間等好きな時間に利用できる施設」が16.0%となっている。

なお、「スポーツや運動をしようとは思わない」は28.0%となっている。



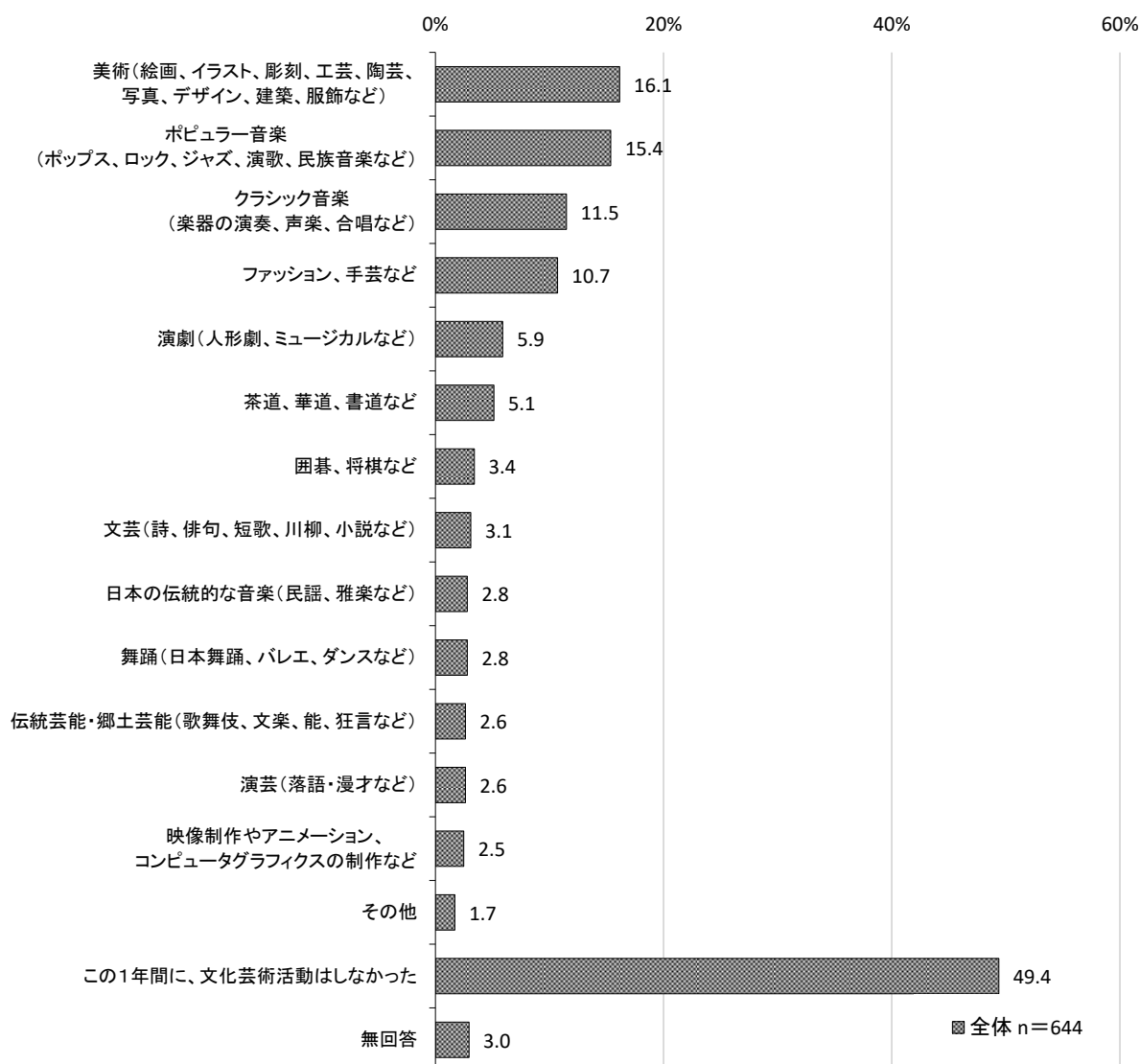
4 文化・芸術について

(1) 文化芸術活動の有無

問 11 この1年間に、次のような文化芸術活動を行いましたか。(複数選択可)

文化芸術活動については、「美術（絵画、イラスト、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」が16.1%で最も高く、次いで「ポピュラー音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、民族音楽など）」15.4%、「クラシック音楽（楽器の演奏、声楽、合唱など）」11.5%となっている。

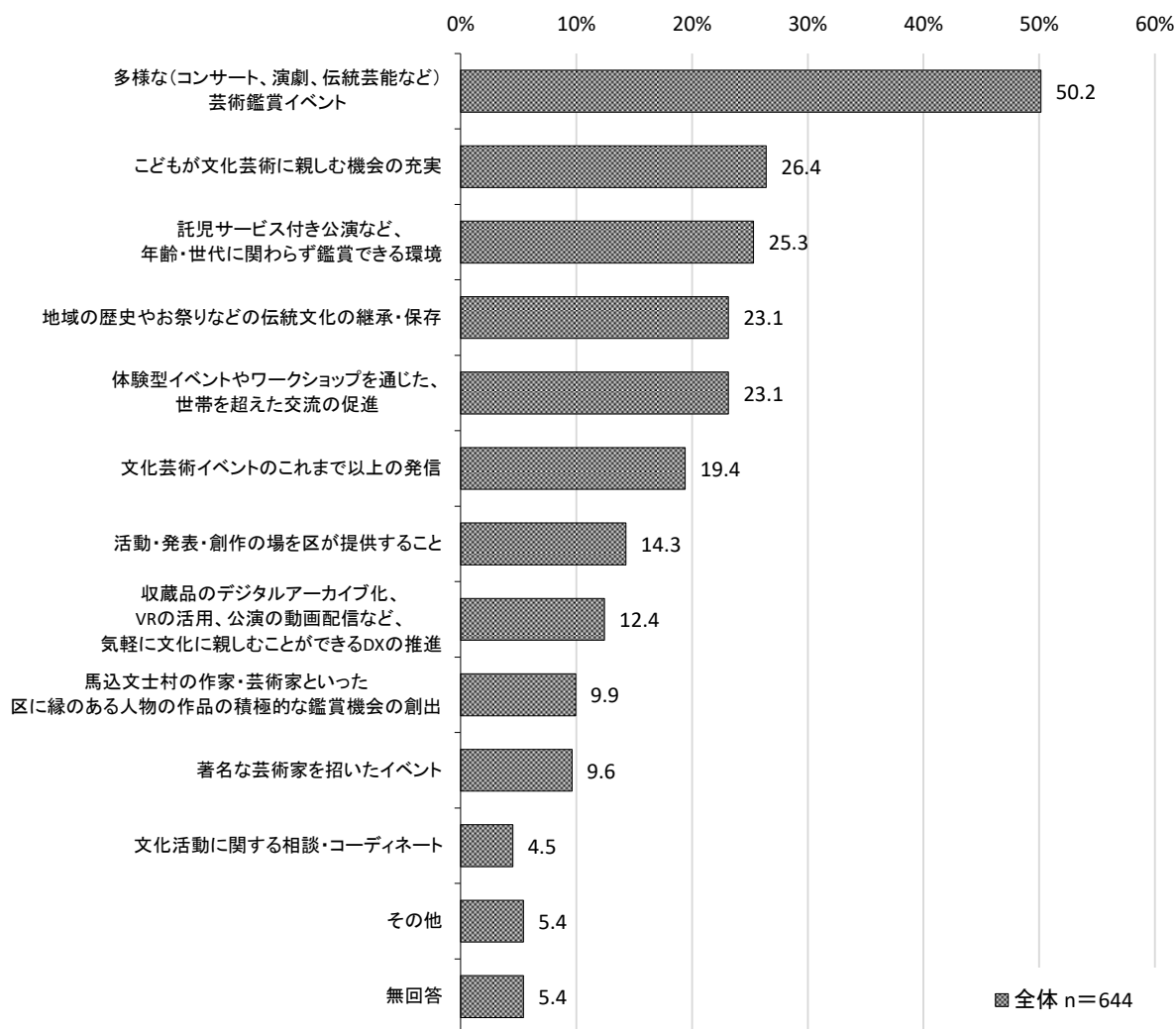
なお、「この1年間に、文化芸術活動はしなかった」は49.4%となっている。



（２）区の文化・芸術事業に必要なもの

問 12 区の文化・芸術事業には、何が必要だと思いますか。（複数選択可）

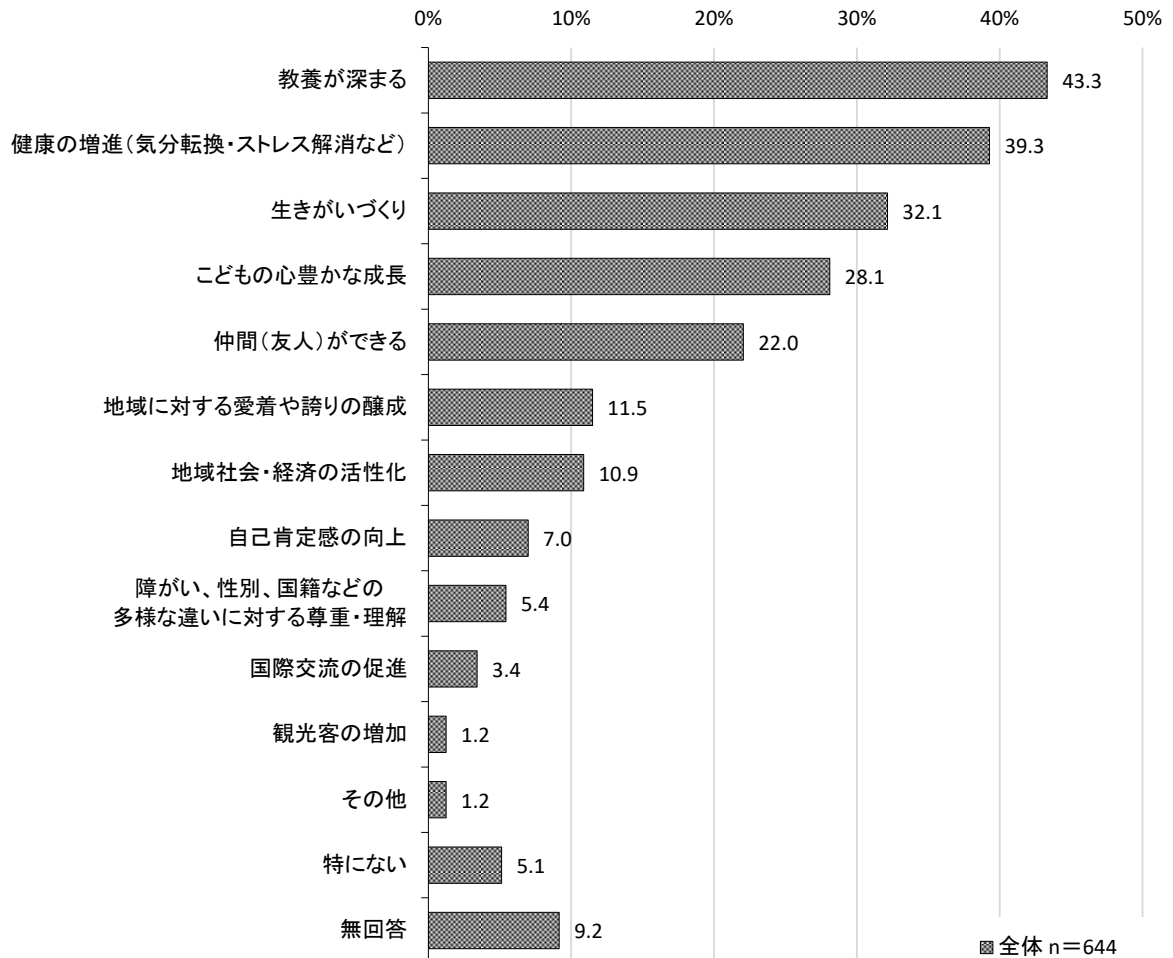
区の文化・芸術事業に必要なものについては、「多様な（コンサート、演劇、伝統芸能など）芸術鑑賞イベント」が50.2%で最も高く、次いで「こどもが文化芸術に親しむ機会の充実」が26.4%、「託児サービス付き公演など、年齢・世代に関わらず鑑賞できる環境」が25.3%となっている。



（３）文化活動の効果で期待すること

問 13 文化活動（鑑賞のみも含む）を行うことで、こういった効果を期待しますか。この中から3つ以内でお答えください。（3つまで）

文化活動（鑑賞のみも含む）の効果については、「教養が深まる」が43.3%で最も高く、次いで「健康の増進（気分転換・ストレス解消など）」が39.3%、「生きがいがづくり」が32.1%となっている。
 なお、「特にない」は5.1%となっている。



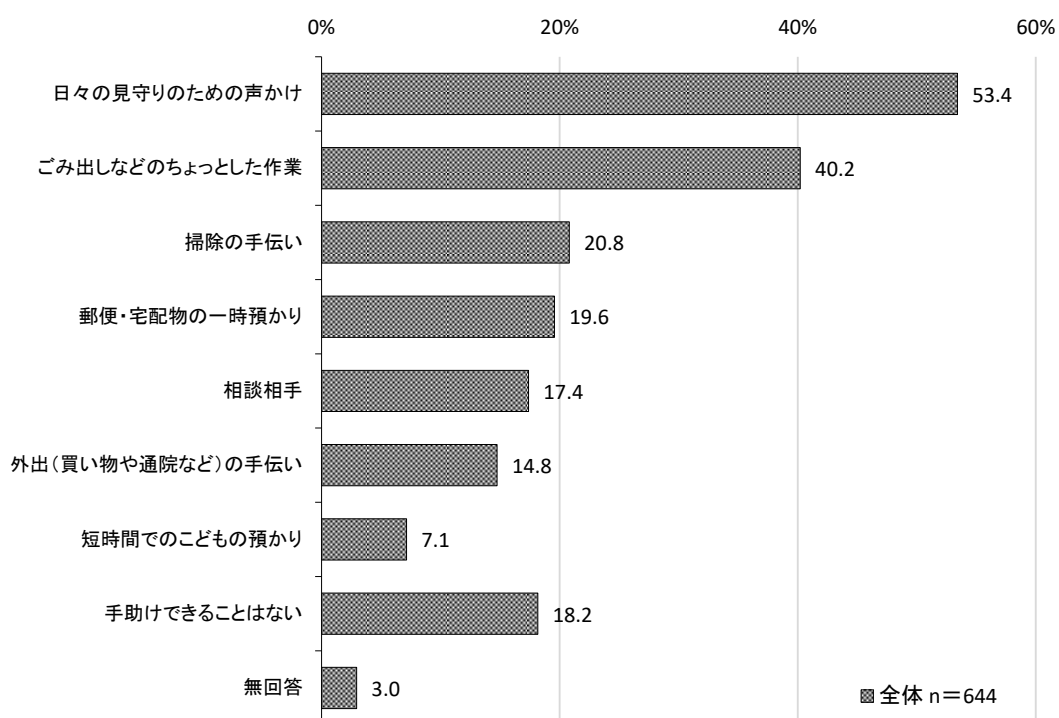
5 地域活動について

（１）近所の方への手助けとしてできること

問 14 近所の方への手助けとして、できると思うことを教えてください。（複数回答可）

近所の方への手助けとしてできることについては、「日々の見守りのための声かけ」が 53.4%で最も高く、次いで「ごみ出しなどのちょっとした作業」が 40.2%、「掃除の手伝い」が 20.8%となっている。

なお、「手助けできることはない」は 18.2%となっている。



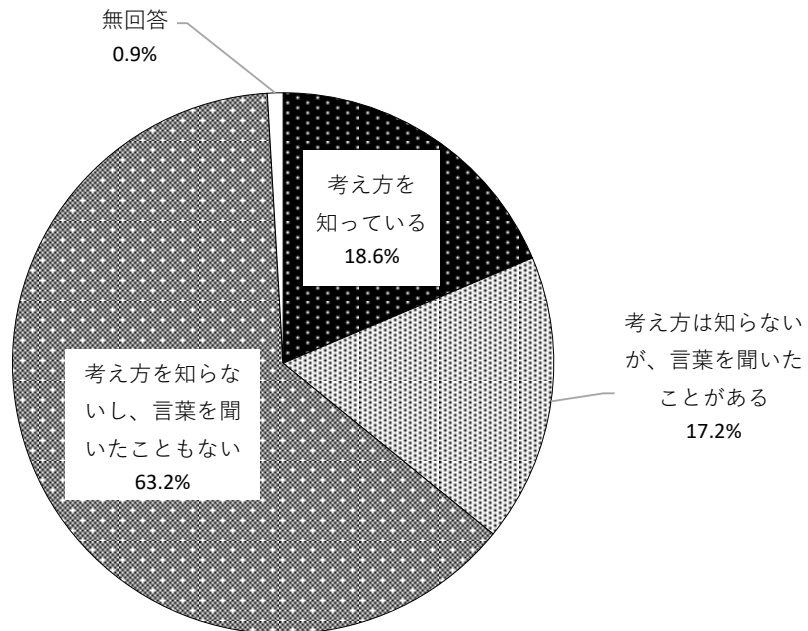
6 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

(1)「社会的包摂」の認知度

問 15 大田区では、こどもたちを誰一人取り残さないよう、こどもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべてのこどもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

“社会的包摂”の認知度については、「考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない」が63.2%で最も高く、次いで「考え方を知っている」が18.6%、「考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある」が17.2%となっている。

全体 n=644



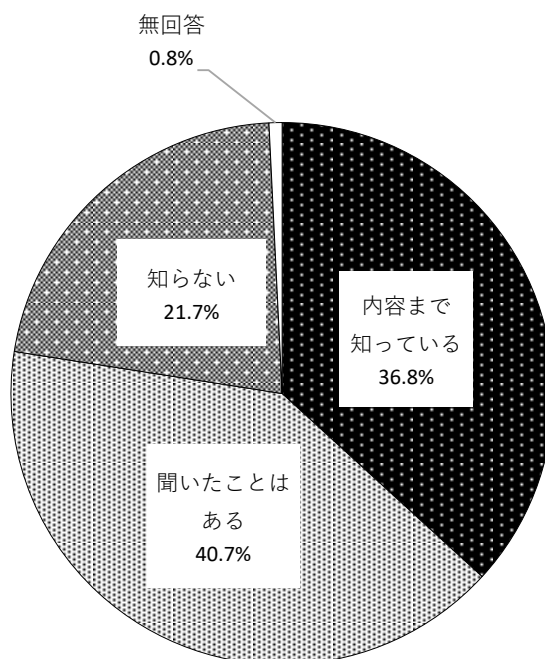
（２）「成年後見制度」の認知度

問 16 「成年後見制度」を知っていますか。（１つのみ）

※認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法律的に支援する制度。

“成年後見制度”の認知度については、「聞いたことはある」が40.7%で最も高く、次いで「内容まで知っている」が36.8%、「知らない」が21.7%となっている。

全体 n=644



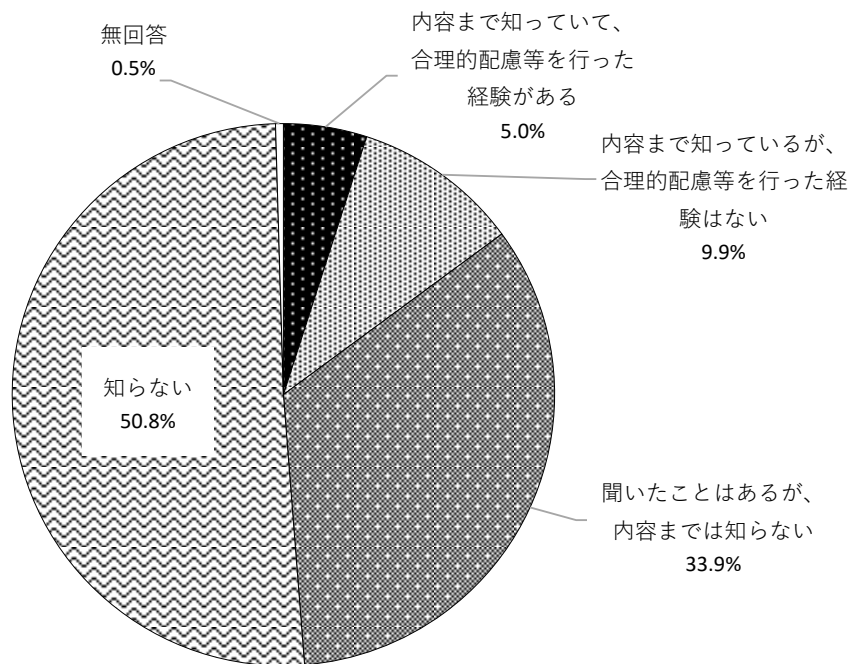
(3)「障害者差別解消法」の認知度

問 17 障がいのある人もない人も、お互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和6年4月に改正法が施行されます。この法律を知っていますか。(1つのみ)

“障害者差別解消法”の認知度については、「知らない」が50.8%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が33.9%、「内容まで知っているが、合理的配慮等を行った経験はない」が9.9%となっている。

なお、「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は5.0%となっている。

全体 n=644



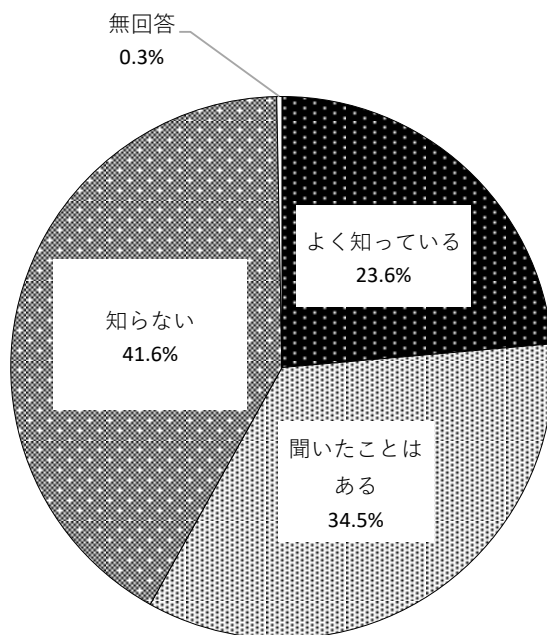
(4)「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度

問 18 「ヘルプカード(たすけてねカード)」を知っていますか。(1つのみ)

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード。(大田区が作成)

“ヘルプカード”の認知度については、「知らない」が41.6%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が34.5%、「よく知っている」が23.6%となっている。

全体 n=644

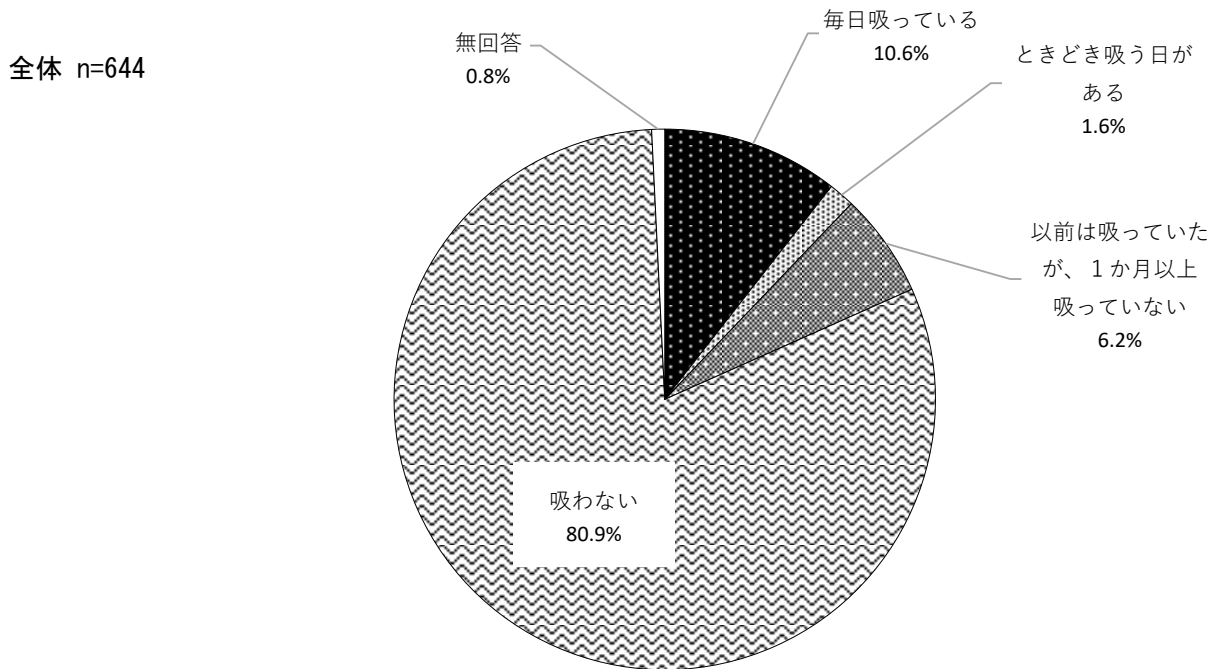


7 喫煙について

(1) 喫煙状況

問 19 たばこを吸いますか。(1つのみ)

喫煙状況については、「吸わない」が80.9%で最も高く、次いで「毎日吸っている」が10.6%、「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」が6.2%となっている。

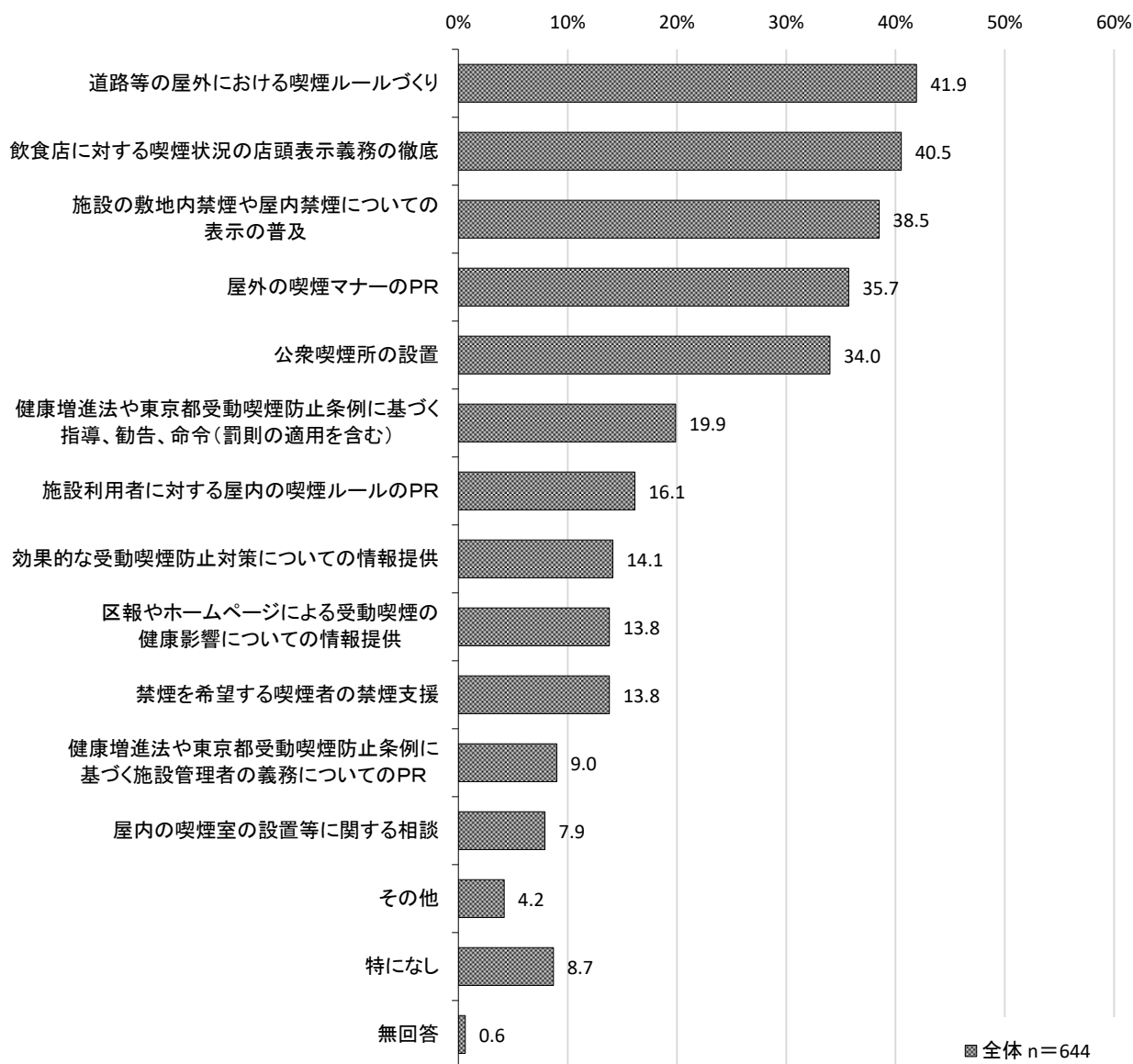


（２）大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組

問 20 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。（複数回答可）

大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組については、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が41.9%で最も高く、次いで「飲食店に対する喫煙状況の店頭表示義務の徹底」が40.5%、「施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及」が38.5%となっている。

なお、「特になし」は8.7%となっている。

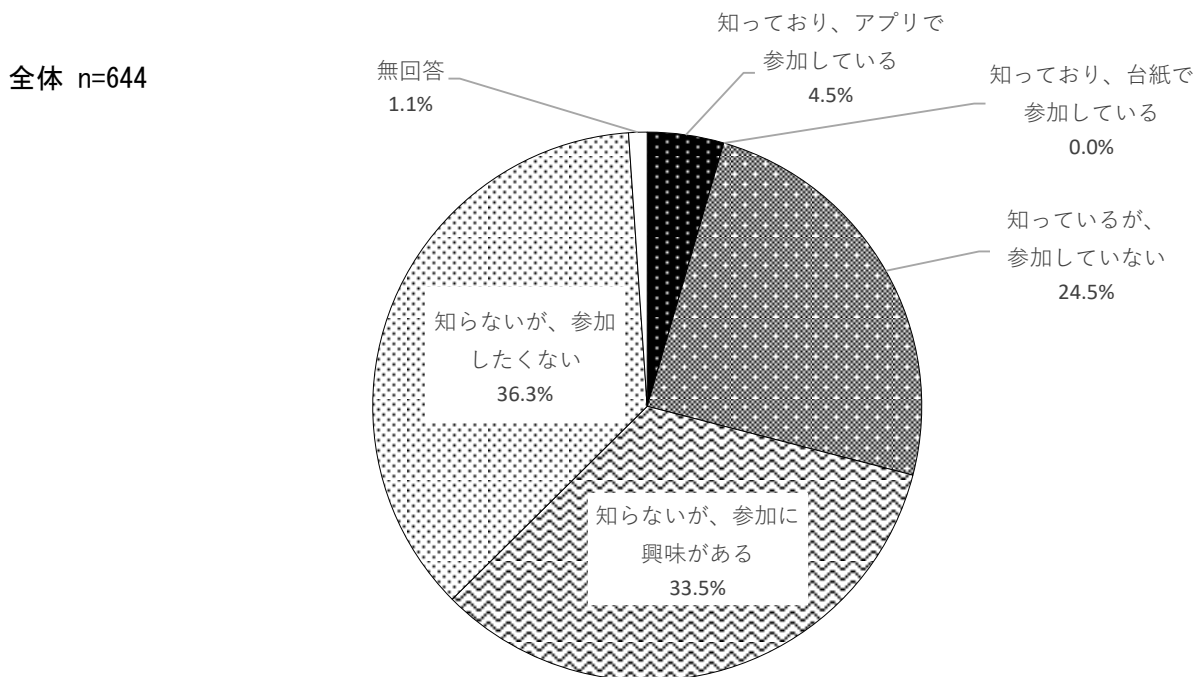


8 健康づくりについて

(1) 「はねびょん健康ポイント」の認知度

問 21 大田区の「はねびょん健康ポイント」を知っていますか。(1つのみ)

“はねびょん健康ポイント”の認知度については、「知っており、アプリで参加している」、「知っており、台紙で参加している」、「知っているが、参加していない」の合計値《知っている》が29.0%で、「知らないが、参加に興味がある」、「知らないが、参加したくない」の合計値《知らない》は69.8%となっている。



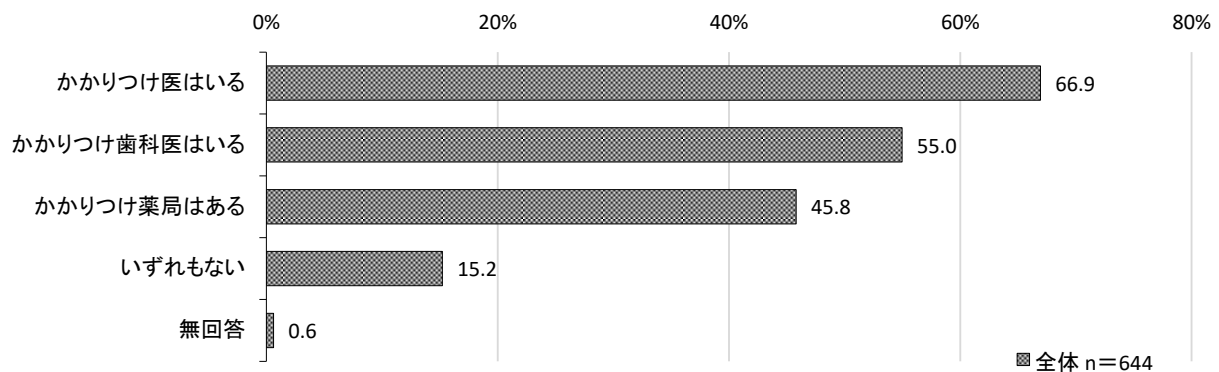
9 医療について

(1) かかりつけの医療機関

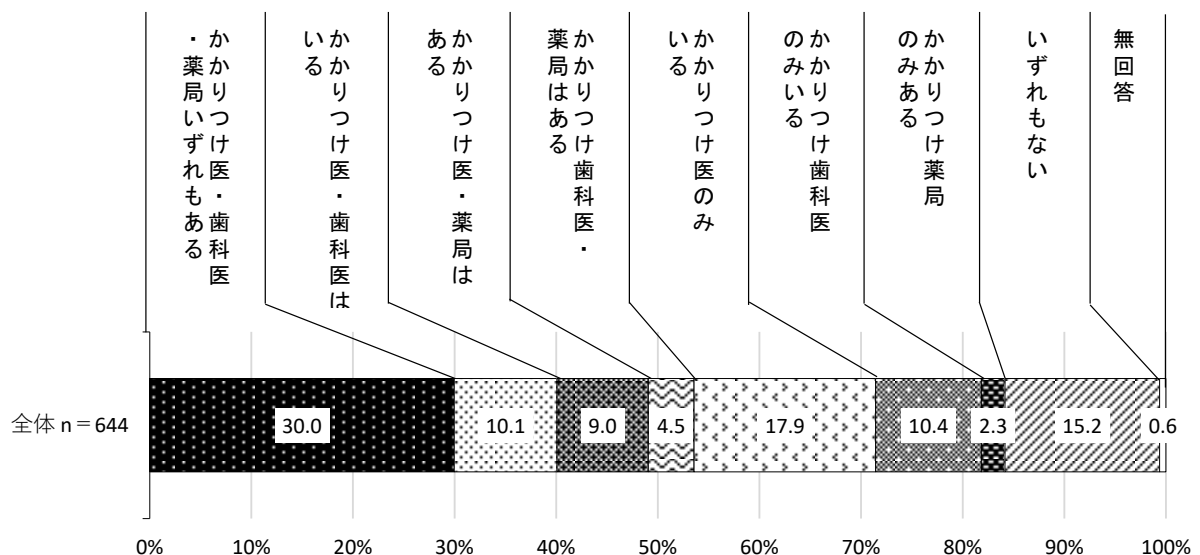
問 22 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(複数回答可)

かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医はいる」が 66.9%で最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいる」が 55.0%、「かかりつけ薬局はある」が 45.8%となっている。

なお、「いずれもない」は 15.2%となっている。



■ かかりつけの医療機関の状況



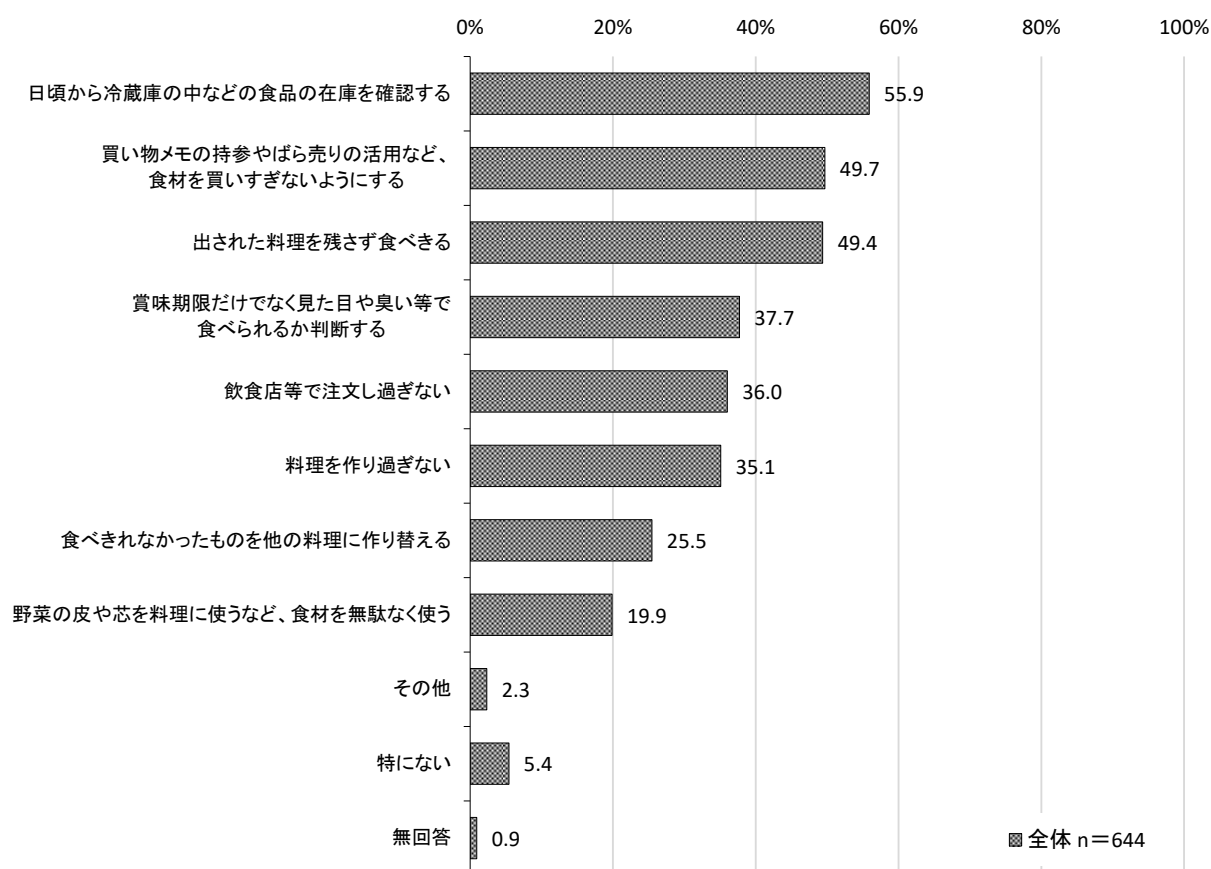
10 食品ロス・フードドライブについて

（１）食品ロスを減らすための取り組み

問 23 生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。（複数回答可）

食品ロスを減らすための取り組みについては、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が55.9%で最も高く、次いで「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」が49.7%、「出された料理を残さず食べきる」が49.4%となっている。

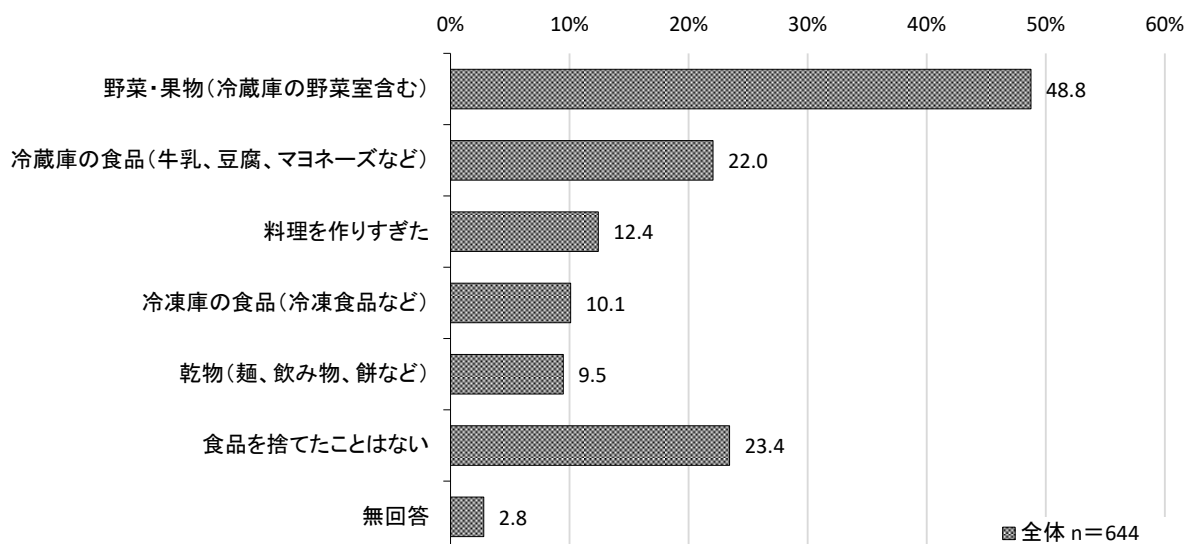
なお、「特にない」は5.4%となっている。



（２）食品ロスとなった食品は何が多かったか

問 24 食品ロスとなった食品は何が多かったですか。（複数回答可）

食品ロスとなった食品については、「野菜・果物（冷蔵庫の野菜室含む）」が48.8%、次いで「冷蔵庫の食品（牛乳、豆腐、マヨネーズなど）」が22.0%、「料理を作りすぎた」が12.4%となっている。
なお、「食品を捨てたことはない」は23.4%となっている。



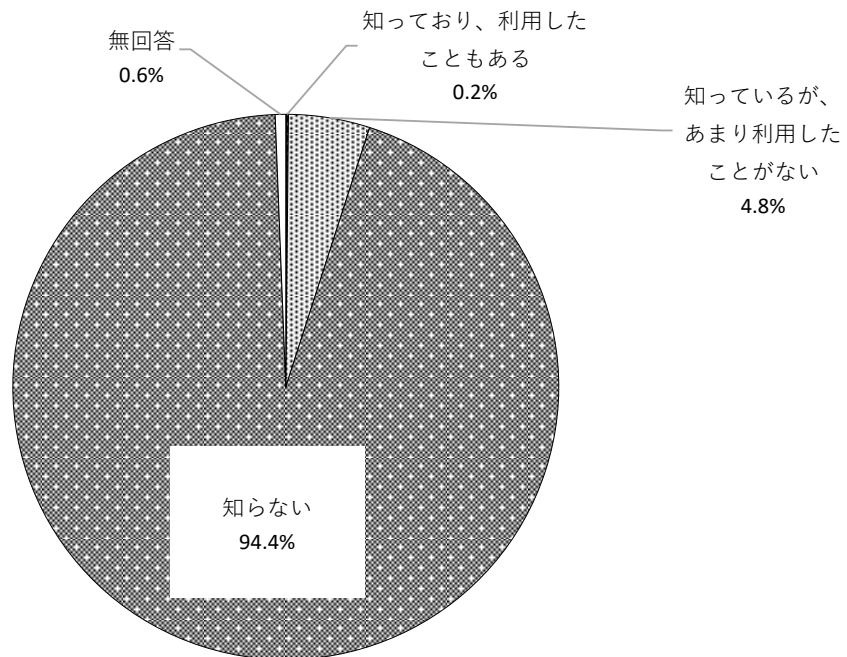
(3)「大田区食べきり応援団」の認知度

問 25 大田区食べきり応援団を知っていますか。(1つのみ)

※「大田区食べきり応援団」とは、大田区に登録された、食品ロス削減に取り組む事業者のことです。

“大田区食べきり応援団”の認知度については、「知っており、利用したこともある」、「知っているが、あまり利用したことがない」の合計値《知っている》が5.0%で、「知らない」が、94.4%となっている。

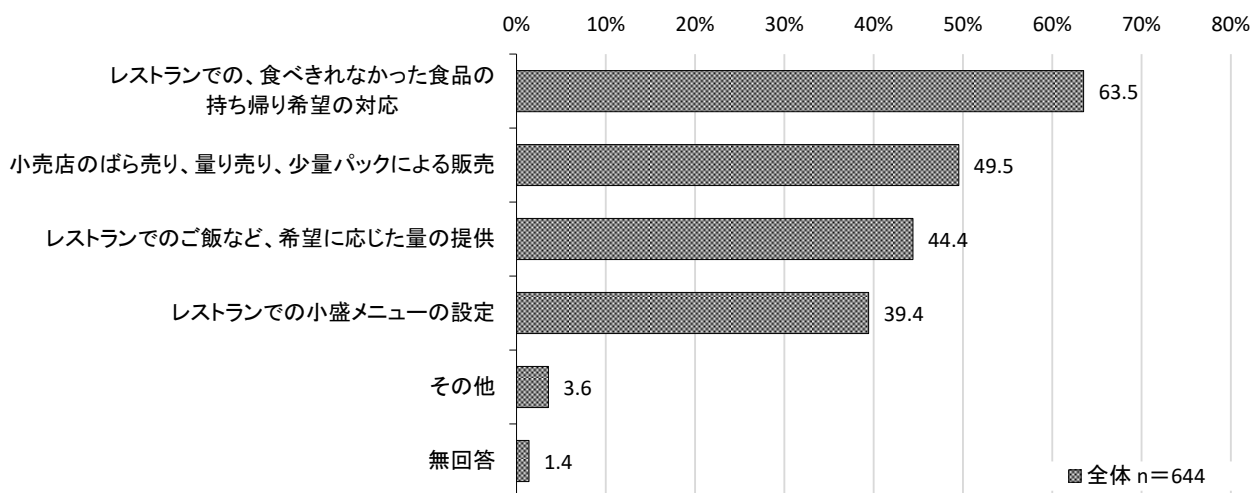
全体 n=644



（４）食品ロス削減への取り組み

問 26 食品ロスを削減するためには、店舗がどのような取組みをしていれば良いと思いますか。
（複数回答可）

食品ロス削減への取り組みについては、「レストランでの、食べきれなかった食品の持ち帰り希望の対応」が 63.5%で最も高く、次いで「小売店のばら売り、量り売り、少量パックによる販売」が 49.5%、「レストランでのご飯など、希望に応じた量の提供」が 44.4%となっている。



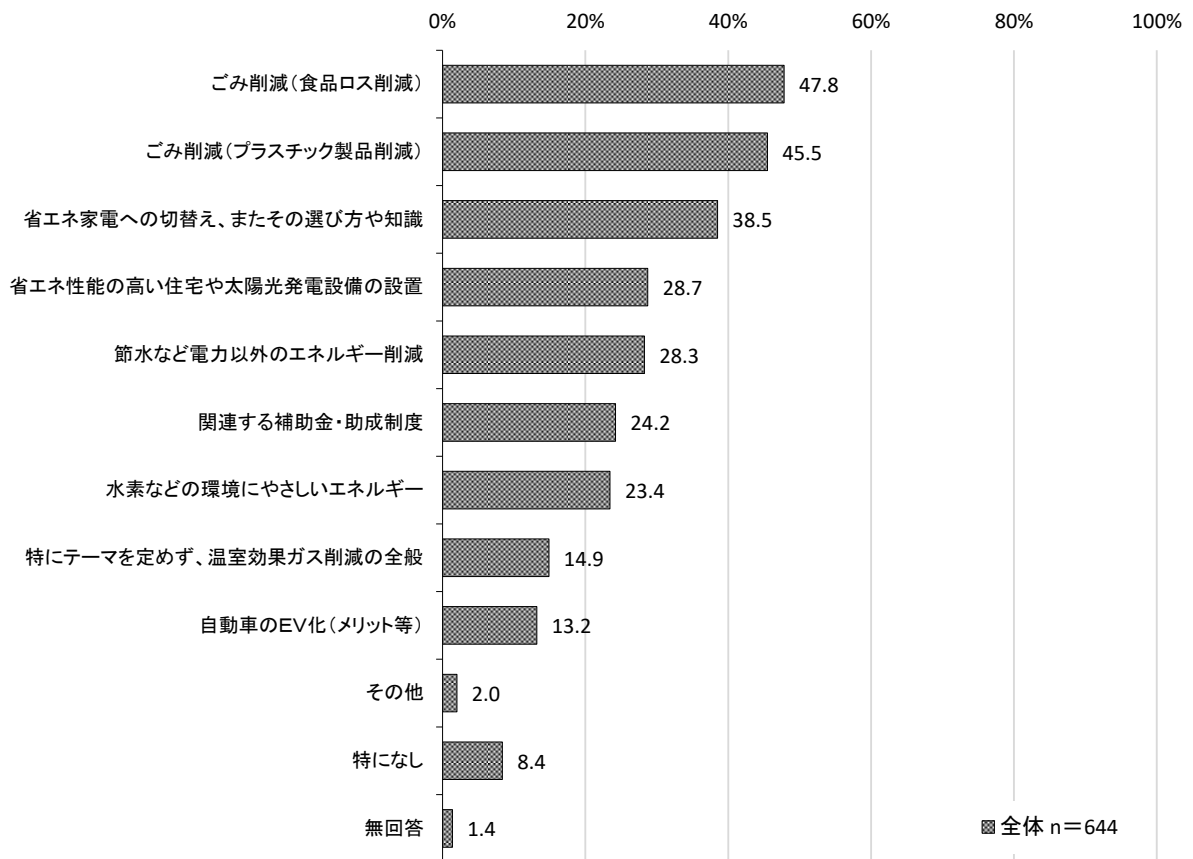
11 地球環境について

（１）地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいこと

問 27 地球温暖化防止のためには、温室効果ガス削減が有効となります。関心のある実践行動や、学んでみたいと思われる内容を教えてください。（複数選択可）

地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいことについては、「ごみ削減（食品ロス削減）」が47.8%で最も高く、次いで「ごみ削減（プラスチック製品削減）」が45.5%、「省エネ家電への切替え、またその選び方や知識」が38.5%となっている。

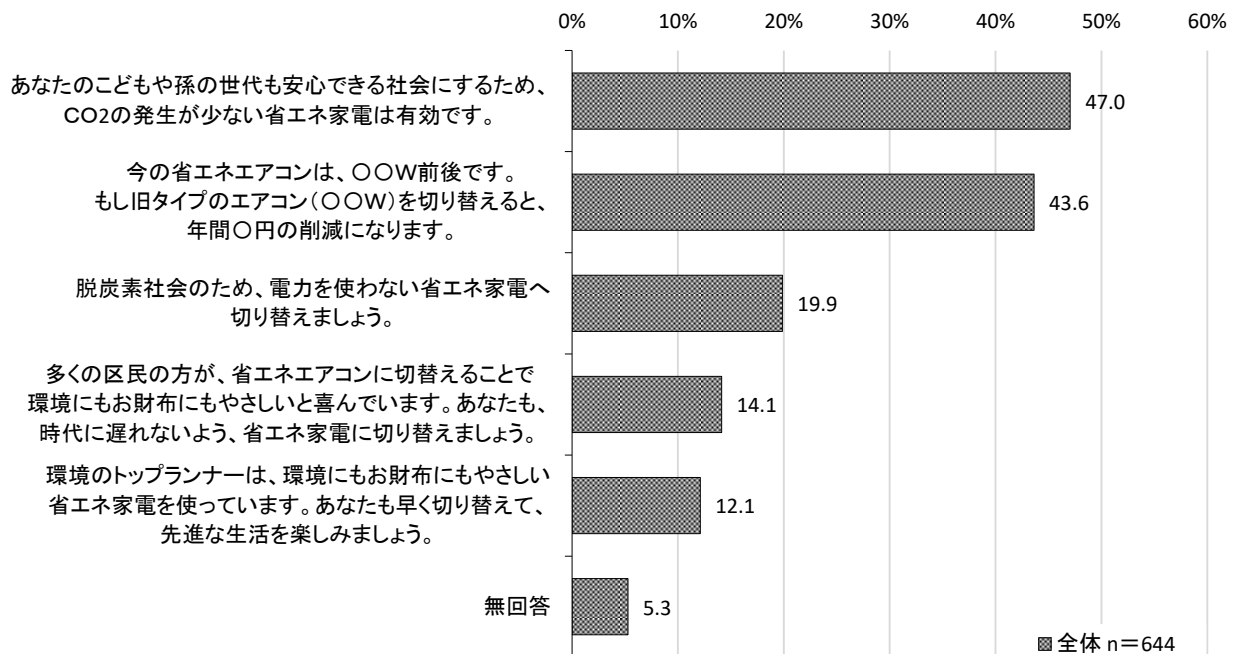
なお、「特になし」は8.4%となっている。



（２）どのようなメッセージで行動変容につながるか

問 28 大田区は 2050 年に向けて脱炭素社会、電力の省エネを進めていく必要があります。その際、どのようなメッセージだと、行動変容につながりますか。（複数選択可）

どのようなメッセージで行動変容につながるかについては、「あなたのこどもや孫の世代も安心できる社会にするため、CO₂の発生が少ない省エネ家電は有効です。」が 47.0%で最も高く、次いで「今の省エネエアコンは、〇〇W前後です。もし旧タイプのエアコン（〇〇W）を切り替えると、年間〇円の削減になります。」が 43.6%、「脱炭素社会のため、電力を使わない省エネ家電へ切り替えましょう。」が 19.9%となっている。



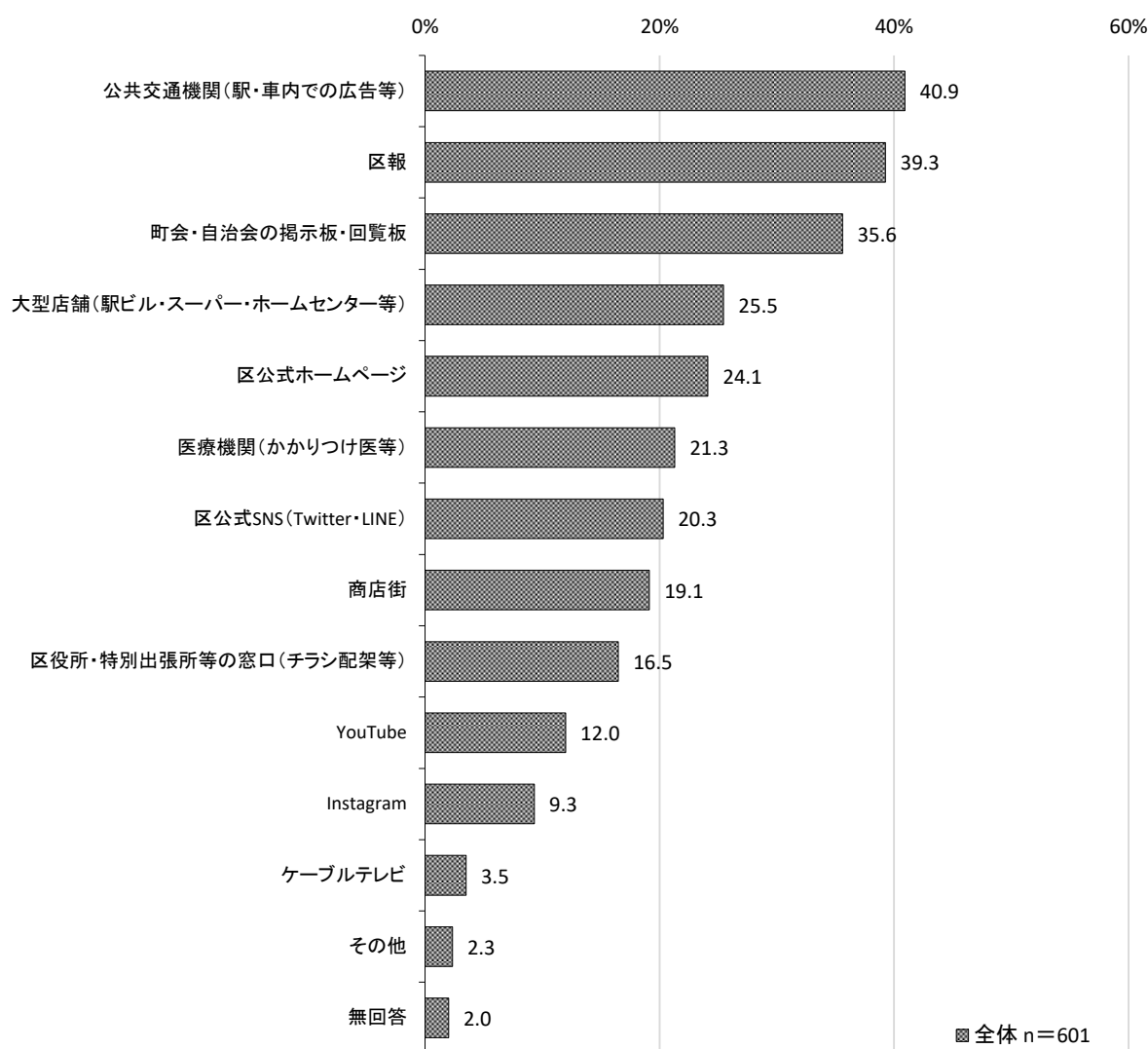
Ⅲ 18歳以上の区民の方が対象 ～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～

1 安全・安心について

(1) 防災への取組情報を取得したい場所

問1 「大田区防災アプリ」をはじめとする区の防災への取組に関する情報は、普段どのような場所で目にできると、より万が一の際の備えを進めたいと感じますか。（複数選択可）

防災への取組情報を取得したい場所については、「公共交通機関（駅・車内での広告等）」が40.9%で最も高く、次いで「区報」が39.3%、「町会・自治会の掲示板・回覧板」が35.6%となっている。

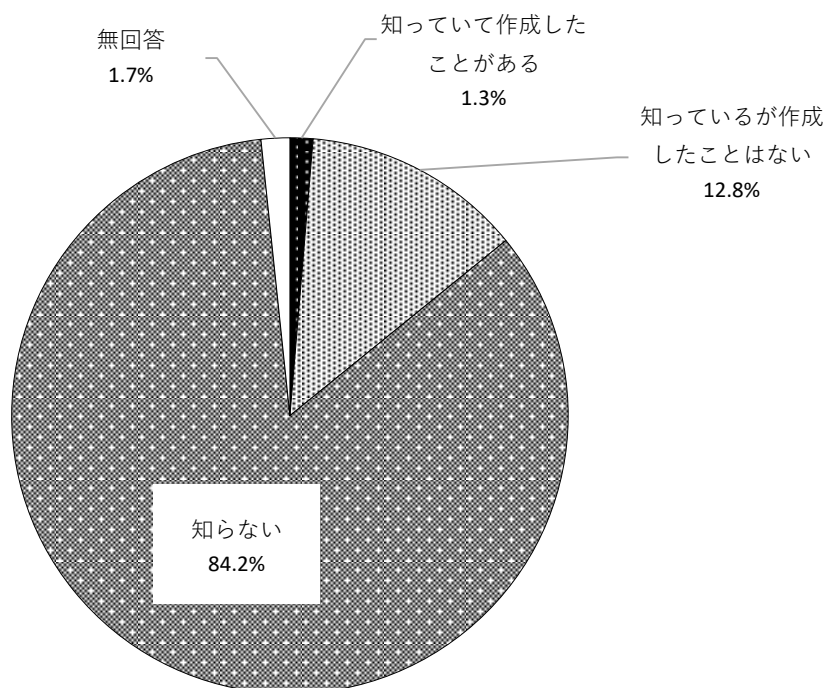


(2)「マイ・タイムライン」の認知度

問2 マイ・タイムラインを知っていますか。(1つのみ)

“マイ・タイムライン”の認知度については、「知っていて作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値《知っている》が14.1%である一方で、「知らない」が84.2%と、「知らない」が70.1ポイント上回っている。

全体 n=601



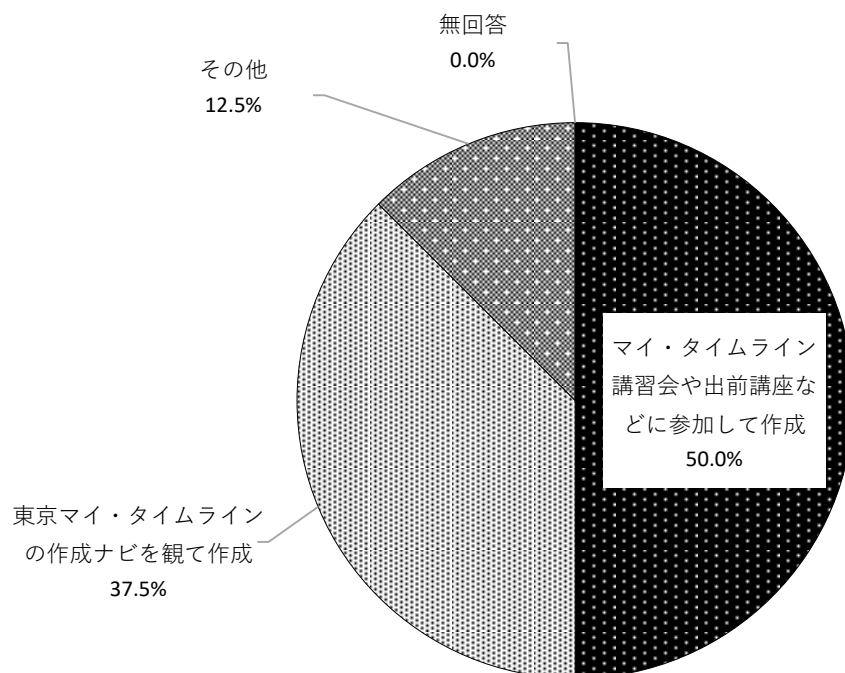
(3)「マイ・タイムライン」の作成方法

【問2で「1 知っていて作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問2-1 どのように作成しましたか。(複数選択可)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が50.0%で最も高く、次いで「東京マイ・タイムラインの作成ナビを観て作成」が37.5%、「その他」が12.5%となっている。

全体 n=8

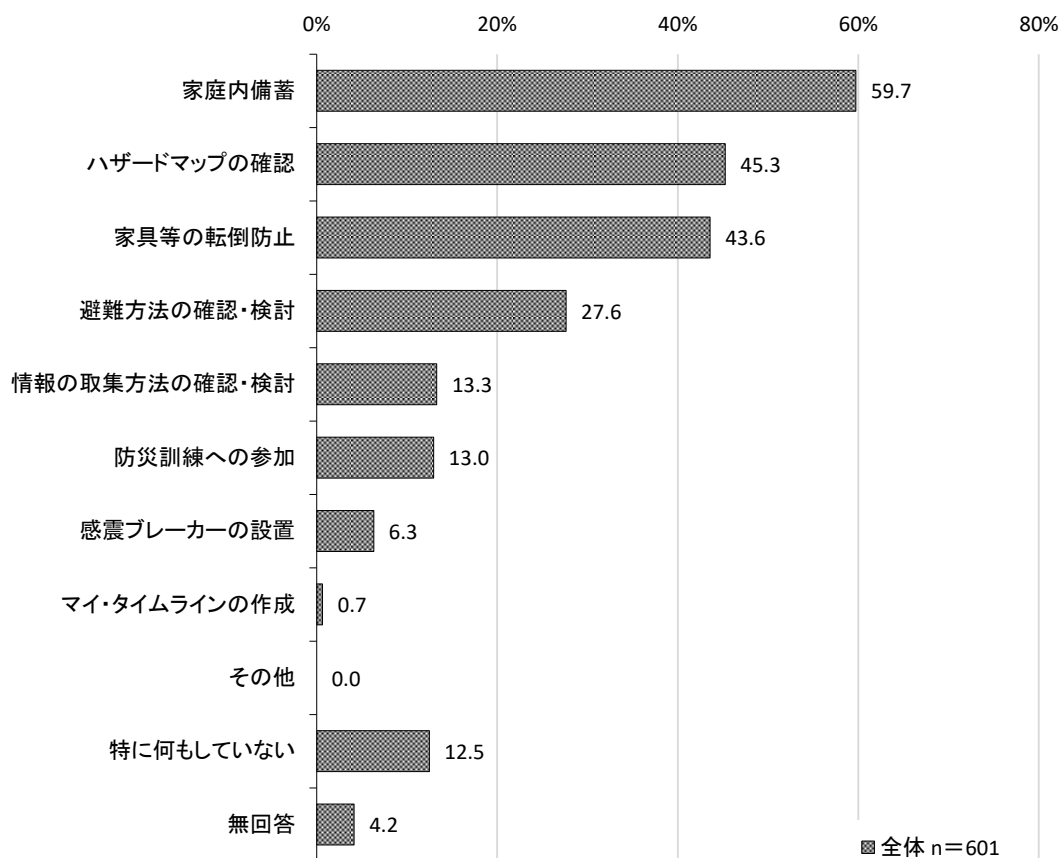


（４）災害から身を守るための取り組み

問３ 災害から身を守るためにどのような取り組みをしていますか。（複数選択可）

災害から身を守るための取り組みについては、「家庭内備蓄」が59.7%で最も高く、次いで「ハザードマップの確認」が45.3%、「家具等の転倒防止」が43.6%となっている。

なお、「特に何もしていない」は12.5%となっている。



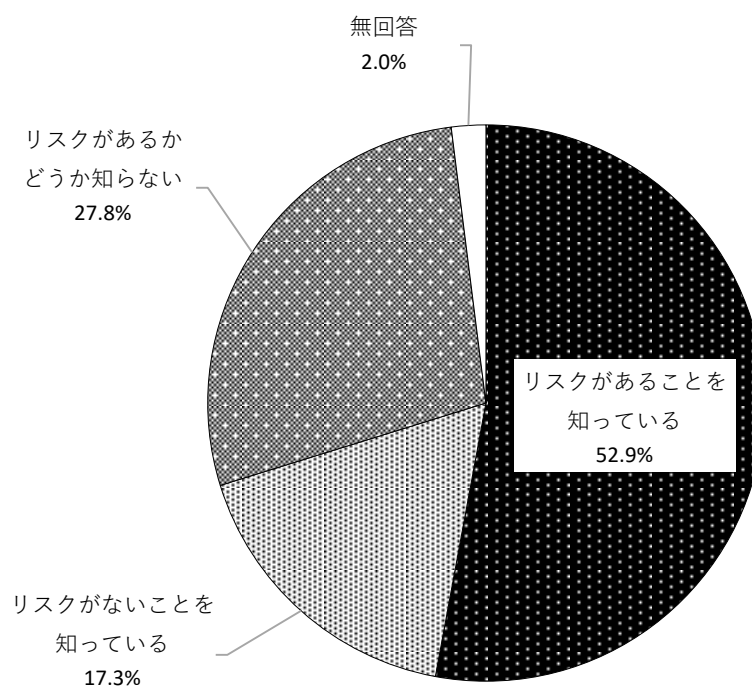
（５）水害リスクの認知度

問４ ご自宅の水害リスクを知っていますか。（１つのみ）

水害リスクの認知度については、「リスクがあることを知っている」、「リスクがないことを知っている」の合計値《知っている》が70.2%となっている。

なお「リスクがあるかどうか知らない」が27.8%となっている。

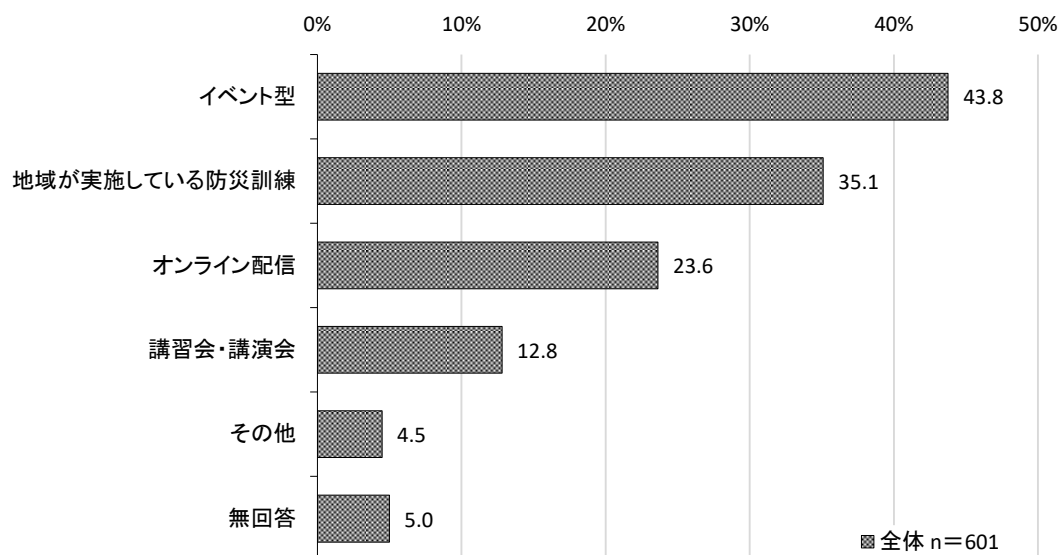
全体 n=601



（６）参加したいと思う防災訓練の形式

問５ どのような防災訓練等に参加したいですか。（複数選択可）

参加したいと思う防災訓練の形式については、「イベント型」が43.8%で最も高く、次いで「地域が実施している防災訓練」が35.1%、「オンライン配信」が23.6%となっている。

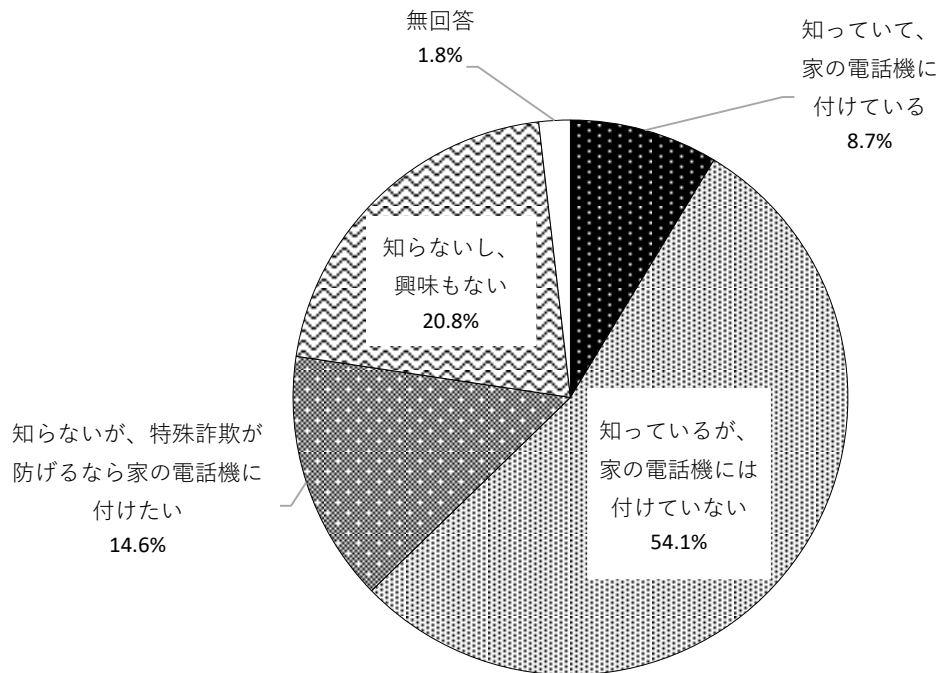


（７）「自動通話録音機」の認知度

問 6 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」を知っていますか。（１つのみ）

“自動通話録音機”の認知度については、「知っている、家の電話機に付けている」、「知っているが、家の電話機には付けていない」の合計値《知っている》は62.7%で、「知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に付けたい」、「知らないし、興味もない」の合計値《知らない》は35.4%となっている。

全体 n=601



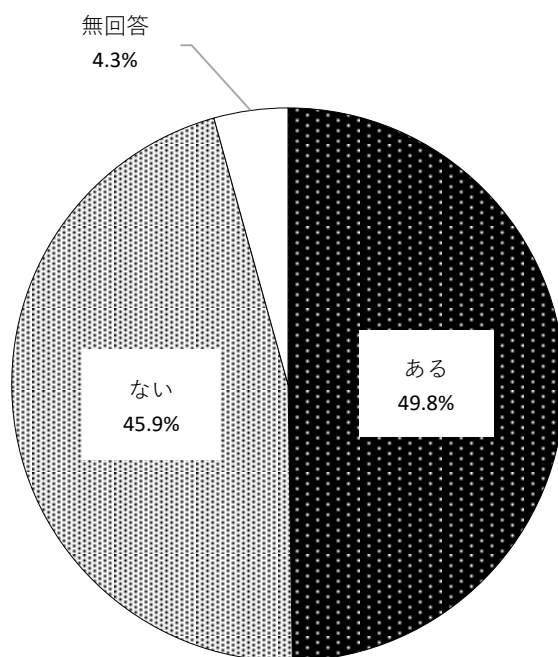
2 商店街について

(1) 今後も残ってほしい商店

問7 お住まいの近くにある個店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。
(1つのみ)

今後もずっと残ってほしいと思う個人商店の有無については、「ある」が49.8%、「ない」が45.9%と、「ある」が3.9ポイント上回っている。

全体 n=601

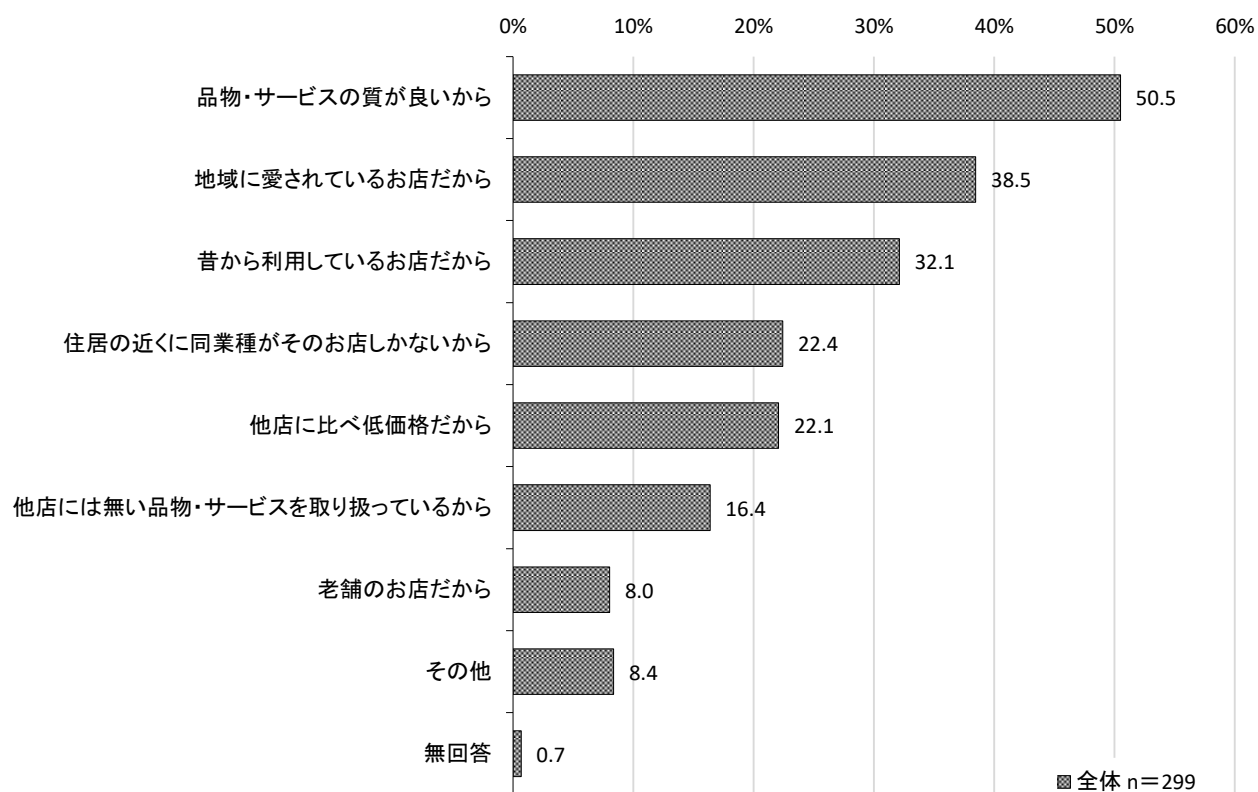


（２）今後も残ってほしい理由

【問 7 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 7-1 「今後もずっと残ってほしい」と思う理由を選んでください。（複数選択可）

今後もずっと残ってほしいと思う理由については、「品物・サービスの質が良いから」が 50.5%で最も高く、次いで「地域に愛されているお店だから」が 38.5%、「昔から利用しているお店だから」が 32.1%となっている。

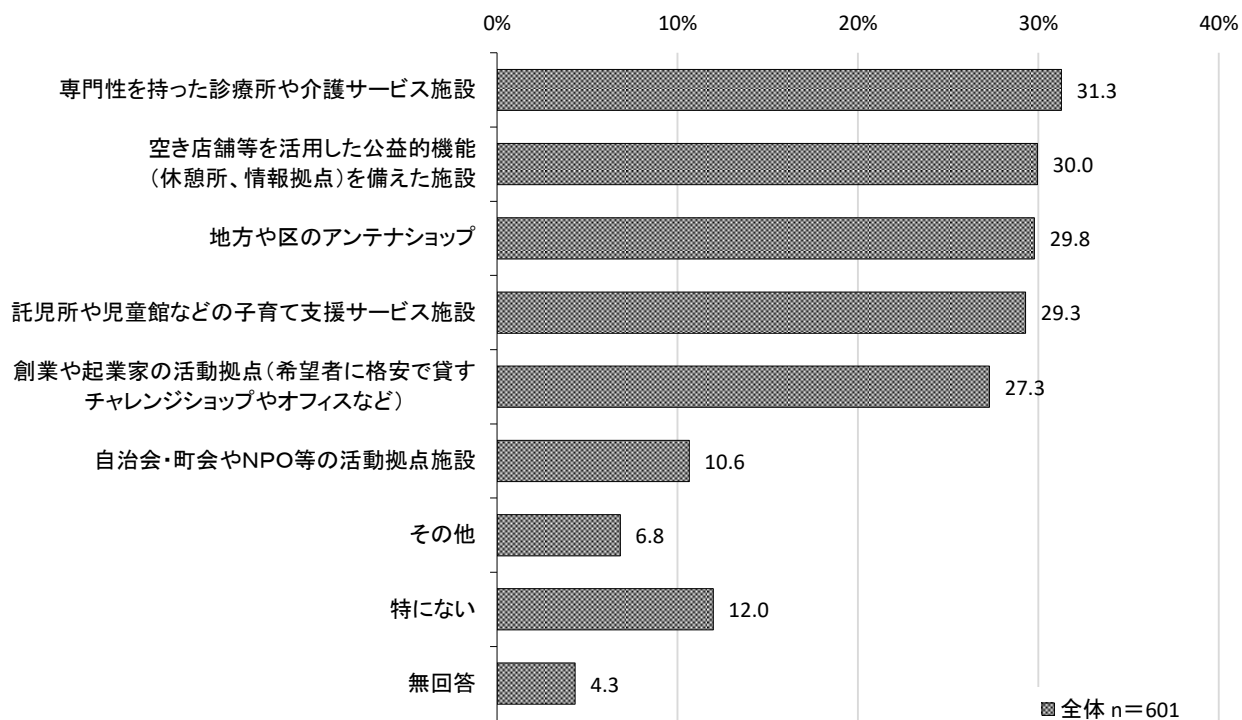


(3) 商店街に必要な施設

問 8 商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(複数選択可)

商店街に必要だと思う施設等については、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が31.3%で最も高く、次いで「空き店舗等を活用した公益的機能(休憩所、情報拠点)を備えた施設」が30.0%、「地方や区のアンテナショップ」が29.8%となっている。

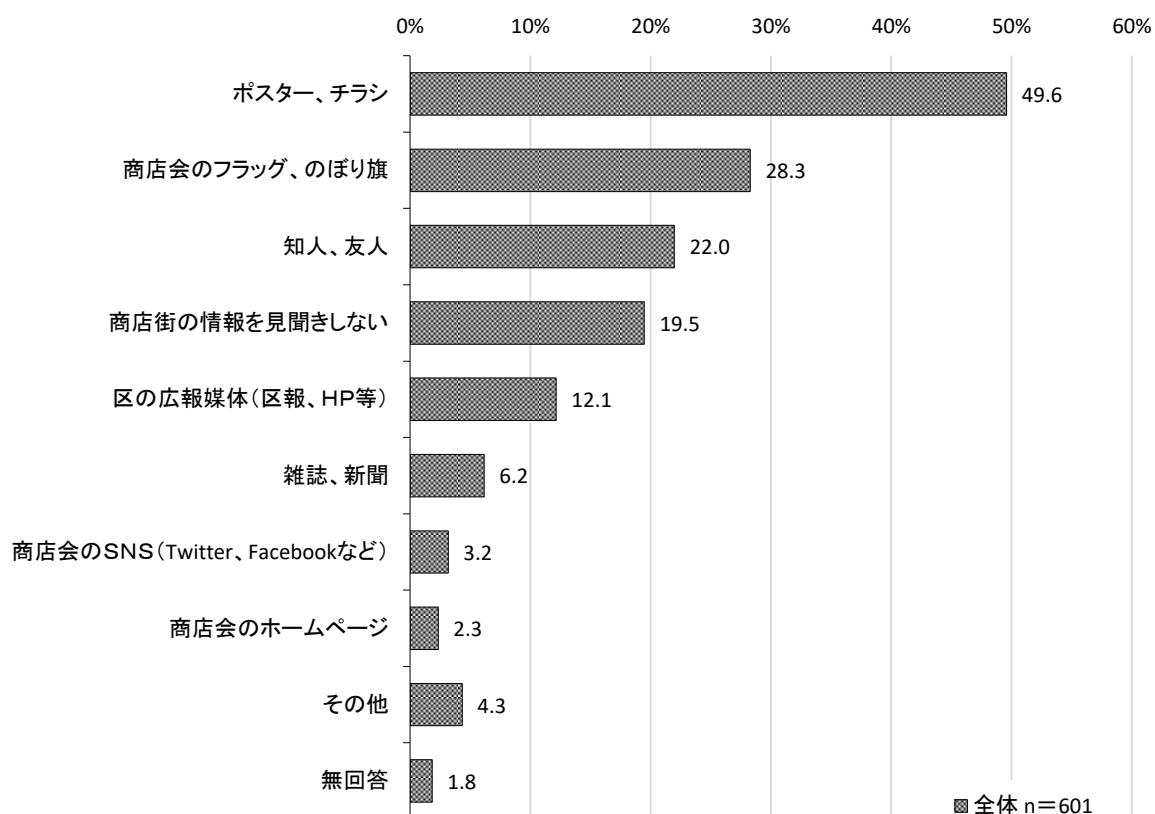
なお、「特にない」は12.0%となっている。



（４）商店街の情報を見聞きする場所

問 9 商店街の情報をどこで見聞きしますか。（複数選択可）

商店街の情報を見聞きする場所については、「ポスター、チラシ」が49.6%で最も高く、次いで「商店会のフラッグ、のぼり旗」が28.3%、「知人、友人」が22.0%となっている。



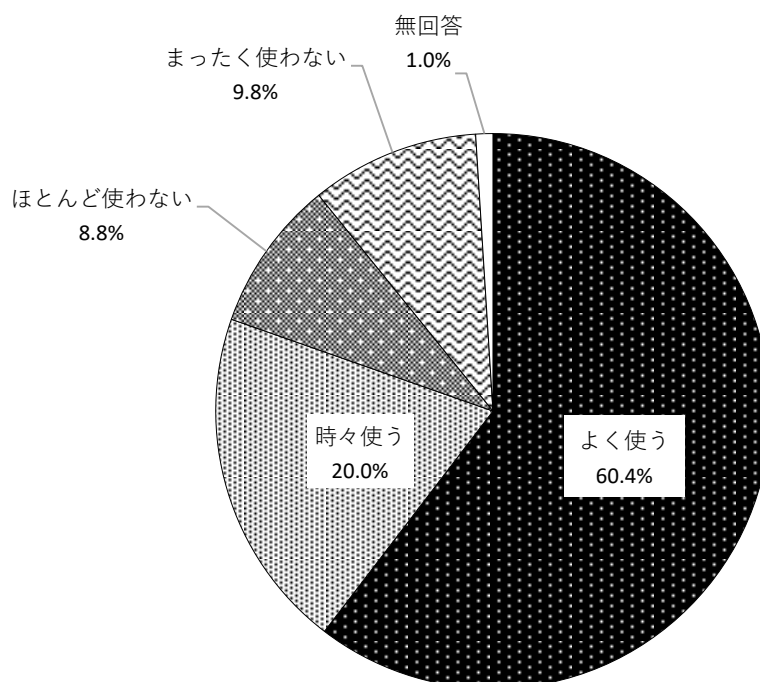
3 キャッシュレスについて

(1) キャッシュレスでの支払いの有無

問 10 普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払い方法を使っていますか。（1つのみ）

キャッシュレスでの支払いについては、「よく使う」、「時々使う」の合計値《使う》が 80.4%、「ほとんど使わない」、「まったく使わない」の合計値《使わない》が 18.6%と、《使う》が 61.8 ポイント高くなっている。

全体 n=601

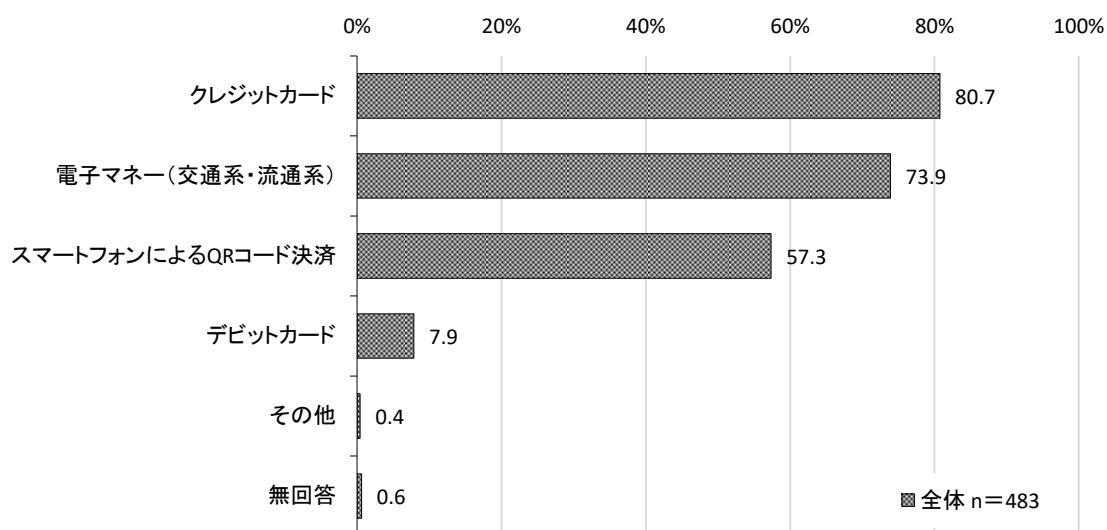


（２）キャッシュレスの支払いで利用している手段

【問 10 で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問 10-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数選択可）

キャッシュレスの支払いで利用している手段については、「クレジットカード」が 80.7% で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が 73.9%、「スマートフォンによる QR コード決済」が 57.3% となっている。

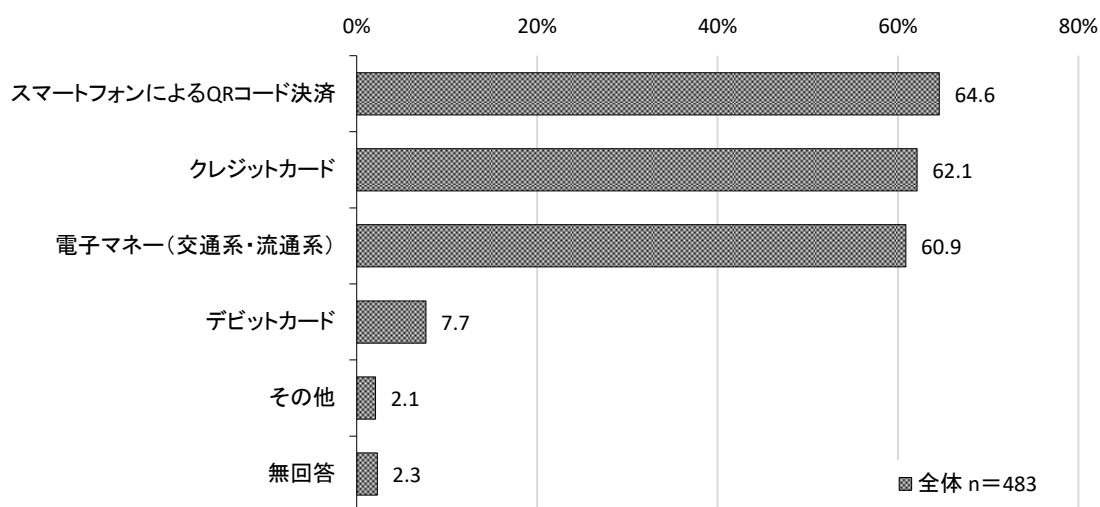


（３）今後、活用したいキャッシュレスでの支払い手段

【問 10 で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問 10－2 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに
○をつけてください。（複数選択可）

今後活用したいキャッシュレスでの支払い手段については、「スマートフォンによる QR コード決済」が 64.6%で最も高く、次いで「クレジットカード」が 62.1%、「電子マネー（交通系・流通系）」が 60.9%となっている。

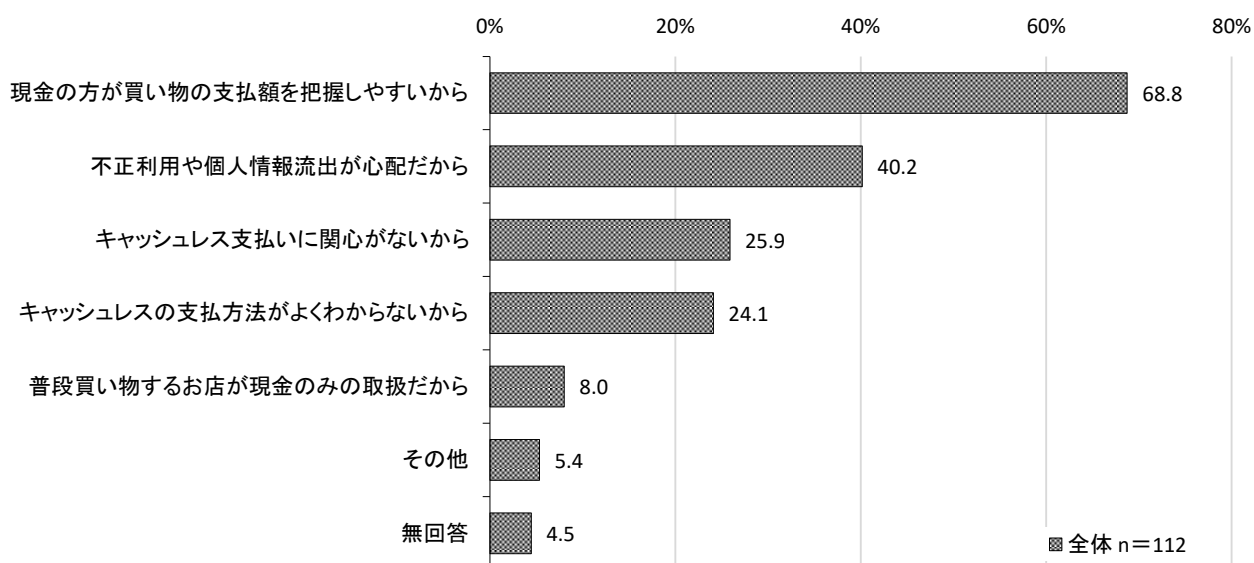


（４）キャッシュレスで支払いをしない理由

【問 10 で「3 ほとんど使わない」「4 まったく使わない」と回答された方】

問 10-3 キャッシュレスを使わない（あまり使わない）理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数選択可）

キャッシュレスで支払いをしない理由については、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が 68.8%で最も高く、次いで「不正利用や個人情報流出が心配だから」が 40.2%、「キャッシュレス支払いに関心がないから」が 25.9%となっている。



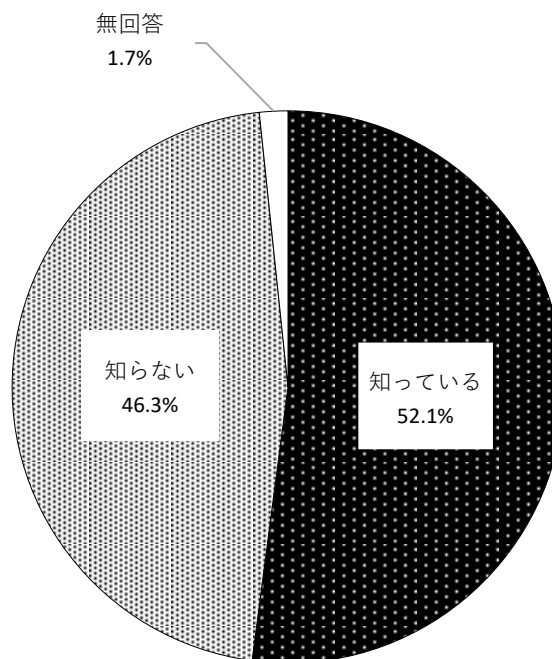
4 羽田空港跡地について

(1) 「羽田イノベーションシティ」の認知度

問 11 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。
(1つのみ)

“羽田イノベーションシティ”の認知度については、「知っている」が52.1%、「知らない」が46.3%となっている。

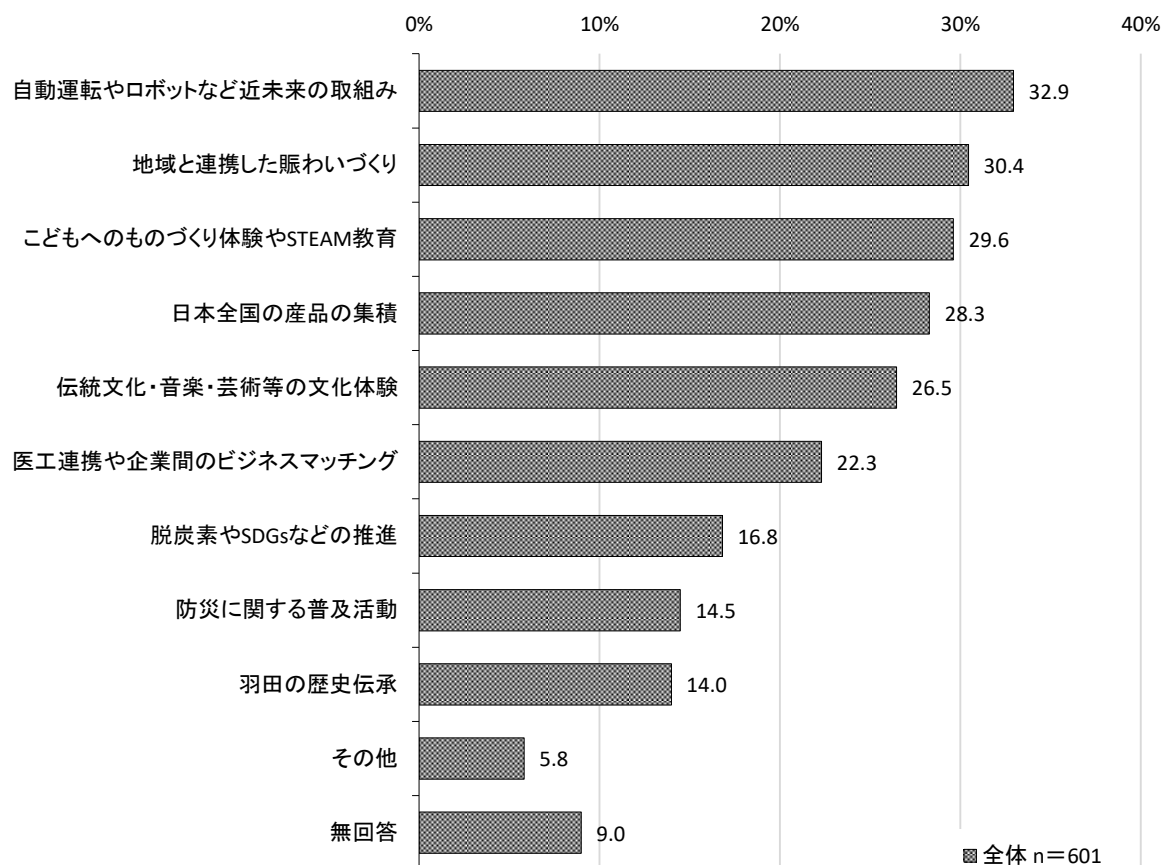
全体 n=601



（２）「羽田イノベーションシティ」に期待すること

問 12 羽田イノベーションシティ・HICity の取組みのうち、期待するものはありますか。
（複数選択可）

“羽田イノベーションシティに期待すること”については、「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が32.9%で最も高く、次いで「地域と連携した賑わいづくり」が30.4%、「こどもへのものづくり体験やSTEAM教育」が29.6%となっている。



5 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

(1) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

問 13 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。(1つのみ)

(1) 「バリアフリー」

高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方

(2) 「ユニバーサルデザイン」

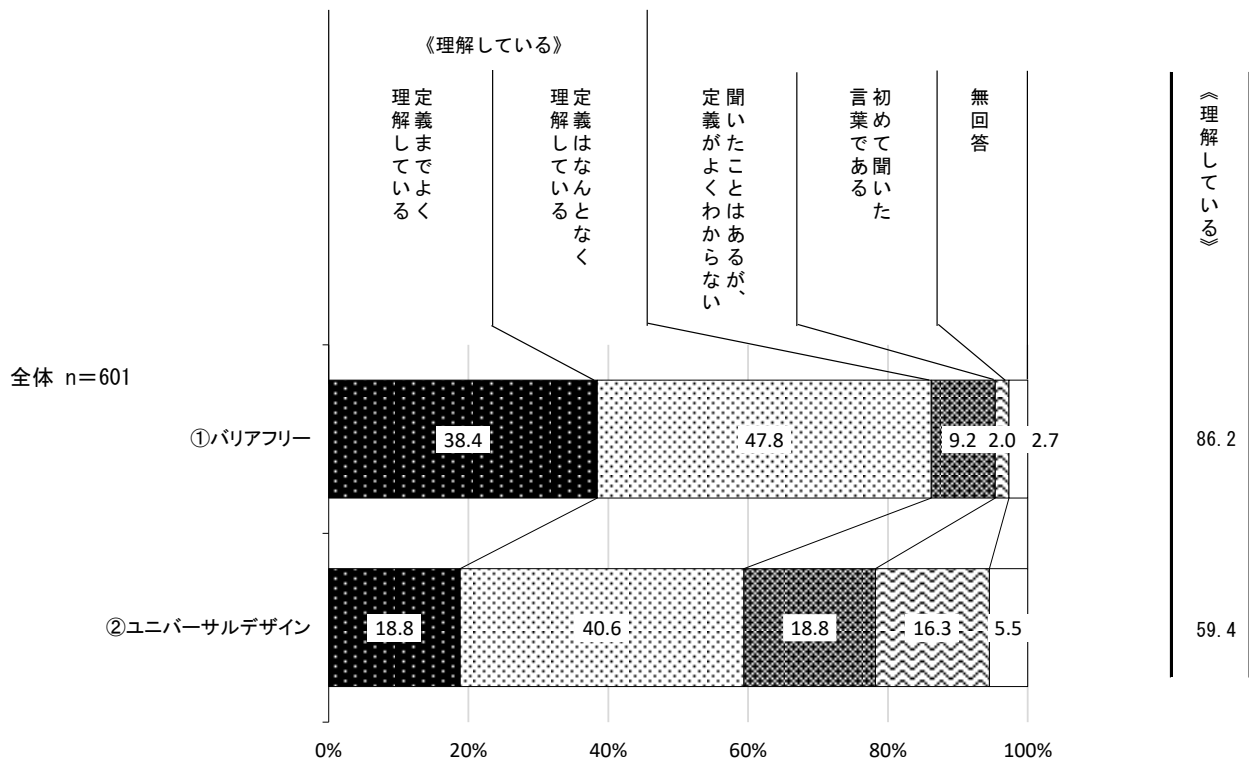
バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方

①バリアフリー

“バリアフリー”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が86.2%で、そのうち、「定義までよく理解している」は38.4%となっている。

②ユニバーサルデザイン

“ユニバーサルデザイン”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が59.4%で、そのうち、「定義までよく理解している」は18.8%となっている。

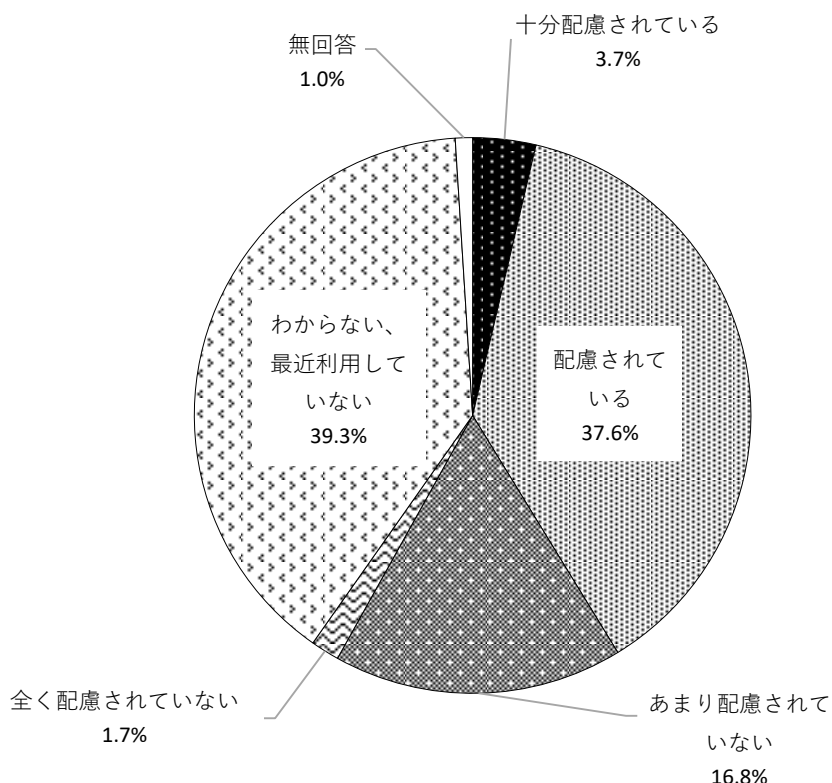


（２）各区立施設内のバリアフリー配慮

問 14 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障害者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）

各区立施設のバリアフリーの配慮状況については、「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値《配慮されている》が41.3%である一方で、「あまり配慮されていない」、「全く配慮されていない」の合計値《配慮されていない》が18.5%と、《配慮されている》が22.8ポイント上回っている。

全体 n=601



6 まちづくりについて

（１）活力・国際性のある都市づくりの進捗状況

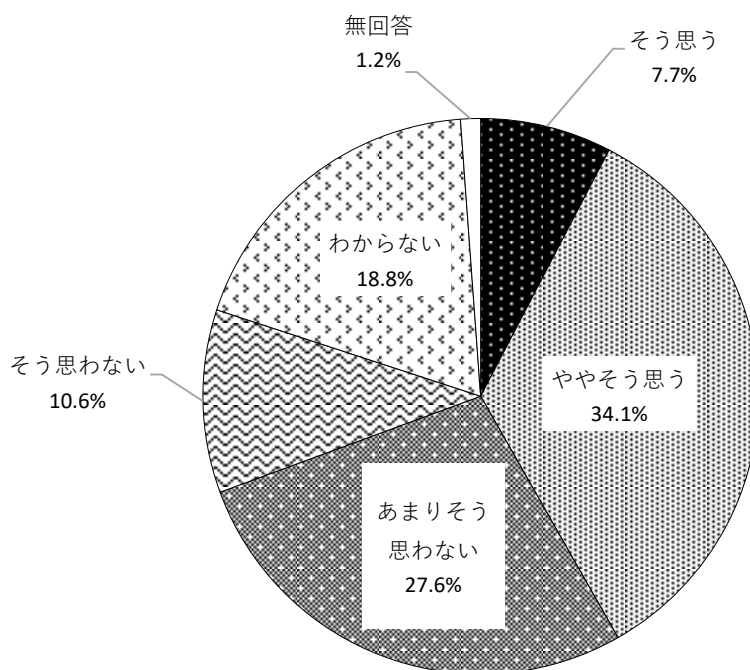
問 15 活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

＜活力・国際性のある都市づくりの例＞

- ・ 来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめている
- ・ 日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できている
- ・ 国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している
- ・ 人が集まる交流・滞在空間が充実している
- ・ 区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している
- ・ 大田区内外への移動が便利である など

活力・国際性のある都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が41.8%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が38.3%と、《思う》が3.5ポイント上回っている。

全体 n=601



(2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況

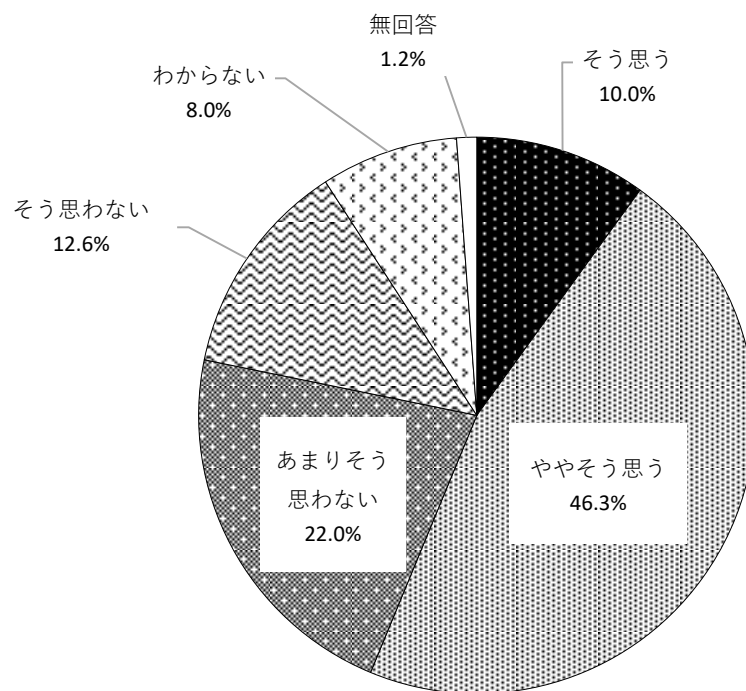
問 16 暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

＜暮らしやすい都市づくりの例＞

- ・生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい
- ・良好なまちなみ・景色が整っている
- ・商店街に人が集まりにぎわっている
- ・住む場所と働く場所がバランス良くある
- ・区内を移動するための公共交通が充実している
- ・快適で歩きたくなる空間がある
- ・住民主体の都市づくりが進んでいる など

暮らしやすい都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が56.2%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が34.6%と、《思う》が21.6ポイント上回っている。

全体 n=601



（３）安全・安心な都市づくりの進捗状況

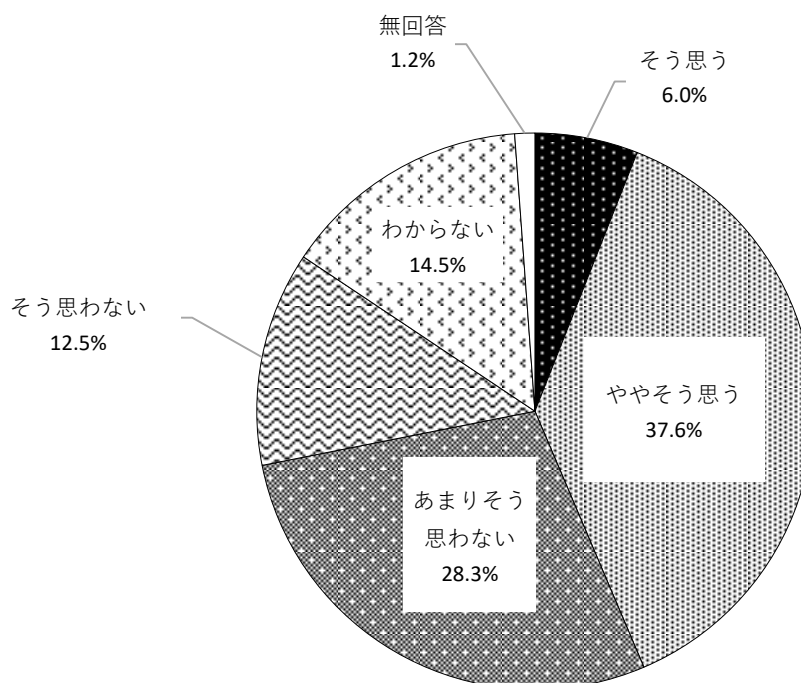
問 17 安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

＜安全・安心な都市づくりの例＞

- ・災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている
- ・災害時に救助や避難に役立つ道路や施設が整備されている
- ・風水害や土砂災害の対策がしっかりしている
- ・地域の防災・防犯活動が充実している
- ・災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など

安全・安心な都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が43.6%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.8%と、《思う》が2.8ポイント上回っている。

全体 n=601



（４）環境に配慮した都市づくりの進捗状況

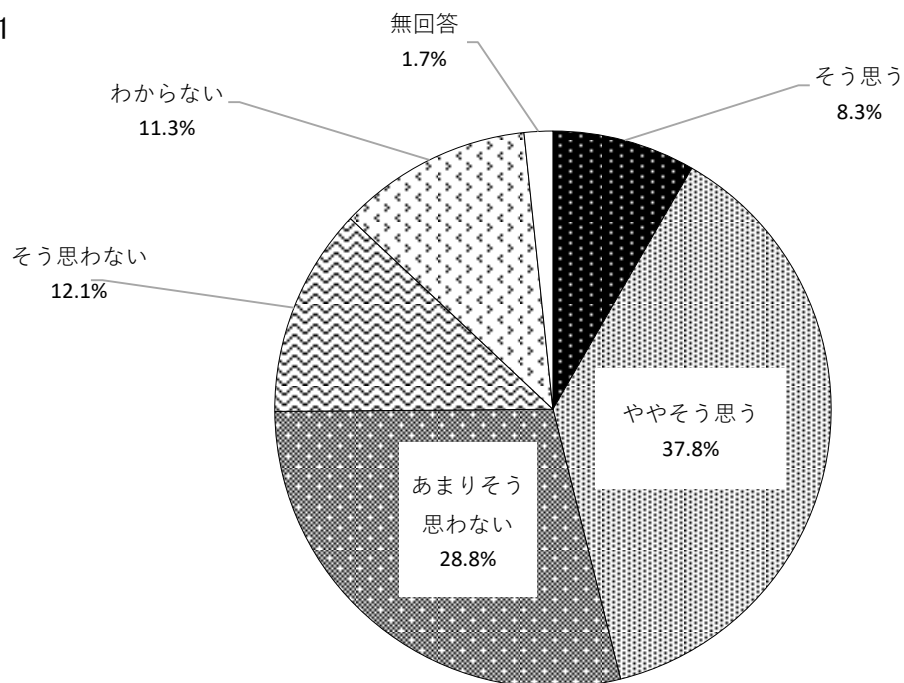
問 18 環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。（１つのみ）

＜環境に配慮した都市づくりの例＞

- ・豊かな水と緑が守られている
- ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している
- ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる
- ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている
- ・省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている など

環境に配慮した都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が46.1%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.9%と、《思う》が5.2ポイント上回っている。

全体 n=601



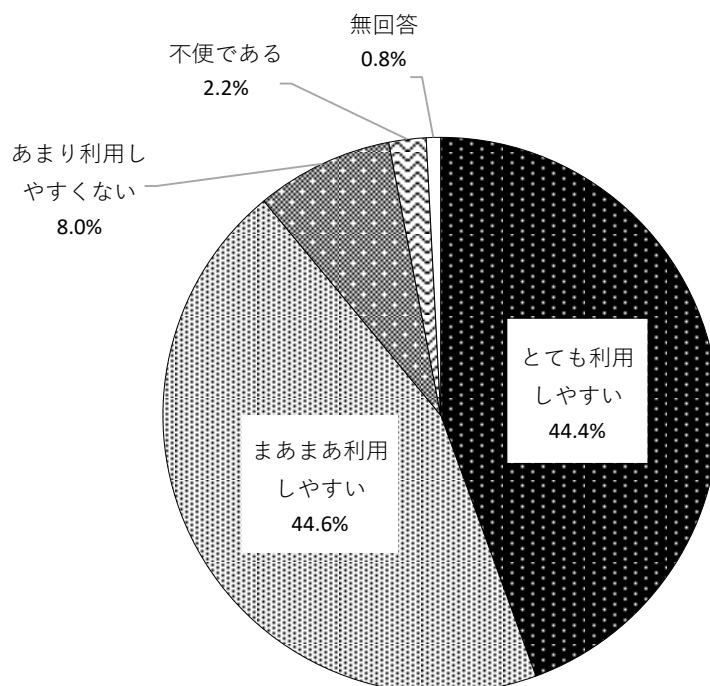
7 公共交通機関について

(1) 公共交通機関の利用環境

問 19 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。
(1つのみ)

公共交通機関の環境については、「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値《利用しやすい》が89.0%である一方で、「あまり利用しやすくない」、「不便である」の合計値《利用しやすくない》が10.1%と、《利用しやすい》が78.9ポイント上回っている。

全体 n=601

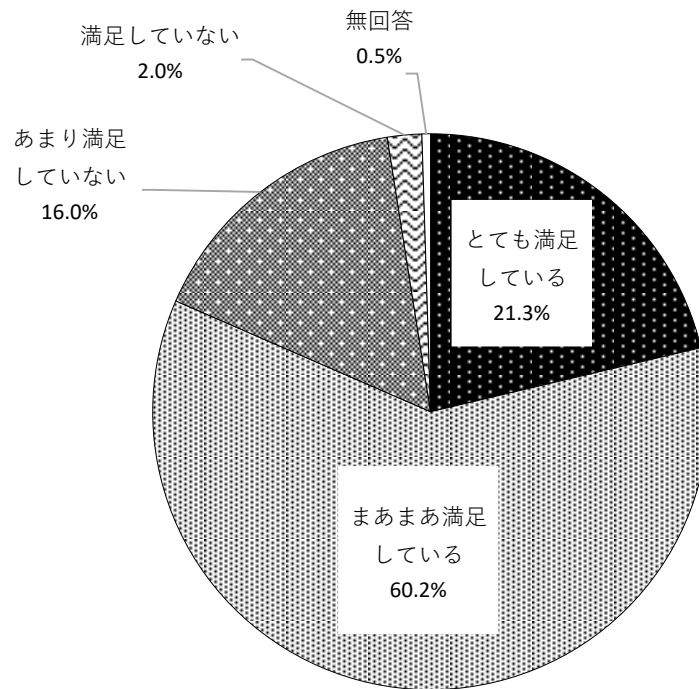


（２）公共交通網の満足度

問 20 大田区内の公共交通網に満足していますか。（1つのみ）

大田区内の公共交通網への満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が81.5%である一方で、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が18.0%と、《満足している》が63.5ポイント上回っている。

全体 n=601

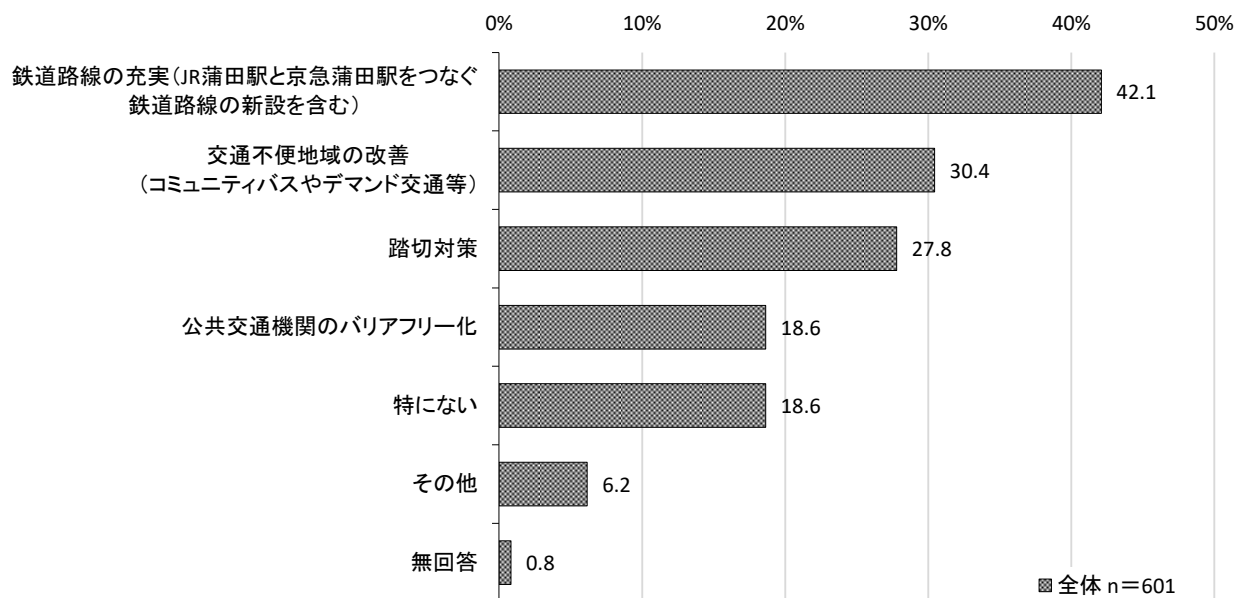


（３）公共交通対策で実現してほしいこと

問 21 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。（複数選択可）

早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が 42.1%で最も高く、次いで「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」が 30.4%、「踏切対策」が 27.8%となっている。

なお、「特にない」は 18.6%となっている。



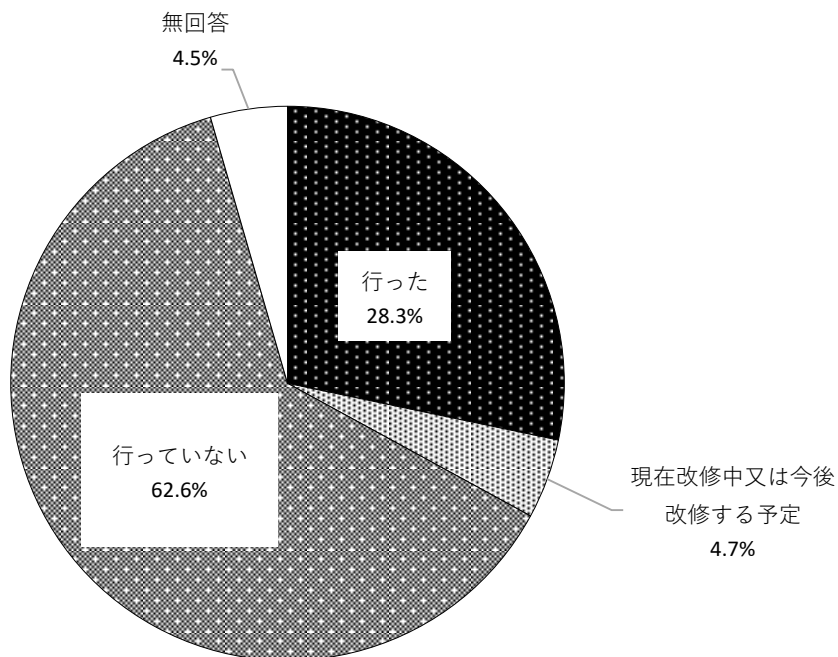
8 耐震改修について

(1) 建物の耐震改修の有無

問 22 現在のお住まいや所有している建物の耐震改修を行いましたか。(1つのみ)

住まいや所有建築物の耐震改修の状況については、「行っていない」が62.6%で最も高く、次いで「行った」が28.3%、「現在改装中又は今後改修する予定」が4.7%となっている。

全体 n=601

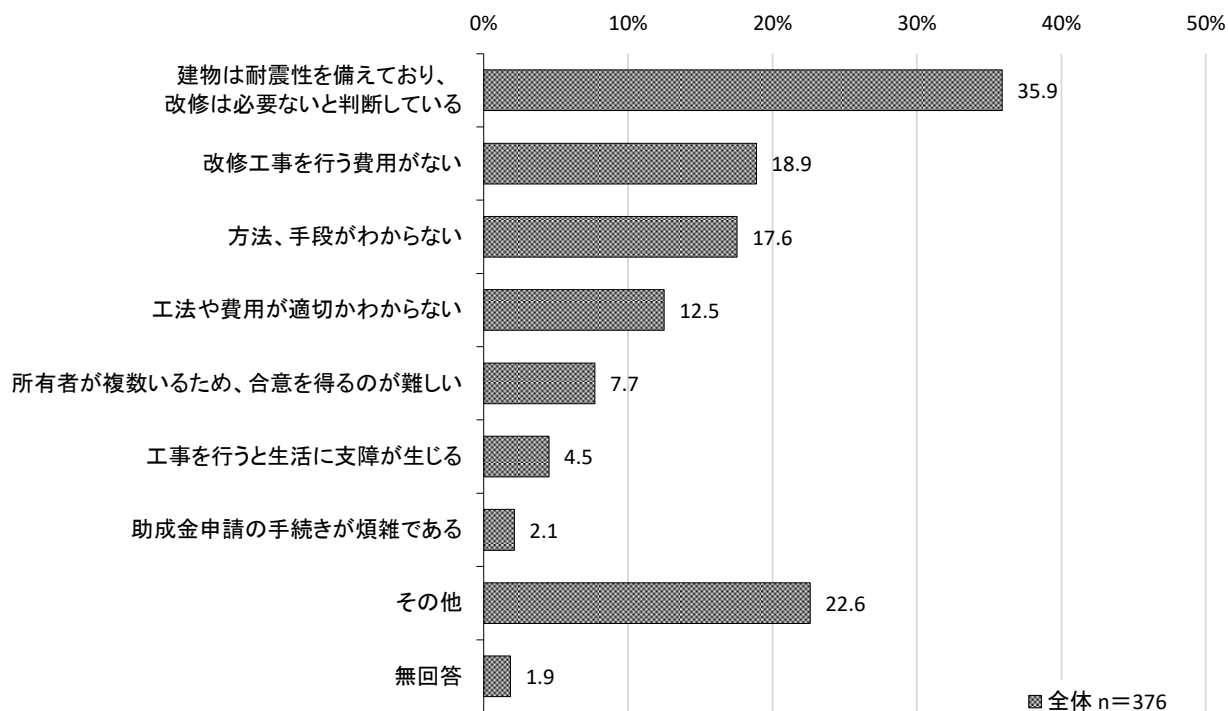


（２）耐震改修を行っていない理由

【問 22 で「3 行っていない」と回答した方に伺います。】

問 22-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。（複数選択可）

耐震改修を行っていない理由については、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が 35.9%、次いで「改修工事を行う費用がない」が 18.9%、「方法、手段がわからない」が 17.6 ポイントとなっている。

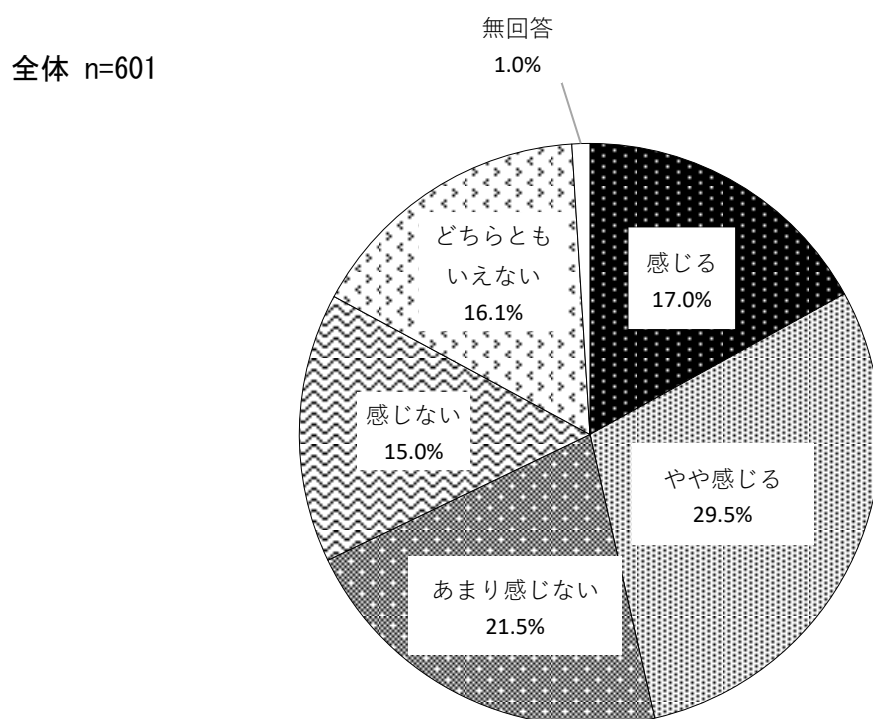


9 空港臨海部について

(1) 空港臨海部の魅力度

問 23 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

空港臨海部に魅力を感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が46.4%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が36.4%と、10ポイント上回っている。



10 鉄道駅周辺のまちづくりについて

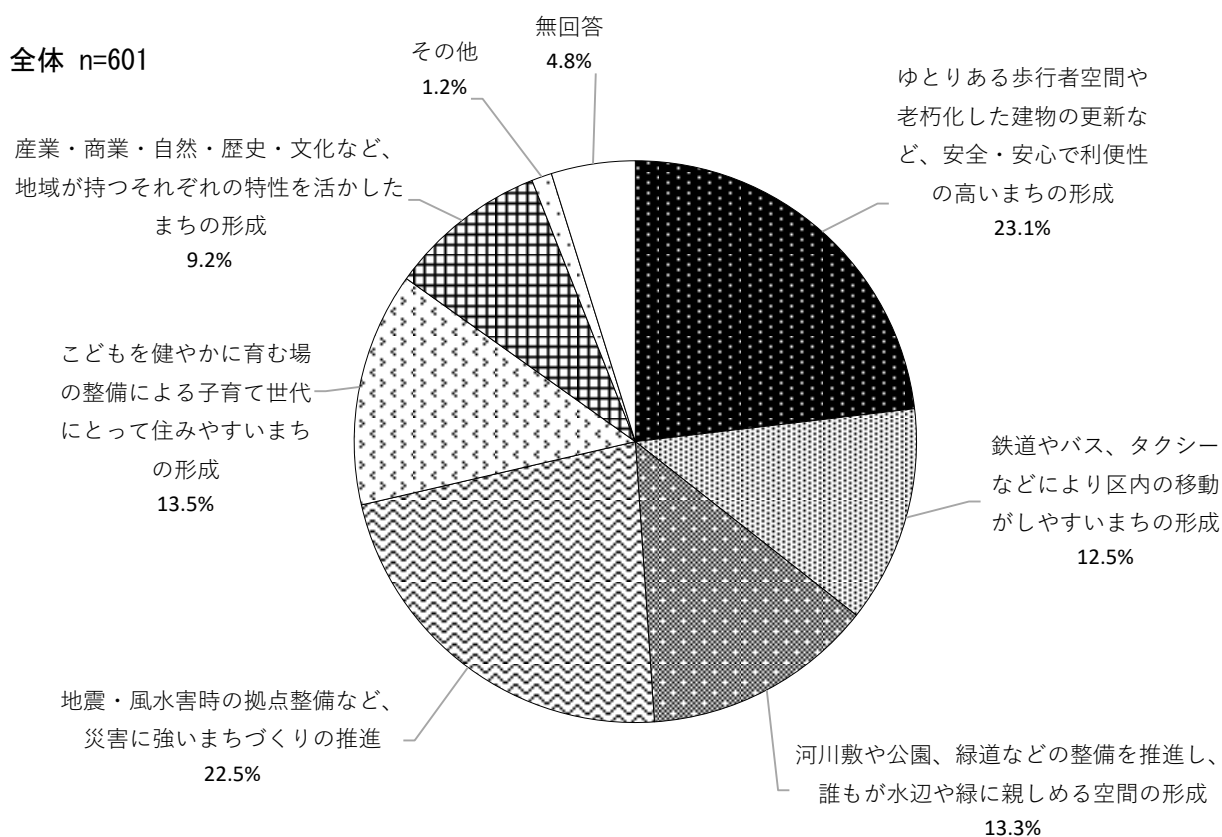
(1) 駅周辺のまちづくり方針の要望

問 24 区は「鉄道と魅力的なまちづくり宣言」に基づき、鉄道の整備と合わせて、それぞれの地域の特徴を活かした駅周辺のまちづくりを進めていく予定です。

地域の魅力向上や活性化のため、どのような取組の方針を望みますか。

※最も望む回答を1つ選択してください。(1つのみ)

駅周辺のまちづくり方針の要望については、「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」が23.1%、次いで「地震・風水害時の拠点整備など、災害に強いまちづくりの推進」が22.5%、「こどもを健やかに育む場の整備による子育て世代にとって住みやすいまちの形成」が13.5%となっている。

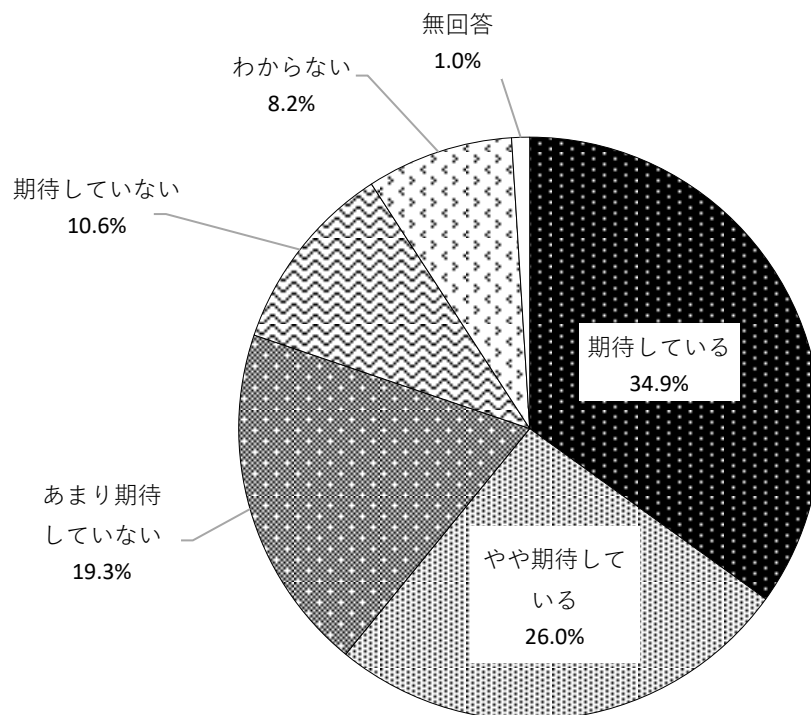


（２）蒲田駅周辺のまちづくりによる期待度

問 25 区では、新空港線の整備を好機と捉え、魅力あふれる蒲田駅周辺のまちづくりを進めています。蒲田駅周辺では、蒲田駅周辺地区グランドデザインに基づき、駅前広場に、にぎわいの拠点となるイベントスペースを確保することで、人的交流を活発化することを検討しております。この取組みによる、「地域の価値を高める空間の充実」や「文化・交流・にぎわいを生み出す活動の創出」に期待していますか。（1つのみ）

蒲田駅周辺のまちづくりによる期待度については、「期待している」、「やや期待している」の合計値《期待している》が60.9%で、「あまり期待していない」、「期待していない」の合計値《期待していない》は30.0%と、《期待している》が30.9ポイント上回っている。

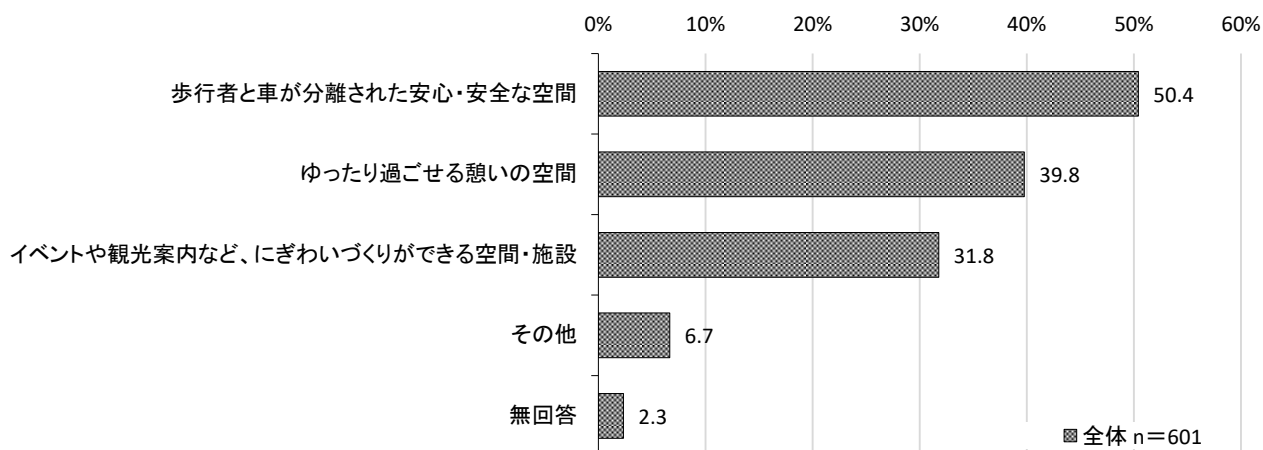
全体 n=601



（３）蒲田駅の駅前広場やその周辺に求める機能

問 26 蒲田駅の駅前広場やその周辺の、にぎわい拠点に求める機能はありますか。（複数選択可）

蒲田駅の駅前広場やその周辺に求める機能については、「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が50.4%、次いで「ゆったり過ごせる憩いの空間」が39.8%と、「イベントや観光案内など、にぎわいづくりができる空間・施設」が31.8%となっている。



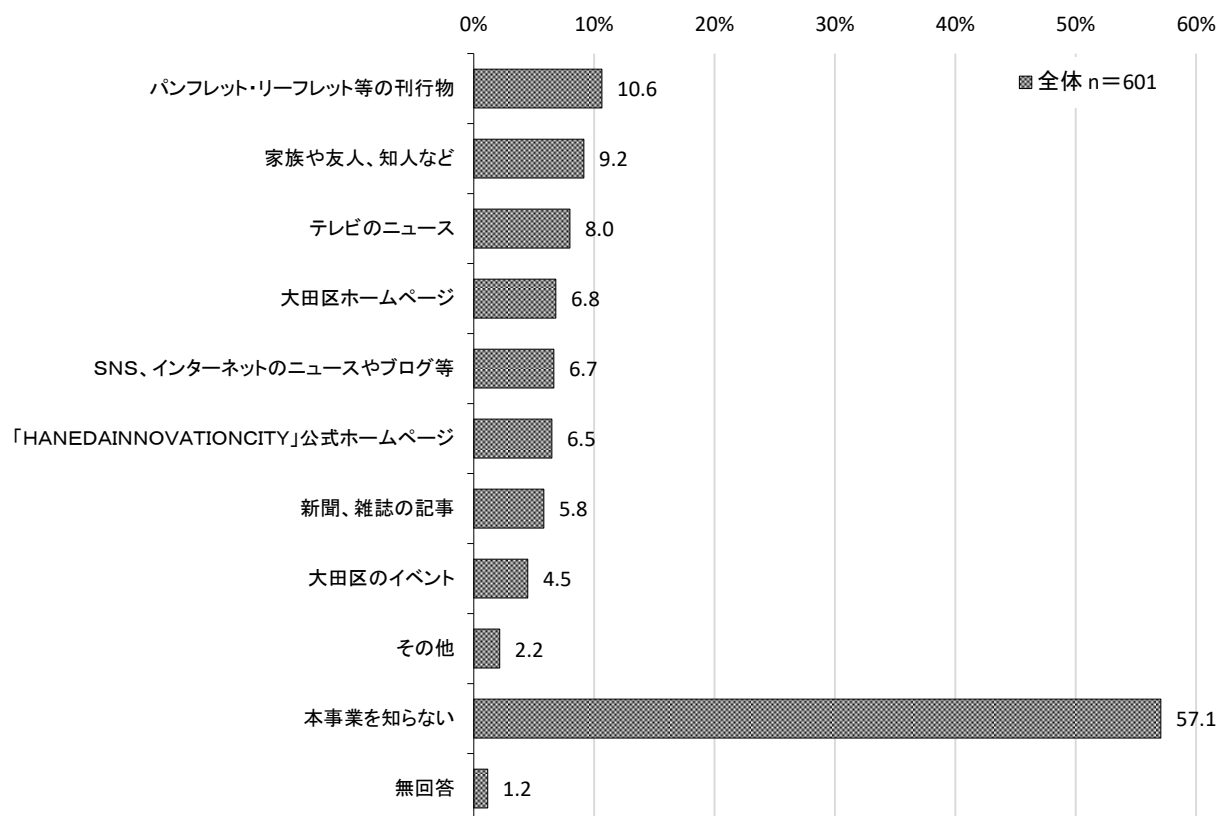
11 羽田空港跡地について

(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法

問 27 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。（複数選択可）

“羽田空港跡地第1ゾーン整備事業”を認知したきっかけについては、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が10.6%で最も高く、次いで「家族や友人、知人など」が9.2%、「テレビのニュース」が8.0%となっている。

なお、「本事業を知らない」は57.1%となっている。

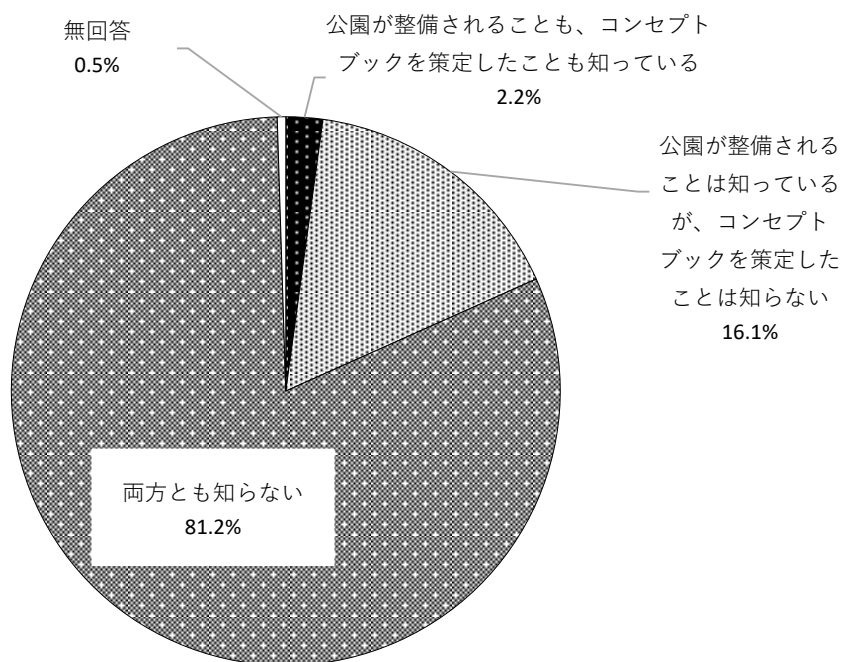


（２）「羽田空港跡地第１ゾーン都市計画公園コンセプトブック」の認知度

問 28 羽田空港跡地第１ゾーンに公園が整備される予定があります。その整備・運営について「羽田空港跡地第１ゾーン都市計画公園コンセプトブック」を策定しました。これらのことを知っていますか。（１つのみ）

“羽田空港跡地第１ゾーン都市計画公園コンセプトブック”の認知度については、「両方とも知らない」が81.2%で最も高く、次いで「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」が16.1%、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」が2.2%、「無回答」が0.5%となっている。

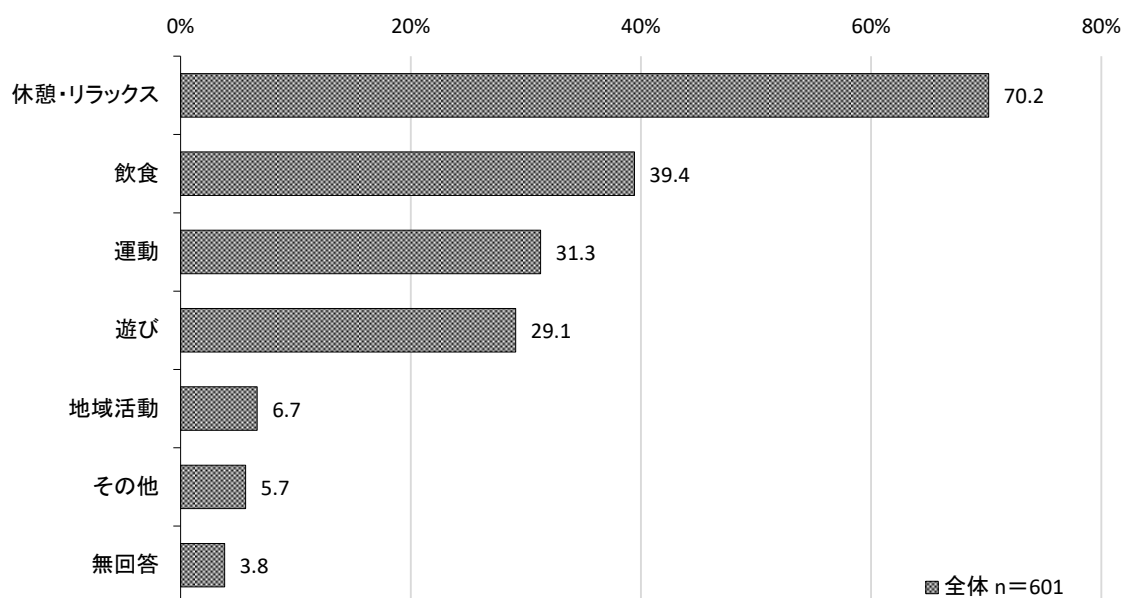
全体 n=601



（３）整備される公園でしてみたいこと

問 29 問 28 で整備される予定の公園でしてみたいことはありますか。（複数選択可）

整備される公園でしてみたいことについては、「休憩・リラックス」が70.2%で最も高く、次いで「飲食」が39.4%、「運動」が31.3%となっている。

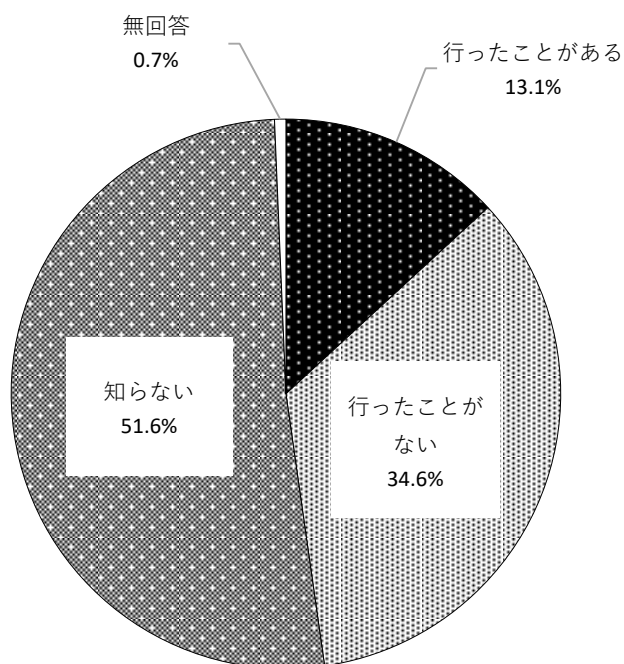


(4)「ソラムナード羽田緑地」の利用有無

問 30 羽田空港跡地の多摩川沿い（第2ゾーン）に「ソラムナード羽田緑地」（1,100m×15m程度）があります。スカシユリや飛行機のビュースポットが見所ですが、ここに行ったことはありますか。（1つのみ）

“ソラムナード羽田緑地”の利用状況については、「知らない」が51.6%で最も高く、次いで「行ったことがない」が34.6%、「行ったことがある」が13.1%となっている。

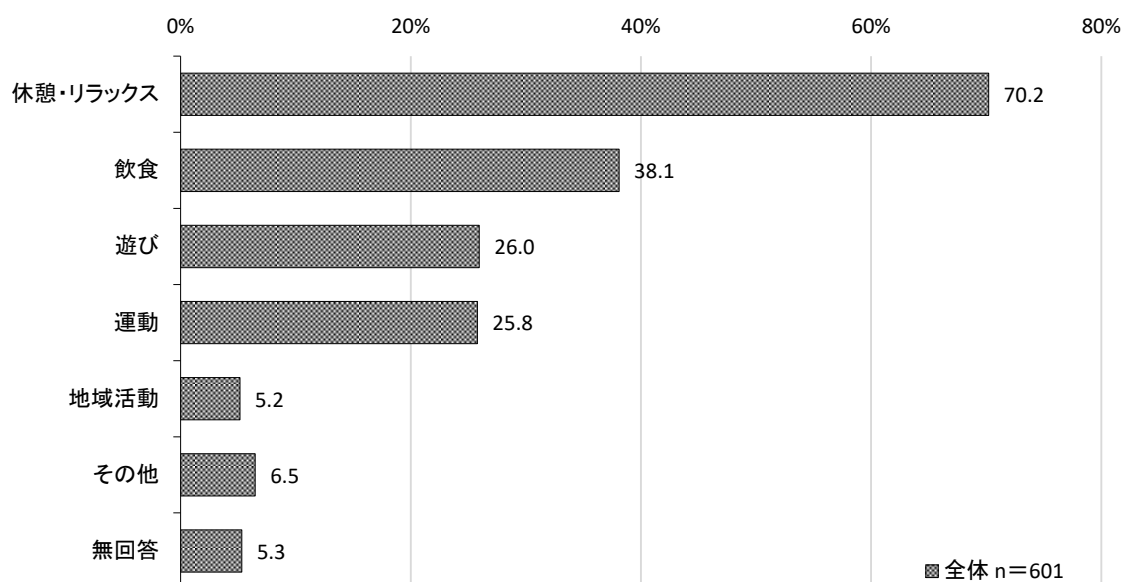
全体 n=601



（５）「ソラムナード羽田緑地」でしてみたいこと

問 31 「ソラムナード羽田緑地」は、今年度さらに拡張します。ここでしてみたいことはありますか。（複数選択可）

“ソラムナード羽田緑地”でしてみたいことについては、「休憩・リラックス」が70.2%で最も高く、次いで「飲食」が38.1%、「遊び」が26.0%となっている。

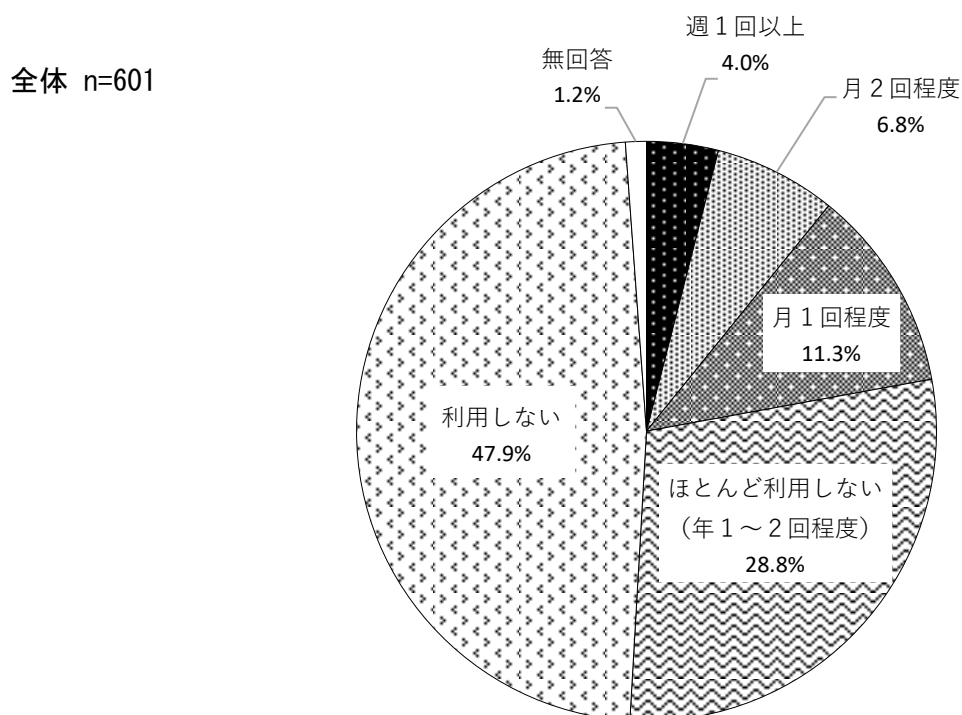


12 図書館について

(1) 図書館等の利用頻度

問 32 大田区立図書館又は文化の森情報館（電子書籍貸出サービスを含む）をどのくらい利用していますか。（1つのみ）

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値《利用している》が22.1%である一方で、「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」、「利用しない」の合計値《利用しない》は76.7%と、《利用しない》が54.6ポイント上回っている。

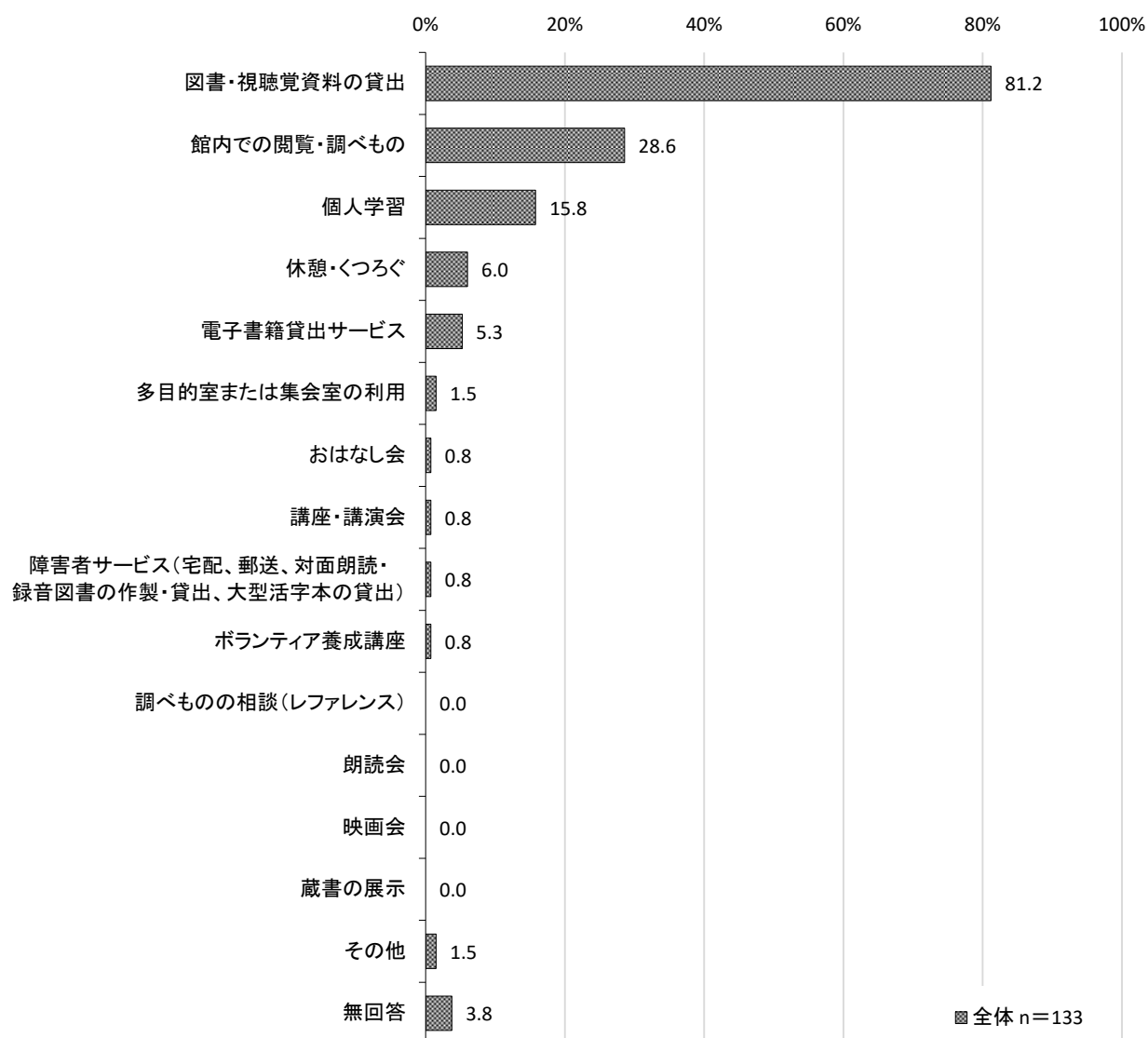


（２）図書館で主に利用する機能・サービス

【問 32 で「1 週 1 回以上」「2 月 2 回程度」「3 月 1 回程度」と回答した方に伺います。】

問 32－1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。（複数選択可）

図書館で主に利用する機能・サービスについては、「図書・視聴覚資料の貸出」が 81.2%で最も高く、次いで「館内での閲覧・調べもの」が 28.6%、「個人学習」が 15.8%となっている。

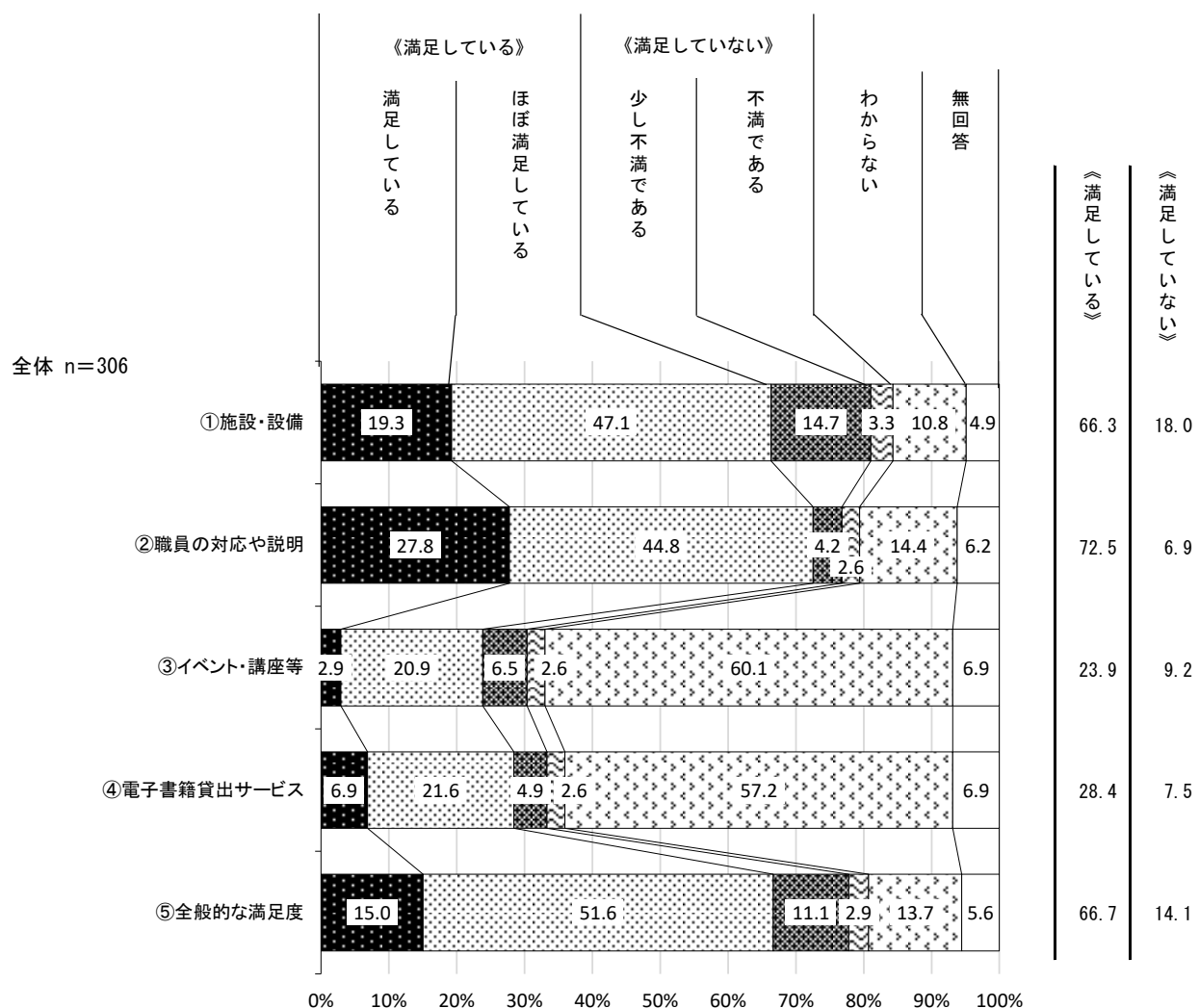


(3) 図書館の満足度

【問 32 で「1 週 1 回以上」「2 月 2 回程度」「3 月 1 回程度」「4 ほとんど利用しない（年 1～2 回程度）と回答した方に伺います。】

問 32-2 図書館について、どの程度満足していますか。1 から 5 のそれぞれに回答ください。
(それぞれ 1 つのみ)

図書館の満足度については、②職員の対応や説明の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 72.5%と最も高く、次いで⑤全般的な満足度の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 66.7%、①施設・設備の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 66.3%となっている。

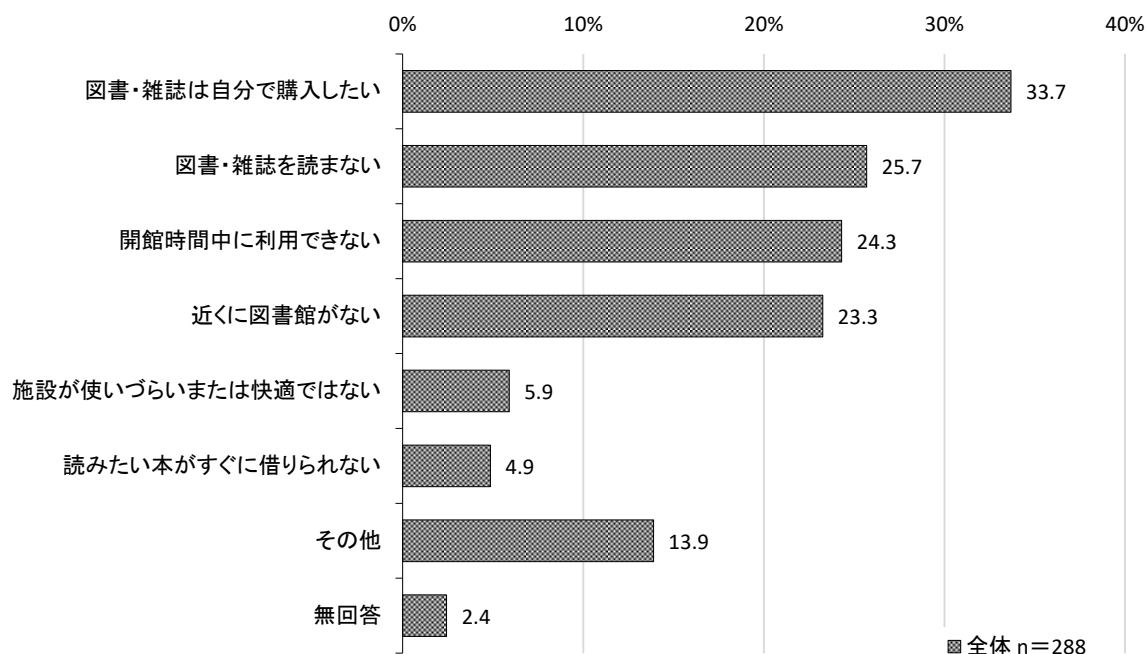


（４）図書館を利用しない理由

【問 32 で「5 利用しない」と回答した方に伺います。】

問 32-3 図書館を利用しない理由は何ですか。（いくつでも）

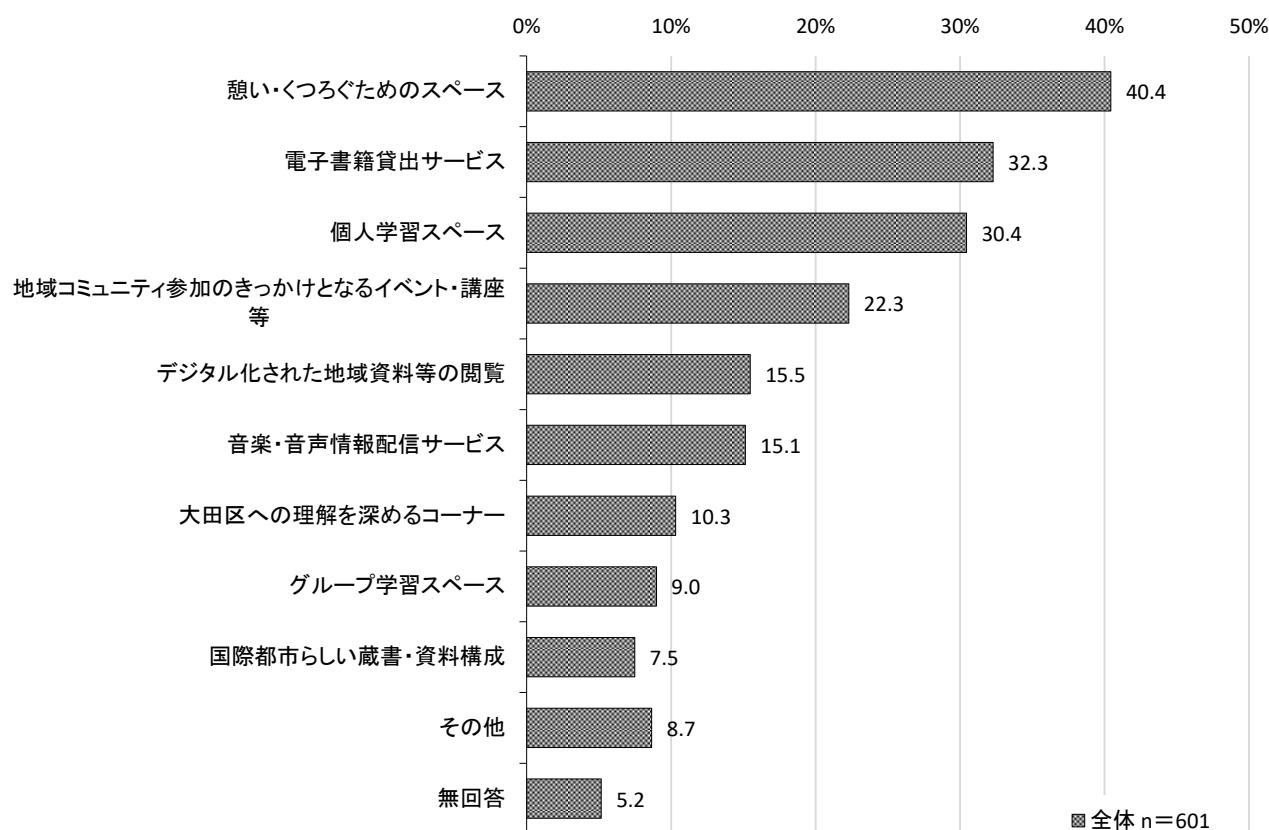
図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が 33.7%で最も高く、次いで「図書・雑誌を読まない」が 25.7%、「開館時間中に利用できない」が 24.3%となっている。



（５）図書館に期待する機能・サービス

**問 33 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。
（複数選択可）**

図書館に期待する機能・サービスについては、「憩い・くつろぐためのスペース」が40.4%で最も高く、次いで「電子書籍貸出サービス」が32.3%、「個人学習スペース」が30.4%となっている。



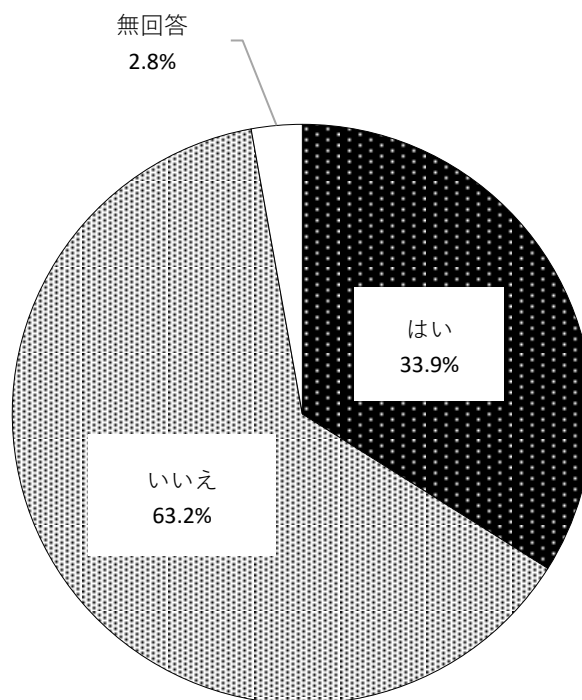
13 公園について

(1) 公園の利用頻度

問 34 月に1回以上公園を利用していますか。(1つのみ)

公園の利用頻度については、「はい」が33.9%で、「いいえ」が63.2%と、「いいえ」が29.3ポイント上回っている。

全体 n=601

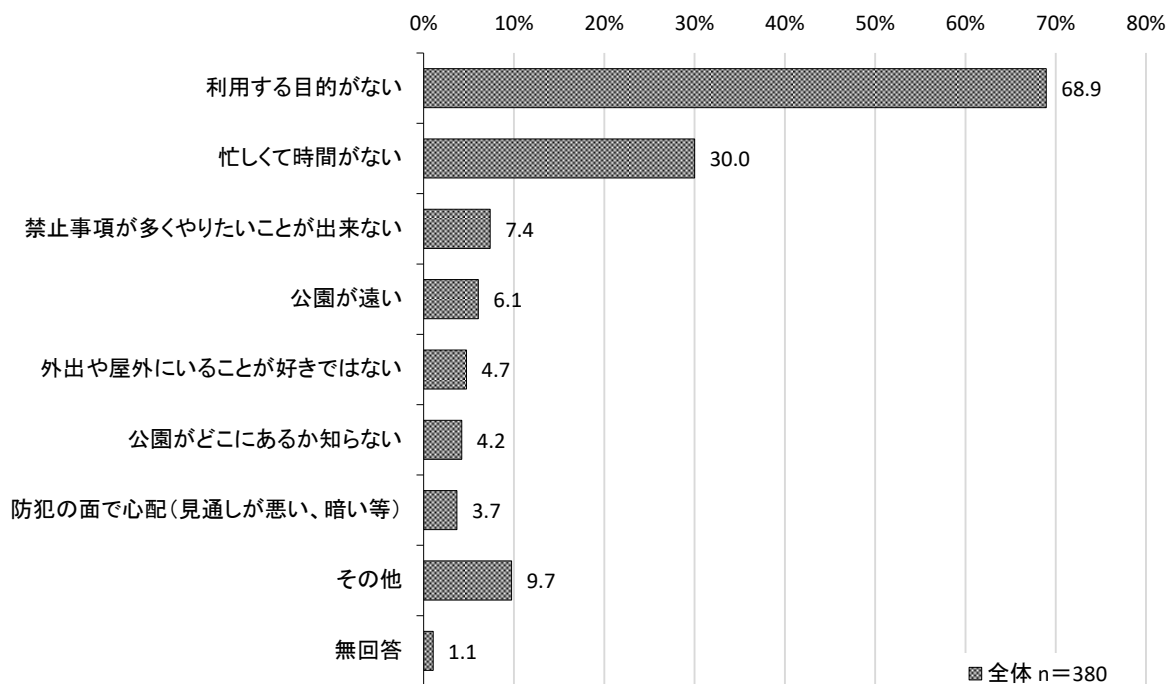


（２）公園を利用していない理由

【問 34 で「2 いいえ」と回答した方に伺います。】

問 34－1 公園を利用していない理由は何ですか。（３つまで）

公園を利用していない理由については、「利用する目的がない」が 68.9%で最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が 30.0%、「禁止事項が多くやりたいことが出来ない」が 7.4%となっている。

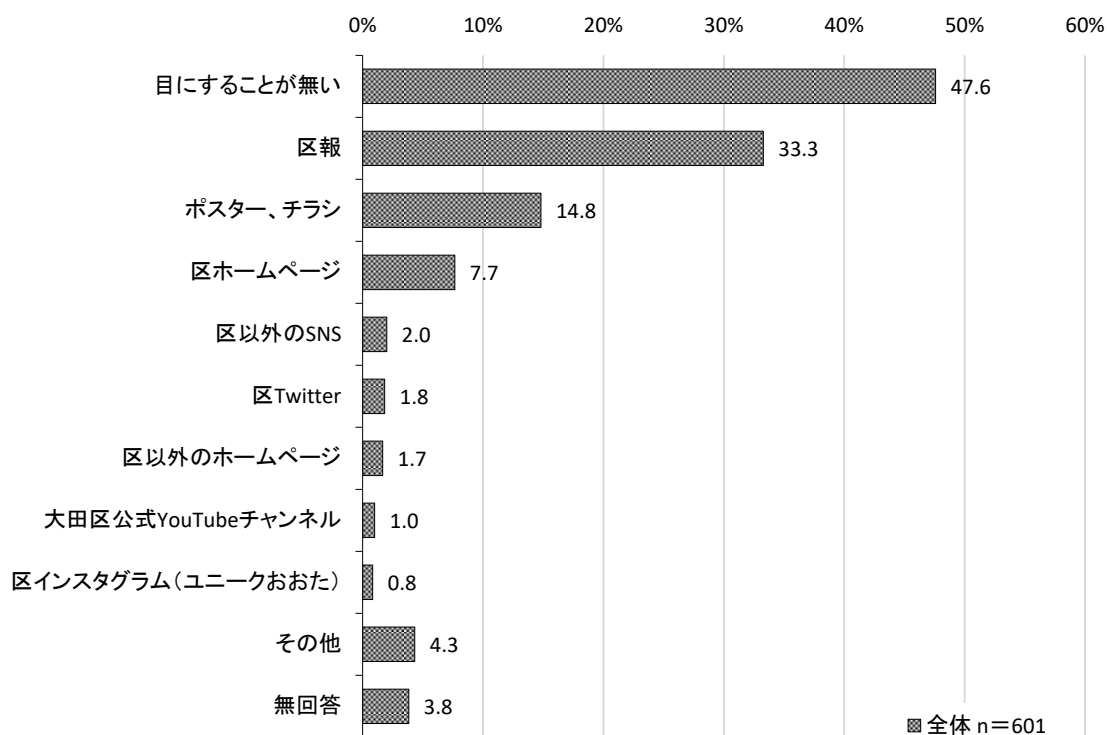


(3) 公園情報を取得する媒体

問 35 普段大田区の公園についての情報をどのような媒体で目にしますか。(複数選択可)

公園情報を取得する媒体については、「区報」が33.3%で最も高く、次いで「ポスター、チラシ」が14.8%、「区ホームページ」が7.7%となっている。

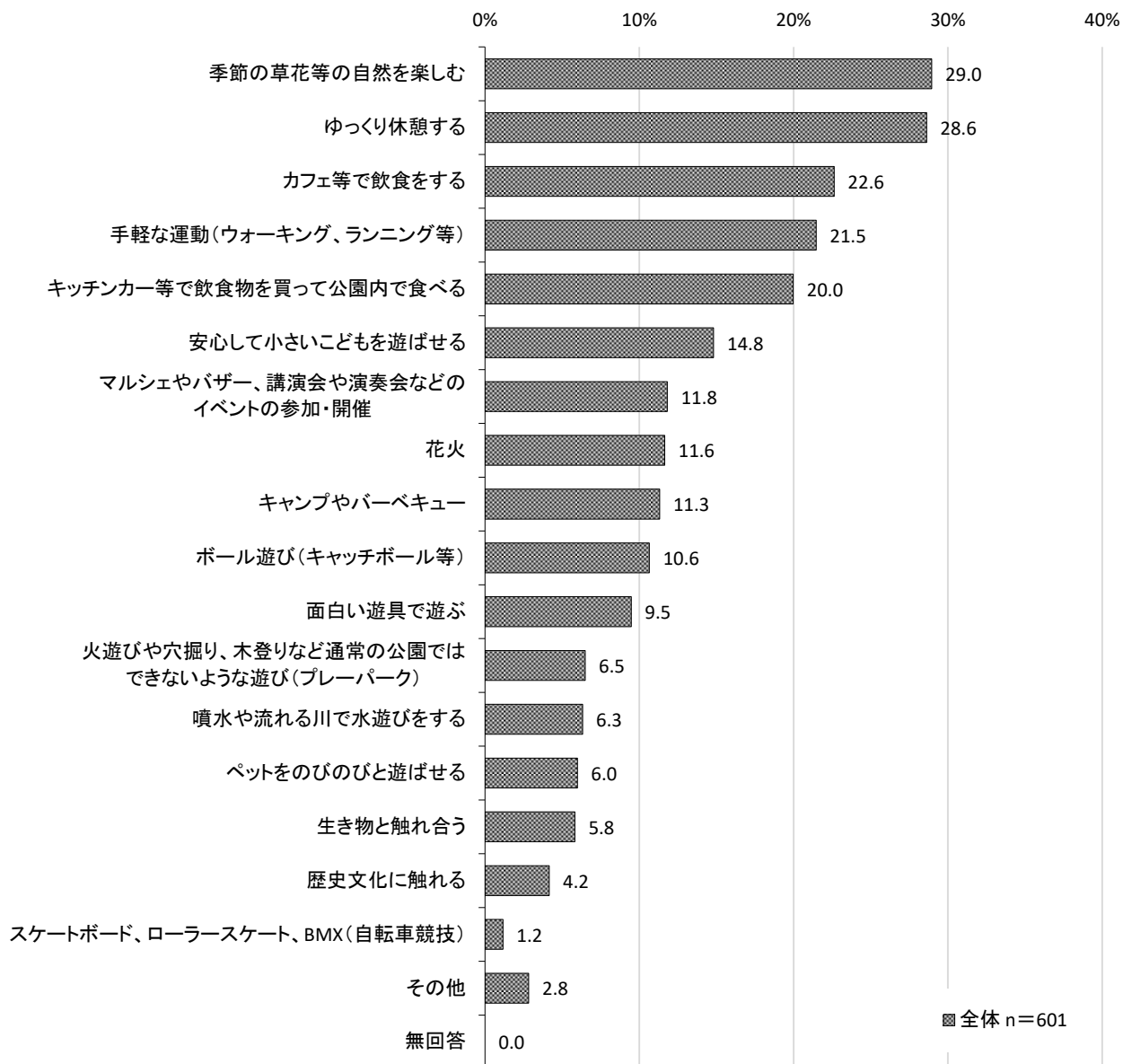
なお、「目にすることが無い」が47.6%となっている。



(4) 公園でしてみたいこと

問 36 大田区の公園でしてみたいことは何ですか。(3つまで)

公園でしてみたいことについては、「季節の草花等の自然を楽しむ」が29.0%で最も高く、次いで「ゆっくり休憩する」が28.6%、「カフェ等で飲食をする」が22.6%となっている。



Ⅳ 未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象 ～ 家庭生活・自転車の利用についてなど ～

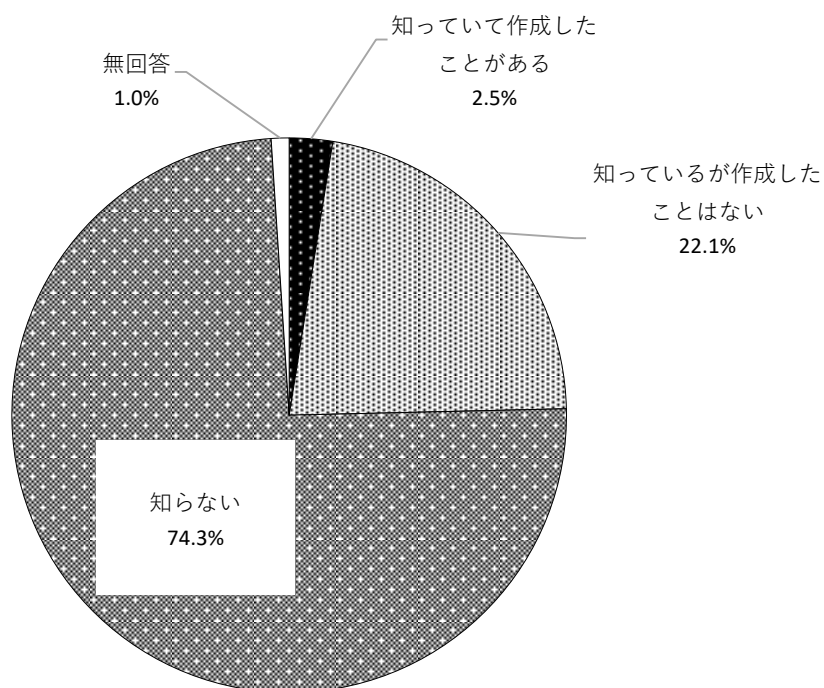
1 災害時の避難等について

(1) 「マイ・タイムライン」の認知度

問1 マイ・タイムラインを知っていますか。(1つのみ)

“マイ・タイムライン”の認知度については、「知っていて作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値《知っている》が24.6%である一方で、「知らない」が74.3%と「知らない」が49.7ポイント上回っている。

全体 n=674



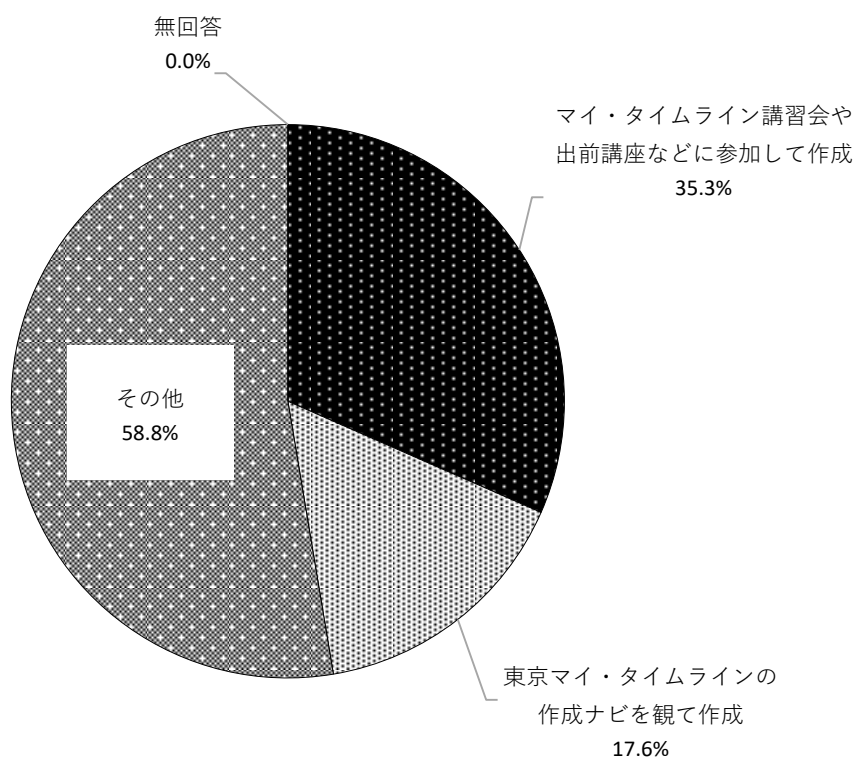
(2)「マイ・タイムライン」の作成方法

【問 1 で「1 知っていて作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問 1-1 どのように作成しましたか。(複数選択可)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が 35.3%で最も高く、次いで「東京マイ・タイムラインの作成ナビを観て作成」が 17.6%となっている。

全体 n=17

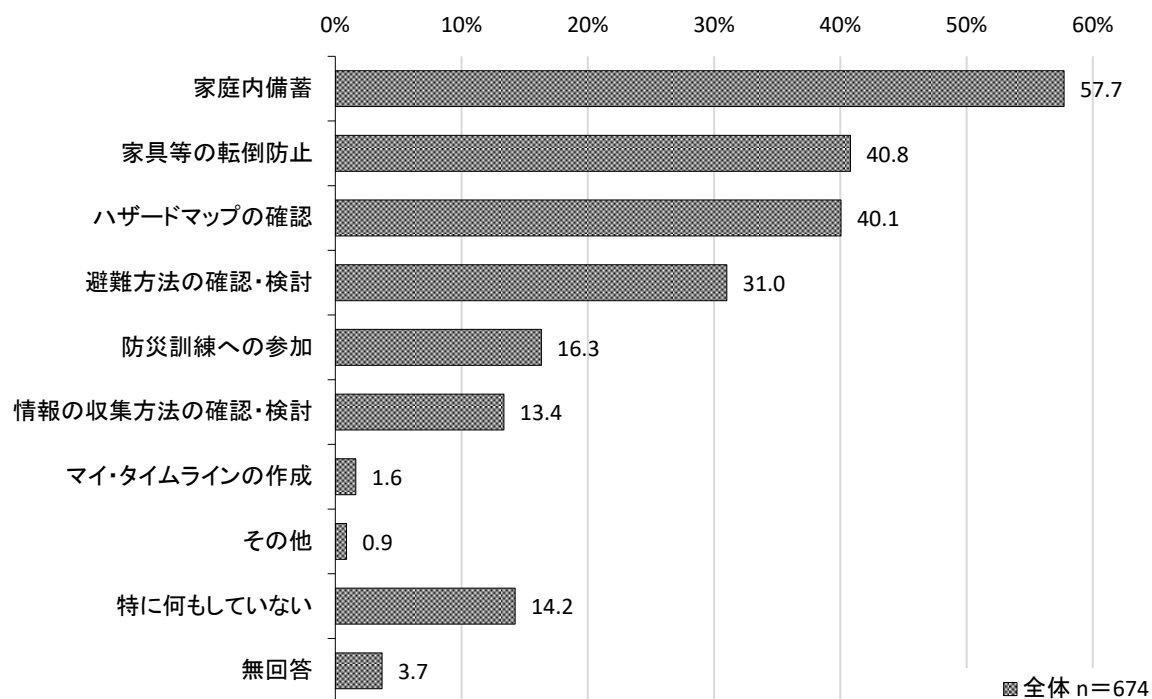


（３）災害から身を守るための取り組み

問２ 災害から身を守るためにどのような取り組みをしていますか。（複数選択可）

災害から身を守るための取り組みについては、「家庭内備蓄」が 57.7%で最も高く、次いで「家具等の転倒防止」が 40.8%、「ハザードマップの確認」が 40.1%となっている。

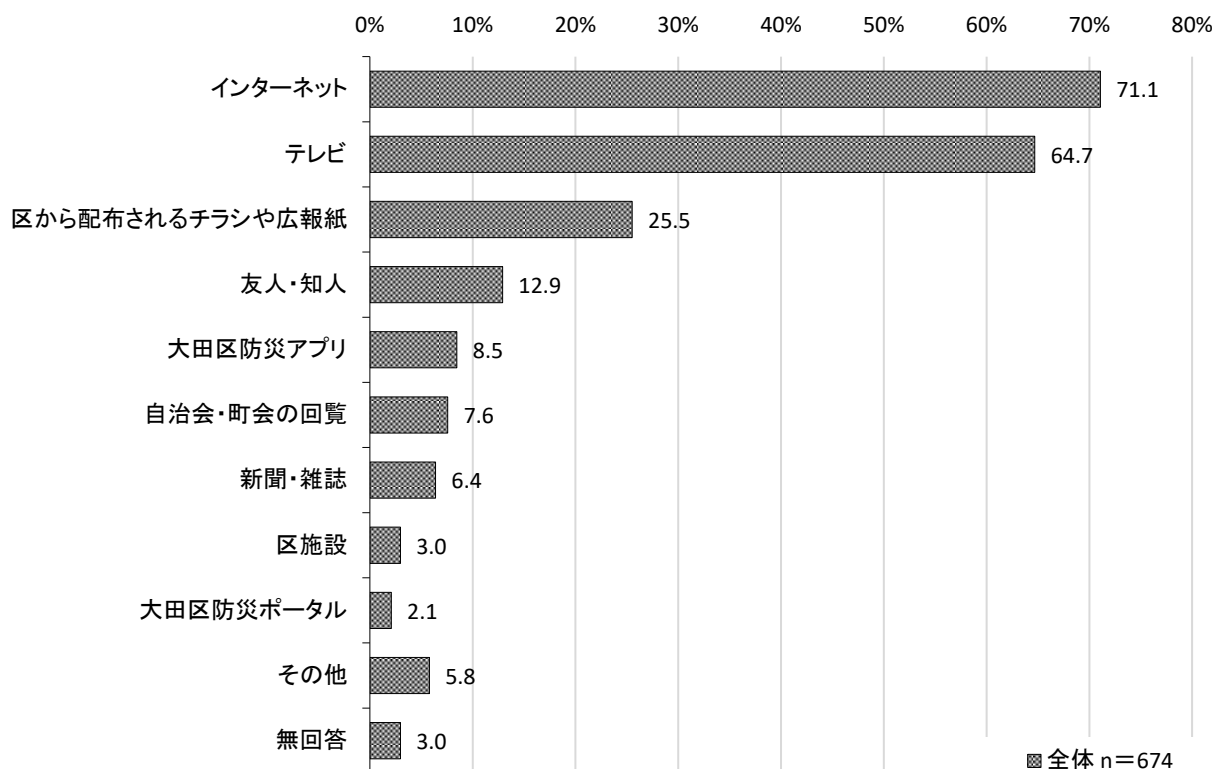
なお、「特に何もしていない」は 14.2%となっている。



（４）防災に関する情報の収集方法

問３ 防災に関する情報をどのように収集していますか。（複数選択可）

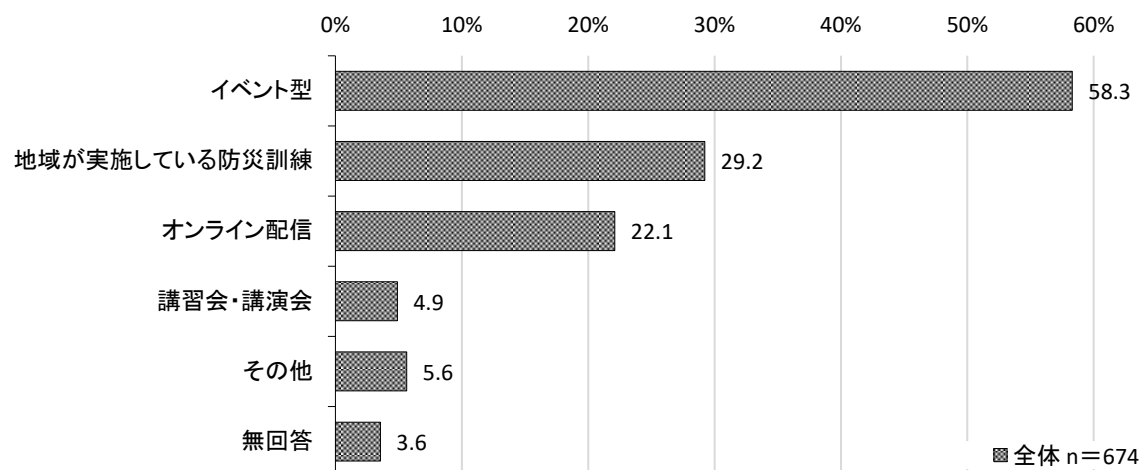
防災に関する情報の収集方法については、「インターネット」が71.1%で最も高く、次いで「テレビ」が64.7%、「区から配布されるチラシや広報紙」が25.5%となっている。



（５）参加したいと思う防災訓練の形式

問４ どのような防災訓練等に参加したいですか。（複数選択可）

参加したいと思う防災訓練の形式については、「イベント型」が 58.3%で最も高く、次いで「地域が実施している防災訓練」が 29.2%、次いで「オンライン配信」が 22.1%となっている。



2 家庭生活について

※この項目（問5～問7）は、未就学児・小学生の保護者の方が回答してください。中学生・高校生の方は次の「3. 公園について」に進んでください。

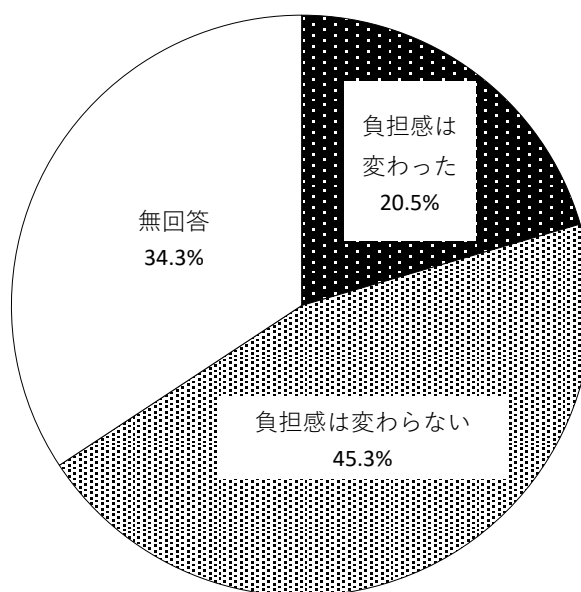
（1）コロナ後の家事や育児の負担感

問5 コロナ禍と現在とで家事や育児の負担感は変わりましたか。また子育てで身近に相談できる人・機関はありますか。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。（それぞれ1つのみ）

[負担感について]

コロナ後の家事や育児の負担感については、「負担感は変わった」が20.5%、「負担感は変わらない」が45.3%と、「負担感は変わらない」が24.8ポイント上回っている。

全体 n=674



(2) 子育てに関する相談先の有無

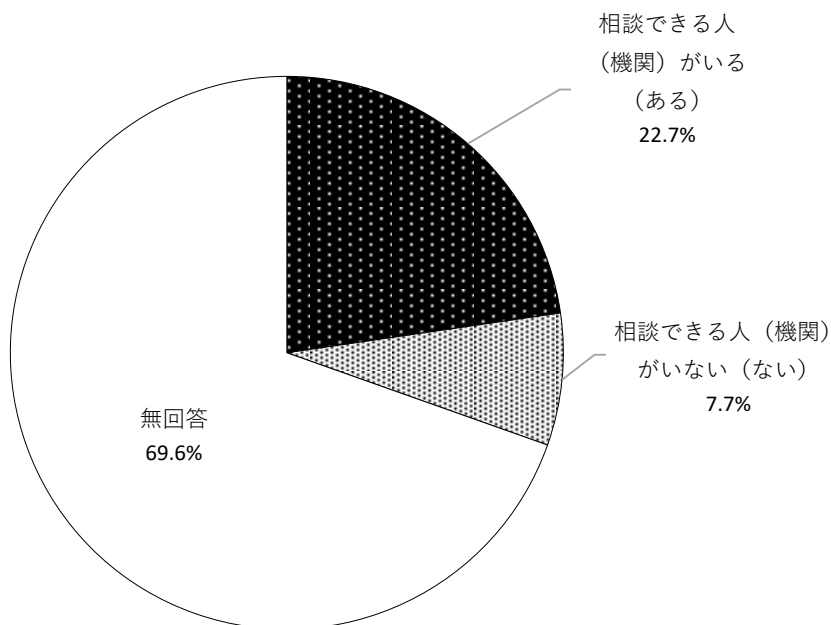
問5 コロナ禍と現在とで家事や育児の負担感は変わりましたか。また子育てで身近に相談できる人・機関はありますか。

※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[相談できる人・機関について]

子育てに関する相談先の有無については、「相談できる人（機関）がいる（ある）」が22.7%、「相談できる人（機関）がいない（ない）」が7.7%と、「相談できる人（機関）がいる（ある）」が15ポイント上回っている。

全体 n=674



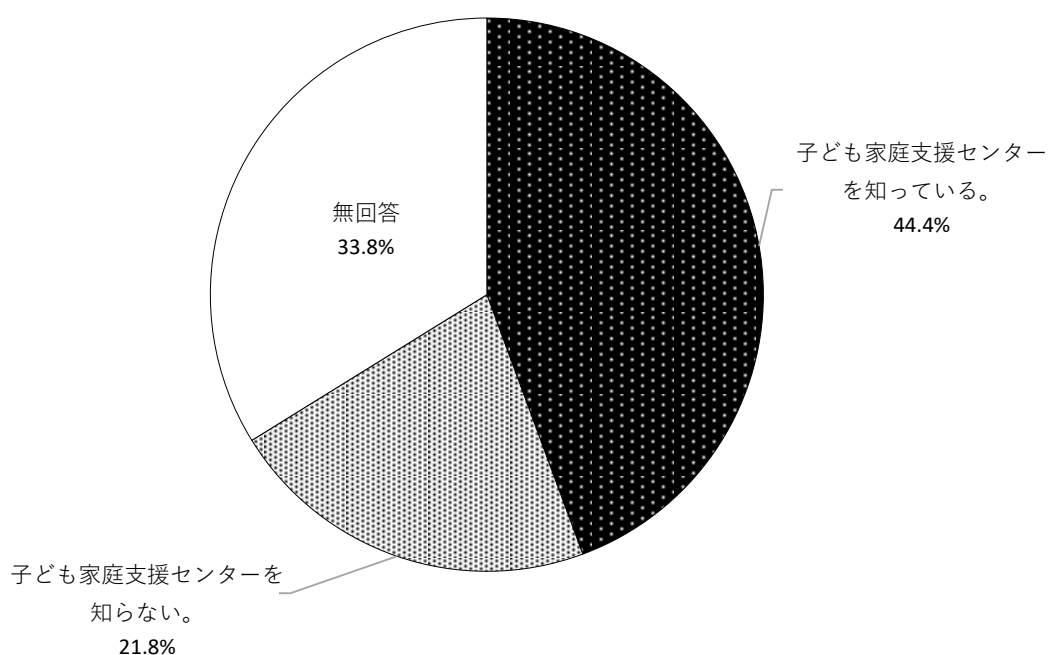
(3)「子ども家庭支援センター」の認知度

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターの認知度]

“子ども家庭支援センター”の認知度については、「子ども家庭支援センターを知っている。」が44.4%、「子ども家庭支援センターを知らない。」が21.8%と、「子ども家庭支援センターを知っている。」が22.6ポイント上回っている。

全体 n=674



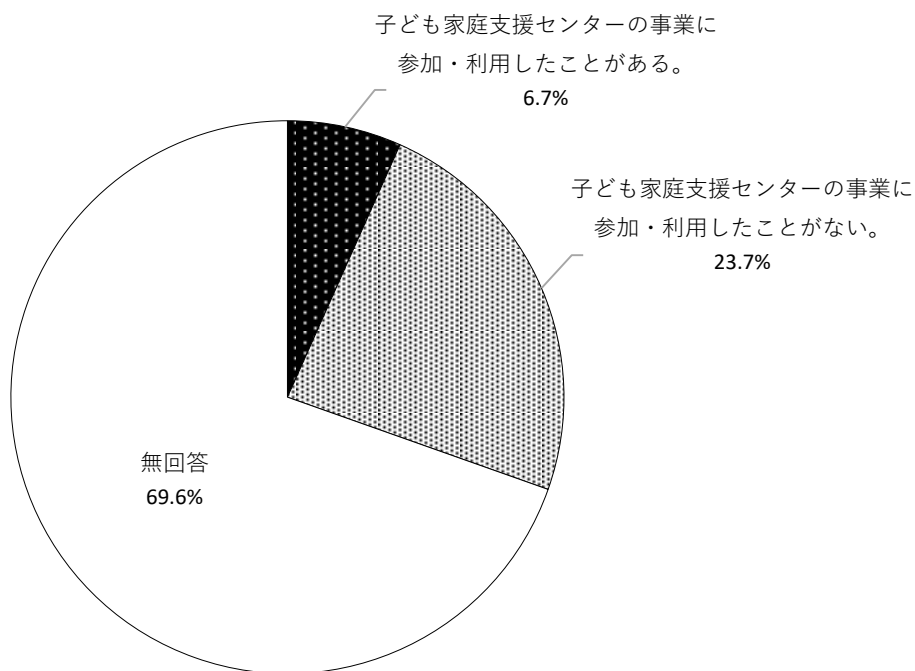
(4)「子ども家庭支援センター」の事業の利用状況について

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターの事業の利用状況について]

子ども家庭支援センターの事業の利用状況については、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがある。」が6.7%である一方で、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがない。」が23.7%と、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがない。」が17ポイント上回っている。

全体 n=674



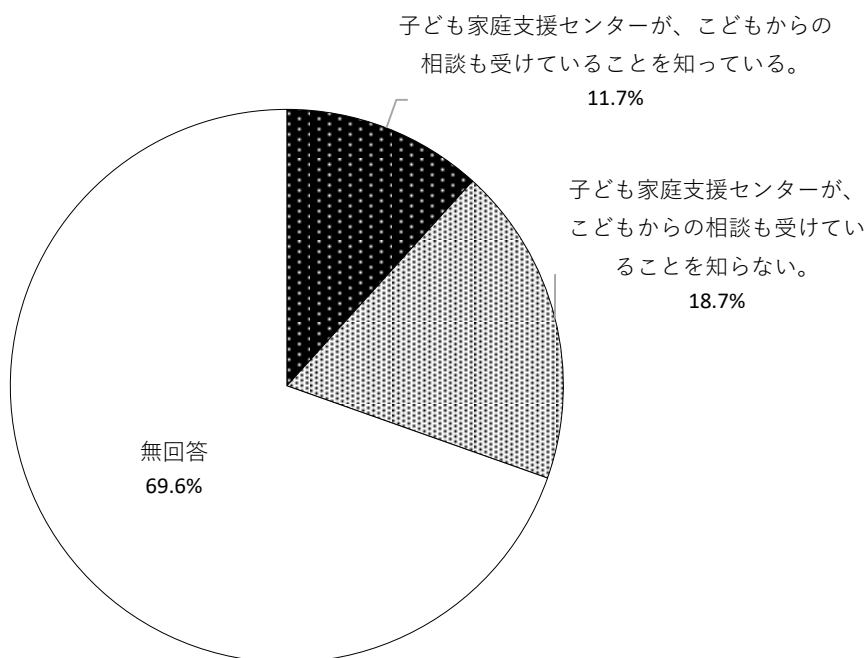
(5)「子ども家庭支援センター」でのこどもからの相談受付の認知度

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターでのこどもからの相談受付の認知度]

子ども家庭支援センターでのこどもからの相談受付の認知度については、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知っている。」が 11.7%である一方で、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知らない。」が 18.7%と、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知らない。」が7ポイント上回っている。

全体 n=674



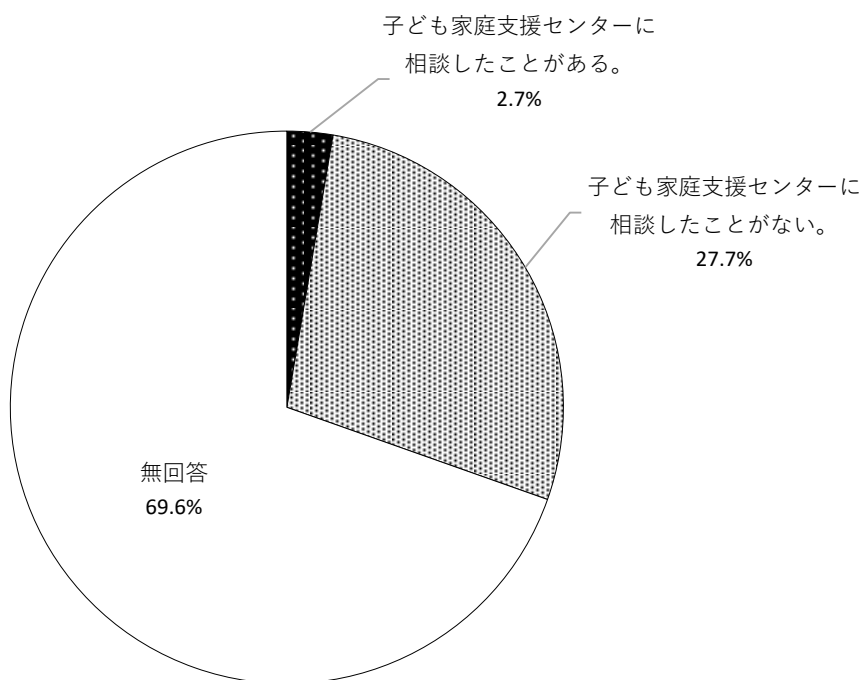
(6)「子ども家庭支援センター」への相談について①

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターへの相談について①]

子ども家庭支援センターへの相談については、「子ども家庭支援センターに相談したことがある。」が2.7%である一方で、「子ども家庭支援センターに相談したことがない。」が27.7%と、「子ども家庭支援センターに相談したことがない。」が25ポイント上回っている。

全体 n=674



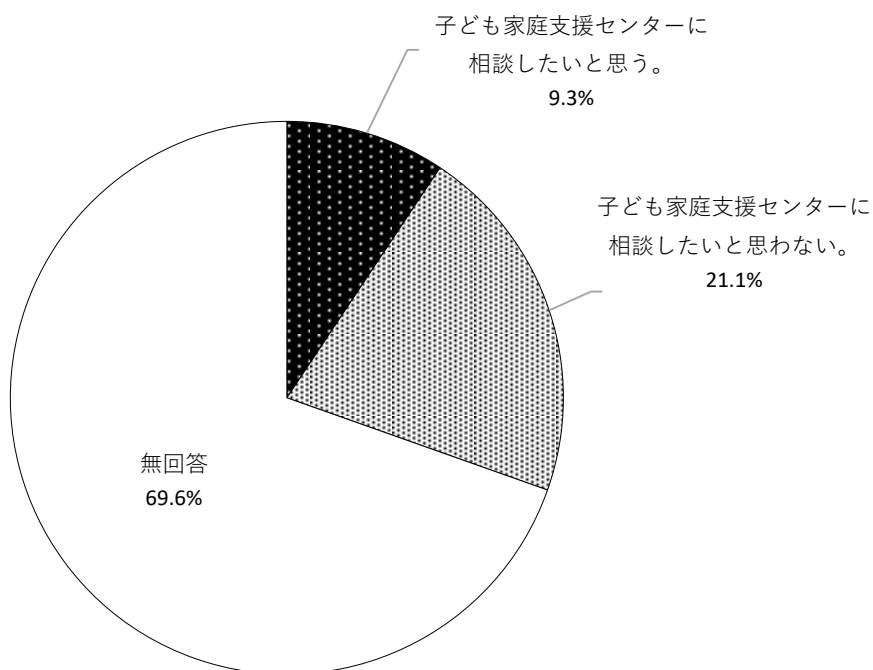
(7)「子ども家庭支援センター」への相談について②

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターへの相談について②]

子ども家庭支援センターへの相談については、「子ども家庭支援センターに相談したいと思う。」が9.3%である一方で、「子ども家庭支援センターに相談したいと思わない。」が21.1%と、「子ども家庭支援センターに相談したいと思わない。」が11.8ポイント上回っている。

全体 n=674

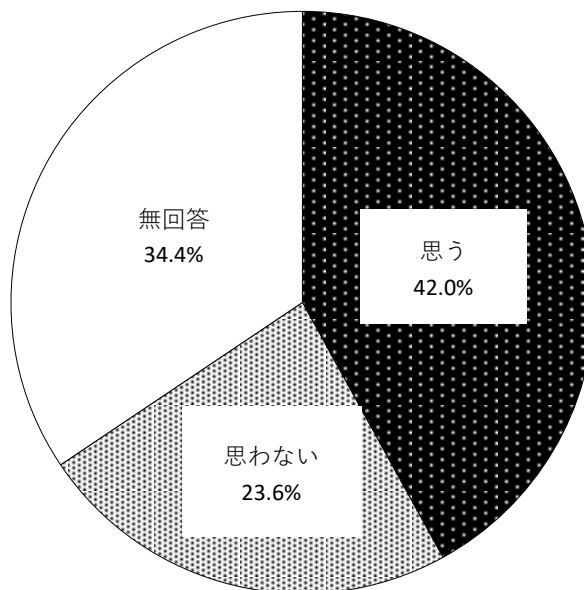


（８）子育て家庭や親子に対する支援の意向

問 7 機会があれば子育てする家庭や親子を支援したいと思いますか。（１つのみ）

子育て家庭や親子に対する支援の意向については、「思う」が 42.0%、「思わない」が 23.6%と、「思う」が 18.4 ポイント上回っている。

全体 n=674

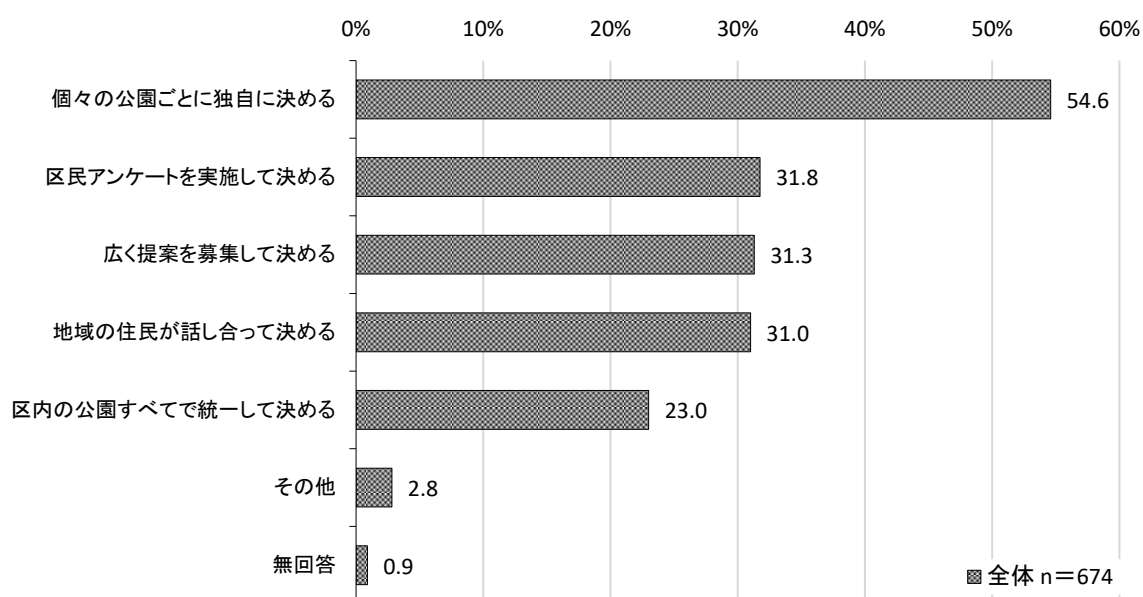


3 公園について

(1) 公園のルールについて賛同できるもの

問8 公園での禁止事項、ルールの決め方について賛同できるものを選択して下さい。(3つまで)

公園のルールについて賛同できるものについては、「個々の公園ごとに独自に決める」が54.6%、次いで「区民アンケートを実施して決める」が31.8%、「広く提案を募集して決める」が31.3%となっている。



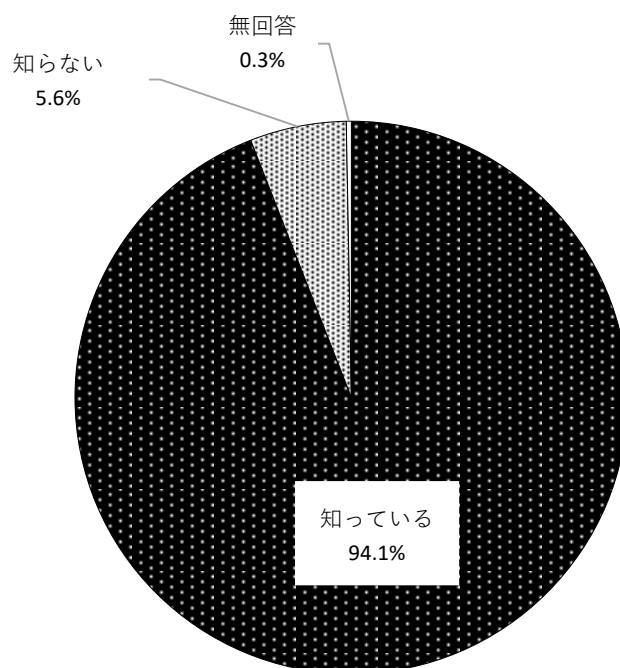
4 自転車の利用について

(1) 「ヘルメット着用の努力義務化」の認知度

問 9 令和5年4月1日から、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。(1つのみ)

“ヘルメット着用の努力義務化”の認知度については、「知っている」が94.1%、「知らない」が5.6%と、「知っている」が88.5ポイント上回っている。

全体 n=674

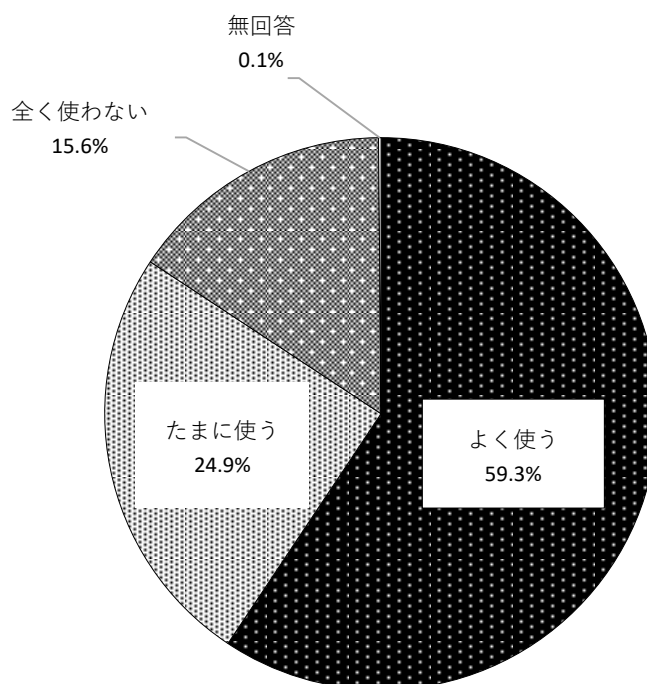


(2) 自転車の利用状況

問 10 普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況については、「よく使う」が59.3%、次いで「たまに使う」が24.9%「全く使わない」が15.6%となっている。

全体 n=674



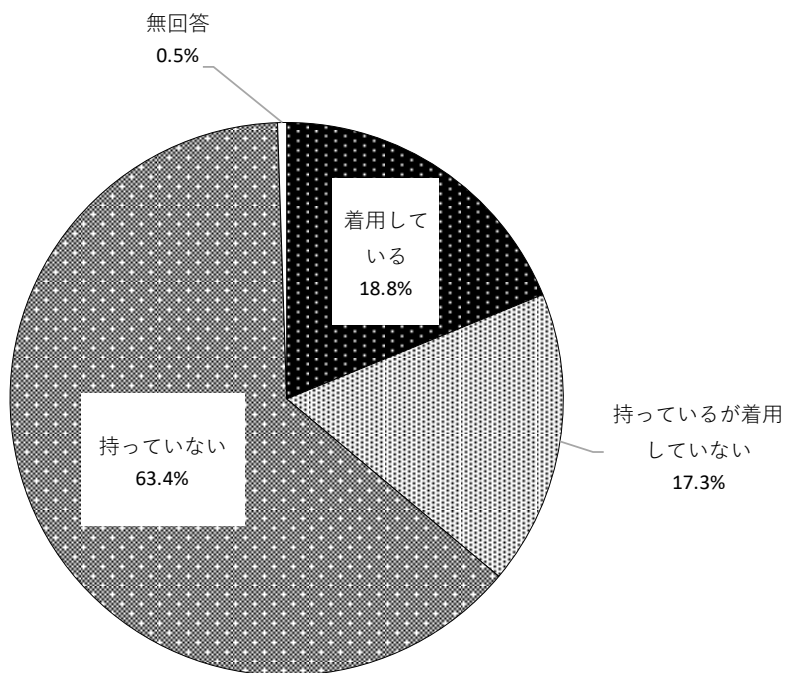
（３）ヘルメットの着用頻度

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10－1 自転車に乗る時、ヘルメットを着用していますか。（1 つのみ）

ヘルメットの着用頻度については、「持っていない」が 63.4%で最も高く、次いで「着用している」が 18.8%、「持っているが着用していない」が 17.3%となっている。

全体 n=568

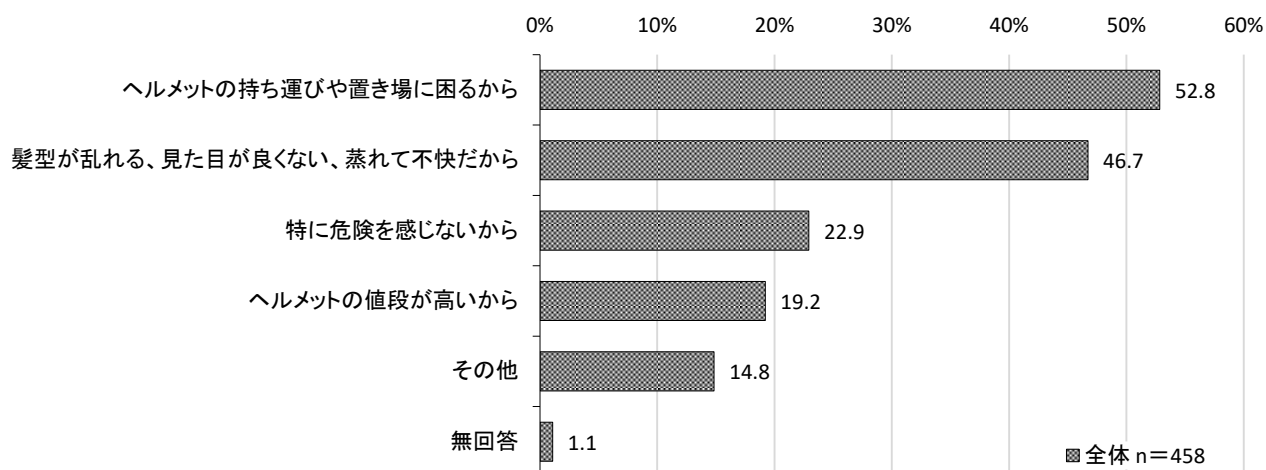


(4) ヘルメットをしない(持っていない)理由

【問 10-1で「2 持っているが着用していない」「3 持っていない」と回答した方に伺います。】

問 10-2 ヘルメットを着用していない(持っていない)理由は何ですか。(複数選択可)

ヘルメットをしない(持っていない)理由については、「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が52.8%で最も高く、次いで「髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから」が46.7%、「特に危険を感じないから」が22.9%となっている。



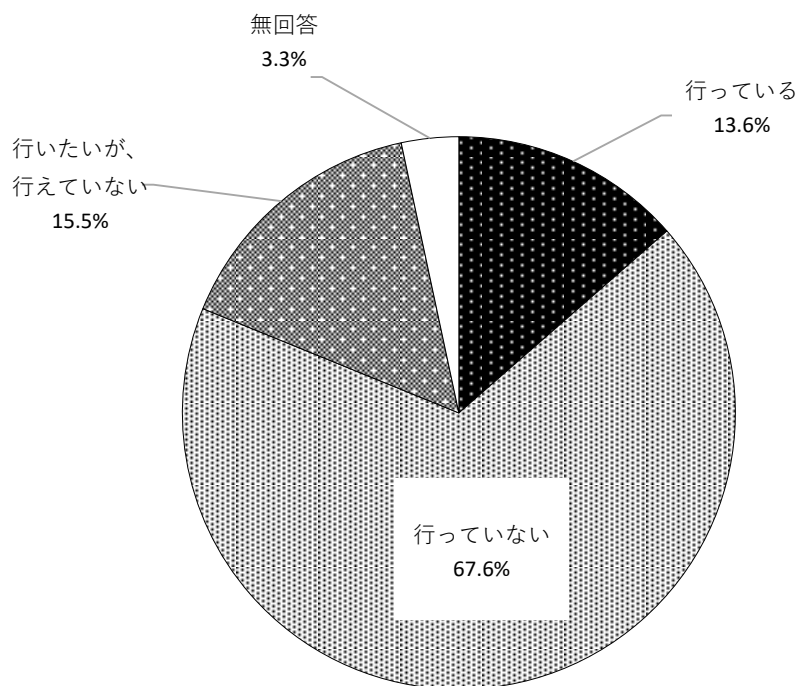
（５）サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-3 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。（1つのみ）

サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が 67.6%で最も高く、次いで「行いたい、行えていない」が 15.5%、「行っている」が 13.6%となっている。

全体 n=568



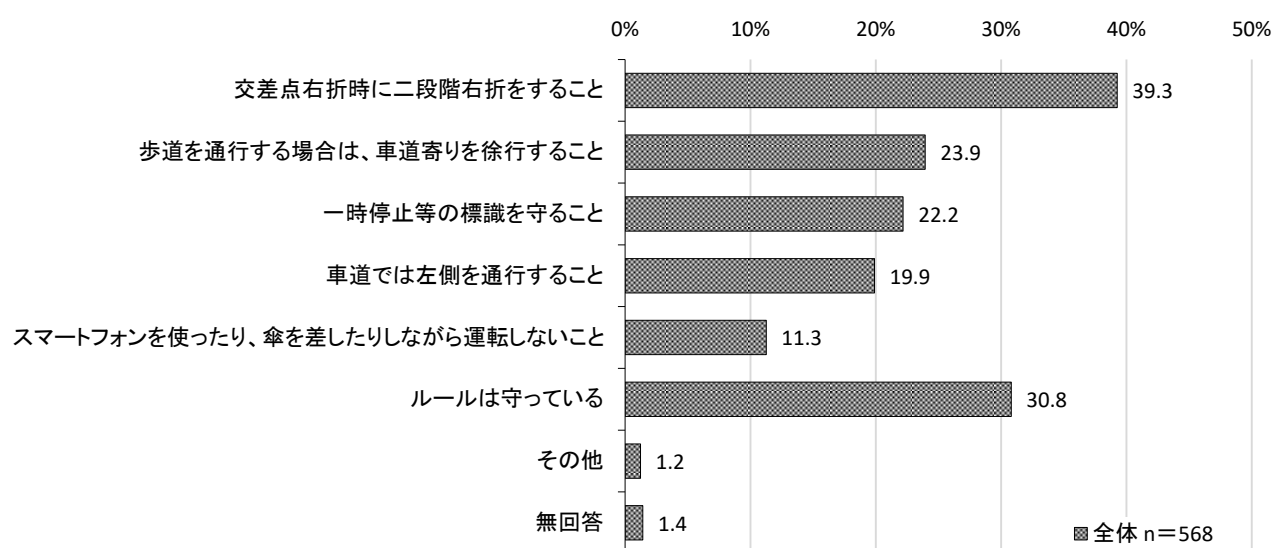
（６）守れていないと思う交通ルール

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-4 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。（複数選択可）

守れていないと思う交通ルールについては、「交差点右折時に二段階右折をすること」が 39.3% で最も高く、次いで「歩道を通行する場合は、車道寄りを徐行すること」が 23.9%、「一時停止等の標識を守ること」が 22.2% となっている。

なお、「ルールは守っている」は 30.8% となっている。



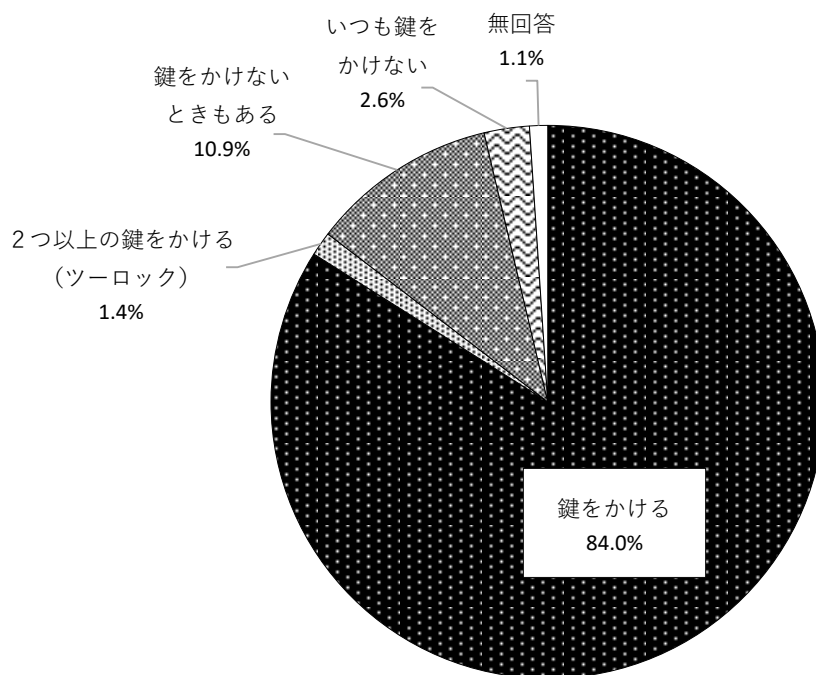
（７）自転車の施錠状況

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10－5 普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。（1つのみ）

自転車の施錠状況については、「鍵をかける」が 84.0%で最も高く、次いで「鍵をかけないときもある」が 10.9%、「いつも鍵をかけない」が 2.6%となっている。

全体 n=568

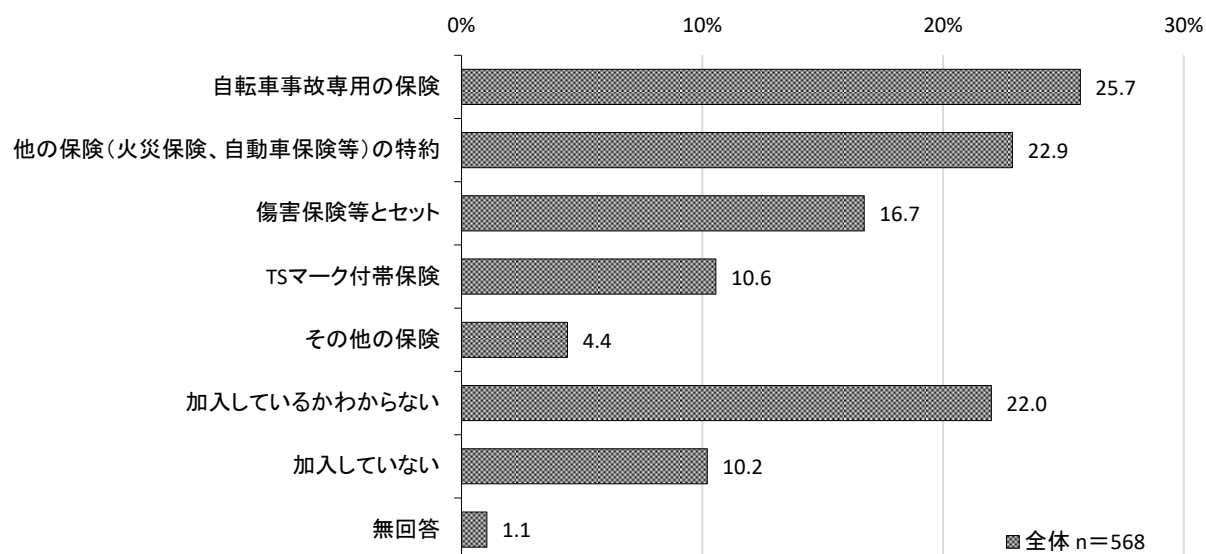


（８）損害賠償保険への加入状況

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-6 自転車利用中の対人賠償事故に備える保険に加入していますか。（1～5は複数選択可）

損害賠償保険への加入状況については、「自転車事故専用の保険」が 25.7%で最も高く、次いで「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」が 22.9%、「傷害保険等とセット」が 16.7%となっている。
 なお、「加入していない」は 10.2%となっている。

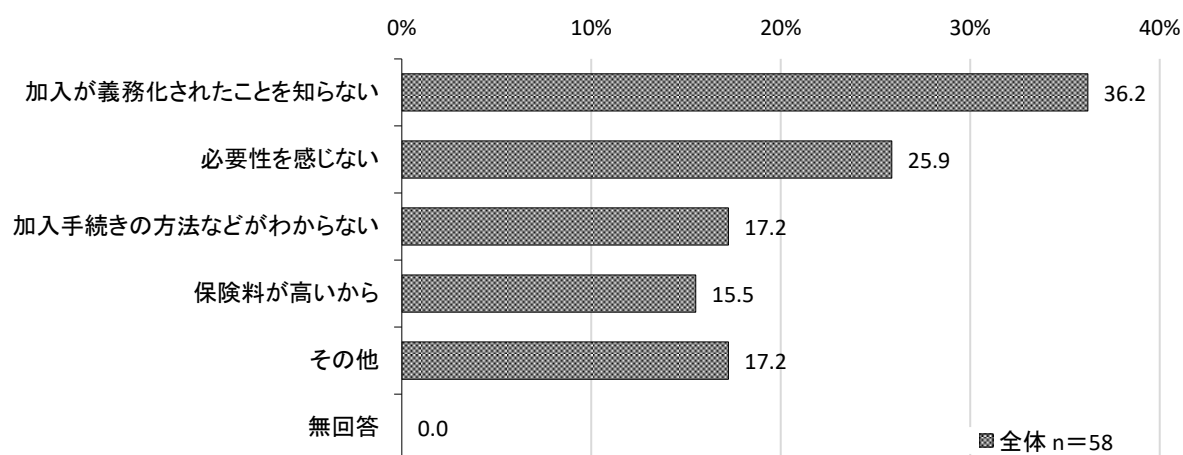


（９）損害賠償保険に加入していない理由

【問 10－6 で「7 加入していない」と回答した方に伺います。】

問 10－7 保険に加入していない理由は何ですか。（複数選択可）

損害賠償保険に加入していない理由については、「加入が義務化されたことを知らない」が 36.2%で最も高く、次いで「必要性を感じない」が 25.9%、「加入手続きの方法などがわからない」が 17.2%となっている。



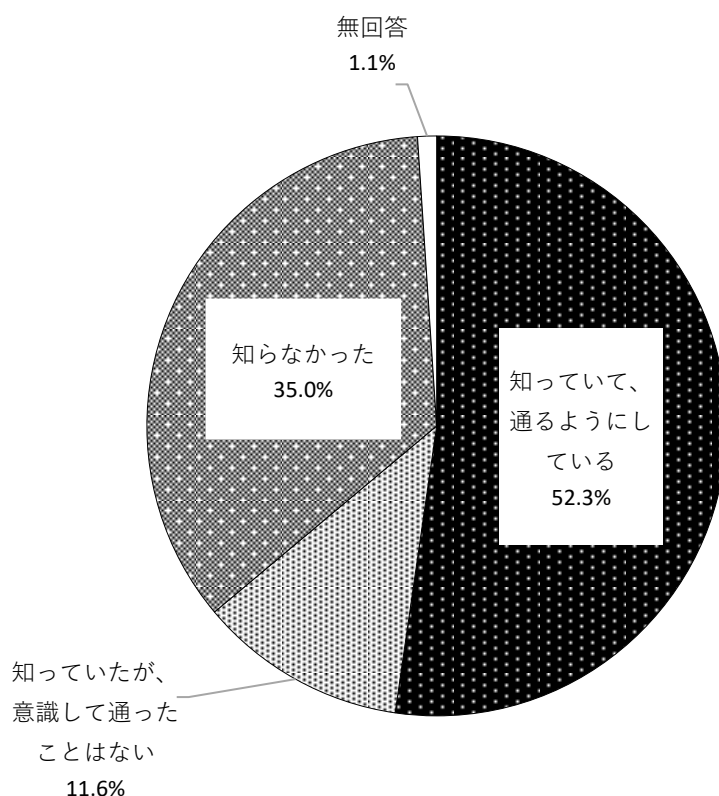
(10)「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-8 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン（矢羽根型路面表示）」を知っていますか。（1つのみ）

“自転車ナビマーク・ナビライン”の認知度については、「知っていて、通るようにしている」が 52.3% で最も高く、次いで「知らなかった」が 35.0%、「知っていたが意識して通ったことはない」が 11.6% となっている。

全体 n=568

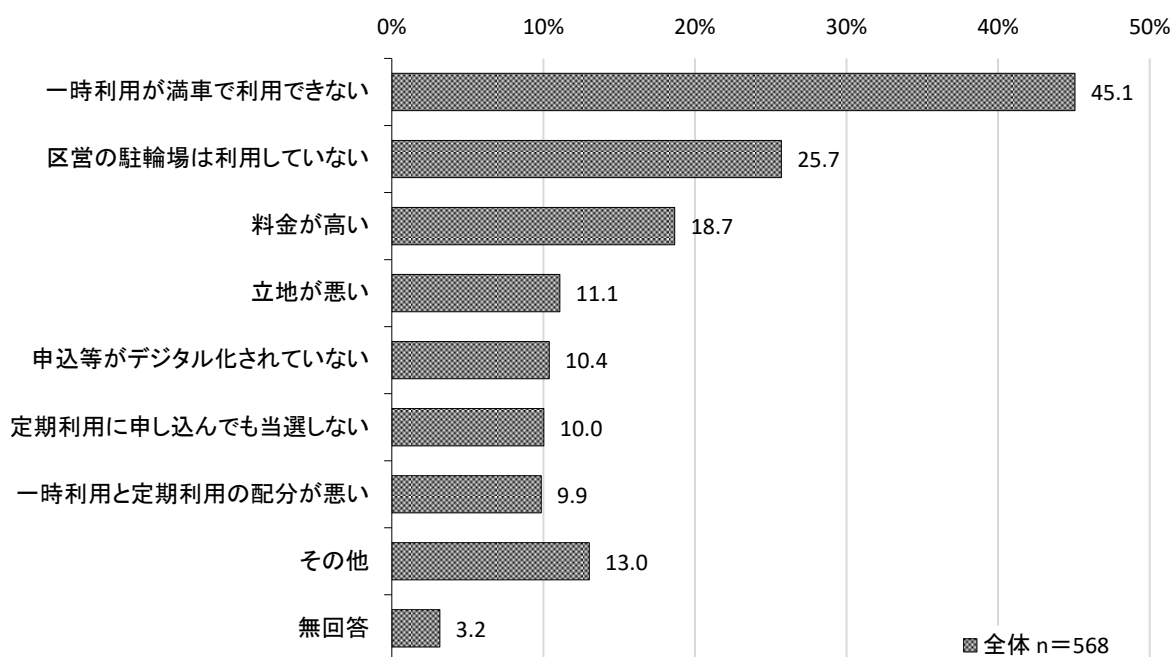


(11) 区営駐輪場で不便に感じていること

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-9 区営の自転車駐車を利用する際に不便に感じていることは何ですか。(複数選択可)

区営駐輪場で不便に感じていることについては、「一時利用が満車で利用できない」が 45.1%で最も高く、次いで「区営の駐輪場は利用していない」が 25.7%、「料金が高い」が 18.7%となっている。

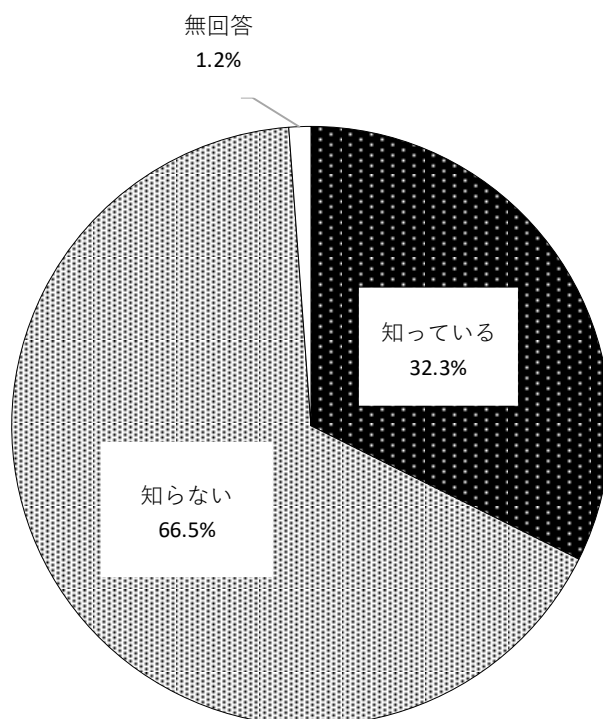


(12)「コミュニティサイクル」の認知度

問 11 大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。(1つのみ)

“コミュニティサイクル”の認知度については、「知っている」が32.3%、「知らない」が66.5%と、「知らない」が34.2ポイント上回っている。

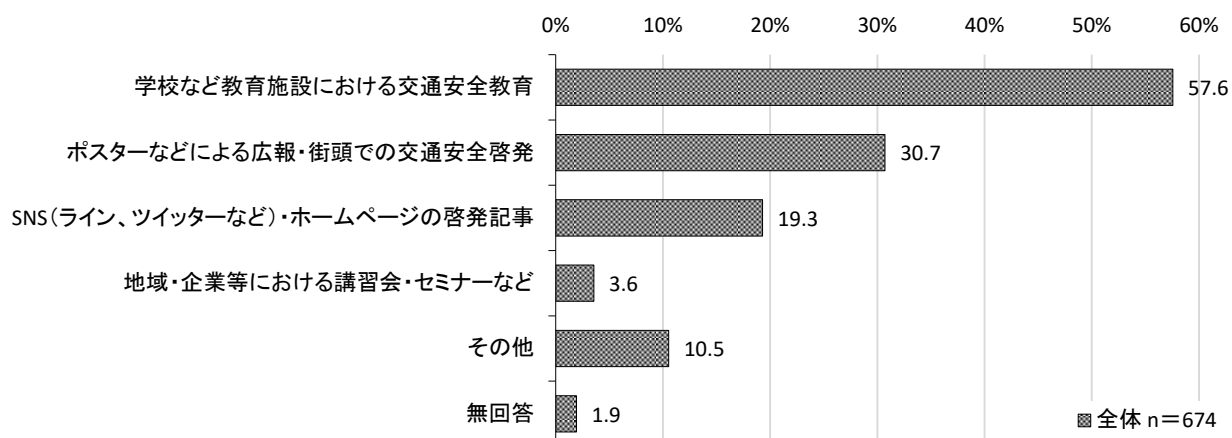
全体 n=674



(13) 自転車の運転マナーを知る機会

問 12 自転車の運転マナーについてどこで知りましたか。(複数選択可)

自転車の運転マナーを知る機会については、「学校など教育施設における交通安全教育」が 57.6%で最も高く、次いで「ポスターなどによる広報・街頭での交通安全啓発」が 30.7%、「SNS（ライン、ツイッターなど）・ホームページの啓発記事」が 19.3%となっている。



令和 5 年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
【概要版】

令和 6 年 2 月

発 行：大田区企画経営部企画課
〒144-8621
大田区蒲田五丁目 13 番 14 号
電 話：03-5744-1444（直通）
F A X：03-5744-1502